平成１８年４月２５日

正 本

杏林大学保健学部救急救命学科設置届出書

学校法人　杏林学園

杏林大学保健学部救急救命学科設置届出書

杏学発第　１８－１９号

平成１８年　４月２５日

文 部 科 学 大 臣

小 坂 憲 次　殿

学校法人　杏 林 学 園

理事長　松田博青

このたび，杏林大学保健学部救急救命学科を設置することについて，学校教育法第４条第２項及び学校教育法施行令第２３条の２第１項の規定により，別紙書類を添えて届け出ます。なお，届出の上は，確実に届出に係る計画を履行します。

保健学部救急救命学科設置計画に伴う補正意見への対応

【補正意見（構想内容の補正が必要）】

・ コメディカル・医師との医療チームに関する共通科目を設け、学科設置の意義を高めることが必要。

対応策

・ 新規学部等の授業科目［総合］中に開講予定の特別講義Ⅰを特別講義Ⅰ（救急チーム医療論）に改め、この中で、補正意見の趣旨を生かした講義内容の展開を図っていく。

・ 救急チーム医療論（配当年次　3年、選択、2単位、オムニバス形式）は、科目担当者（責任者）を、救急救命学科専任の　　教授（医学部救急医学へ兼担／高度救命救急センター医師）とし、オムニバス担当者を、本学医学部から兼担として、コメディカル部門責任医師（教育職）である、高度救命救急センター長、熱傷センター長、検査部長、臨床工学室長を予定する。

・ 更に、オムニバス担当者は、コメディカル実務者（技師、薬剤師、看護師等）を伴って講義を実施し、必要に応じて実務者から実体験を紹介させる。

以上

目　　次

１．基本計画書
（１）基本計画
（２）教育課程等の概要
（３）授業科目の概要
（４）設置の前後における学位等及び専任教員の
所属の状況

２．校地校舎等の図面

３．学　則
（１）学則案
（２）変更事項を記載した書類
（３）新旧の比較対照表

４．意思の決定を証する書類

５．学部等の設置の趣旨等を記載した書類

６．教員名簿
（１）学長及び学部長の氏名等
（２）教員の氏名等

１．　基本計画書

（１）基本計画
（２）教育課程等の概要
（３）授業科目の概要
（４）設置の前後における学位等及び専任教員の
　　所属の状況

（１）基本計画

基 本 計 画 書

基　　本　　計　　画

事　　項	記　　入　　欄	備　　考
計画の区分	学部の学科設置	
フリガナ 設置者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ　ｷｮｳﾘﾝｶﾞｸｴﾝ 学校法人　杏林学園	
フリガナ 大学の名称	ｷｮｳﾘﾝﾀﾞｲｶﾞｸ 杏林大学	
大学本部の位置	東京都三鷹市新川六丁目２０番２号	
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。	
新設学部等の目的	高齢化社会を反映して、高齢者の疾患・急病の搬送が増加することに伴い今後ますます救急救命士の役割が求められる。この要請に応えることを目的として、本学ならではの救急救命士の育成を目指して行くものである。	

新設学部等の概要

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	年	人	年次 人	人		年　月 第　年次	
保健学部 救急救命学科	4	40	3年次 5	170	学士 （救急救命学）	平成19年4月1日 第１年次 平成21年4月1日 第３年次	東京都八王子市宮下町 476番地
計							

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）

［保健学部臨床検査技術学科］
平成19年4月から入学定員を次のとおり変更　65人→80人
平成20年4月から2年次編入学定員を次のとおり変更　10人→6人（△4）
平成21年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更　5人→4人（△1）
［保健学部健康福祉学科］
平成19年4月から学科名称を1年次入学生より次のとおり変更　保健学科→健康福祉学科
平成19年4月から入学定員を次のとおり変更　55人→40人（△15）
平成20年4月から2年次編入学定員を次のとおり変更　10人→6人（△4）
平成21年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更　5人→4人（△1）
［保健学部看護学科］
平成20年4月から2年次編入学定員を次のとおり変更　10人→2人（△8）
平成21年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更　10人→8人（△2）
［総合政策学部総合政策学科］
平成21年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更　30人→10人（△ 20）
［総合政策学部企業経営学科］
平成21年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更　20人→5人（△ 15）
［外国語学部英語学科］
平成21年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更　10人　→　5人（△ 5）
［外国語学部東アジア言語学科］
平成21年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更　25人　→　13人（△12）
［外国語学部応用コミュニケーション学科］
平成21年4月から3年次編入学定員を次のとおり変更　10人　→　5人（△ 5）

以上の2年次編入学定員（△16）、3年次編入学定員（△61）
に伴う大学全体の収容定員（△170）を
①保健学部救急救命学科の入学定員へ40人振り替え
②保健学部救急救命学科の3年次編入学定員へ5人振り替え

教育課程

新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
	講義	演習	実習	計	
保健学部救急救命学科	８１科目	４科目	１５科目	１００科目	１２４単位

教員組織の概要

	学部等の名称	専任教員等 教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員	
新設分	保健学部 救急救命学科	6 (6)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	4 (4)	医学部医学科から1（うち教授1）人 保健学部臨床検査技術学科から1（うち教授1） 保健学部保健学科から8（うち教授4）人
新設分	計	6 (6)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	4 (4)	
既設分	医学部 医学科	58 (58)	53 (53)	41 (41)	213 (213)	365 (365)	51 (51)	214 (214)	
既設分	保健学部 臨床検査技術学科	12 (12)	5 (5)	10 (10)	9 (9)	36 (36)	0 (0)	8 (8)	
既設分	保健学部 健康福祉学科	6 (6)	3 (3)	3 (3)	7 (7)	19 (19)	0 (0)	10 (10)	
既設分	保健学部 看護学科	7 (7)	8 (8)	5 (5)	14 (14)	34 (34)	0 (0)	6 (6)	
既設分	保健学部 臨床工学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	11 (11)	0 (0)	1 (1)	
既設分	総合政策学部 総合政策学科	16 (16)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	20 (20)	
既設分	総合政策学部 企業経営学科	8 (8)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	10 (10)	
既設分	外国語学部 英語学科	8 (8)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	24 (24)	
既設分	外国語学部 東アジア言語学科	10 (10)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	31 (31)	
既設分	外国語学部 応用コミュニケーション学科	9 (9)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	8 (8)	
既設分	計	138 (138)	82 (82)	73 (73)	246 (246)	539 (539)	51 (51)	332 (332)	
	合計	144 (144)	83 (83)	74 (74)	248 (248)	549 (549)	51 (51)	336 (336)	

教員以外の職員の概要

職種	専任	兼任	計	
事務職員	56 (56)	1 (1)	57 (57)	
技術職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	八王子キャンパスのみ
図書館専門職員	9 (9)	0 (0)	9 (9)	
その他の職員	1 (1)	1 (1)	2 (2)	
計	66 (66)	2 (2)	68 (68)	

校地等

区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
校舎敷地	134,086.35㎡	－㎡	－㎡	134,086.35㎡
運動場用地	14,570.00㎡	－㎡	－㎡	14,570.00㎡
小計	148,656.35㎡	－㎡	－㎡	148,656.35㎡
その他	35,783.46㎡	－㎡	－㎡	35,783.46㎡
合計	184,439.81㎡	－㎡	－㎡	184,439.81㎡

校舎 専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
64,719.04㎡ (64,719.04㎡)	－㎡ (－㎡)	－㎡ (－㎡)	64,719.04㎡ (64,719.04㎡)

教室等 講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設
室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)

専任教員研究室 新設学部等の名称	室数
	室

図書・設備

新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点
	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	( )	( )	( )
計	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	( )	( )	( )

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	㎡		
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	㎡		

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員1人当り研究費等	1,511千円	1,511千円	図書購入費	11,667千円	11,900千円	12,628千円
	共同研究費等	16,164千円	16,164千円	設備購入費	56,451千円	57,580千円	59,883千円

学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	1,900千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要：手数料収入、資産運用収入等を充当する。

既設大学等の状況

大学の名称：杏林大学

学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医学部								東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
医学科	6	90	−	540	学士(医学)	0.98	S45年度		
保健学部								東京都八王子市宮下町476番地	
臨床検査技術学科	4	65	2年次10 3年次 5	270	学士(保健衛生学)	1.31	S54年度		[臨床検査技術学科] H18年度入学定員変更 55人→65人
保健学科	4	55	2年次10 3年次 5	260	学士(保健衛生学)	1.32	S54年度		
看護学科	4	80	2年次10 3年次10	370	学士(看護学)	1.07	H 6年度		
臨床工学科	4	40	−	40	学士(臨床工学)	1.30	H18年度		
総合政策学部								東京都八王子市宮下町476番地	
総合政策学科	4	180	3年次50	[20] 1,290	学士(総合政策学)	1.27	H14年度		[総合政策学科] H15年度臨時定員増20名 290人→310人 H16年度入学定員変更 290人→350人 H18年度入学定員変更 350人→180人
企業経営学科	4	120	3年次20	120	学士(企業経営学)	0.84	H18年度		
外国語学部								東京都八王子市宮下町476番地	
外国語学科	4	−	3年次45	960	学士(文学)	1.29	H13年度		[外国語学科] H18年度1年次入学生より募集停止
英語学科	4	110	3年次10	110	学士(文学)	0.97	H18年度		
東アジア言語学科	4	70	3年次25	70	学士(文学)	0.78	H18年度		
応用コミュニケーション学科	4	110	3年次10	110	学士(文学)	0.92	H18年度		

附属施設の概要	

（２）教育課程等の概要

教　育　課　程　等　の　概　要

（保健学部救急救命学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会学系	哲学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
	法学（法の原理と理念）	1		2		○								
	日本国憲法	1		2		○								
	社会学（人間と社会---社会学の新たな展開）	1		2		○								
	倫理学（人間とは何か---時代と人間認識）	1		2		○								
	生命倫理学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
	心理学（自己と外界の心理学）	1		2		○								
	発達心理学	1		2		○								
	教育心理学	1		2		○								
	芸術（いろいろな音楽のルーツを訪ねて）	1		2		○								
	民俗学（各国の民間伝承と歴史認識）	1		2		○								
	小計（１１科目）	－	0	22	0	－			0	0	0	0	0	
数学・物理学系	基礎物理学	1		1		○								
	物理学（物理学の基礎---運動・熱・電気を中心に）	1		2		○								
	医用工学概論	1		2		○								
	数学	1		2		○								
	統計学	1		2		○								
	医療情報科学	2		2		○								
	情報処理演習	2		2			○							
	小計（７科目）	－	0	13	0	－			0	0	0	0	0	
化学系	基礎化学	1		1		○								
	無機化学	1		2		○								
	生物有機化学Ⅰ	1		2		○								
	生物有機化学Ⅱ	1		2		○								
	化学実験	1		1				○						
	小計（５科目）	－	0	8	0	－			0	0	0	0	0	
生物学系	基礎生物学	1		1		○								
	生命科学概論	1		2		○								
	細胞生物学	1		2		○								
	人類遺伝学	1		2		○								
	生物学実験	1		1				○						
	小計（５科目）	－	0	8	0	－			0	0	0	0	0	
言語系	日本語表現法	1		2		○								
	英語Ⅰ	1	2			○								
	英語Ⅱ	1	2			○								
	英語Ⅲ	2		2		○								
	英語Ⅳ	2		2		○								
	英会話	2		2		○								
	医学英語	2		2		○								
	フランス語Ⅰ	1		2		○								
	フランス語Ⅱ	1		2		○								
	フランス語Ⅲ	2		2		○								
	フランス語会話	2		2		○								
	小計（１１科目）	－	4	18	0	－			0	0	0	0	0	
体育学系	健康スポーツ科学	1		2		○			1	1				
	体育実技Ⅰ	1	2					○						
	体育実技Ⅱ	2	1					○						
	小計（３科目）	－	3	2	0	－			1	1	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎医学系	医学概論	1		2		○								
	公衆衛生学Ⅰ	1	2			○								
	公衆衛生学Ⅱ	1		2		○			1					
	解剖学Ⅰ	1	2			○								
	解剖学Ⅱ	1		2		○								
	生理学Ⅰ	1	2			○								
	生理学Ⅱ	1		2		○								
	生化学	1	2			○								
	病理学	1	2			○								
	微生物学	1	2			○								
	血液学	2		2		○								
	免疫学	1		2		○								
	薬理学	2	2			○								
	救命救助法	1	1					○	1		1	1		集中
	小計（１４科目）	－	15	12	0	－			2	0	1	1	0	
救急医学系	内科学Ⅰ	2	2			○			1					
	内科学Ⅱ	2	2			○			1					
	内科学Ⅲ	2	2			○								
	内科学Ⅳ	2		2		○								
	内科学Ⅴ	2		2		○								
	内科学Ⅵ	2		2		○								
	医療コミュニケーション学	3		2		○								
	医療安全論	4		2		○								
	救急医学概論	1	2			○								
	救急処置総論	1	2			○			1					
	救急処置各論	2	2			○								
	災害医学	3		2		○								
	外科学Ⅰ	3		2		○								
	外科学Ⅱ	3		2		○								
	外傷学	2		2		○								
	環境障害・急性中毒学	2		2		○								
	救急搬送論	3		2		○								
	小児科学	3		2		○								
	産婦人科学	3		2		○								
	整形外科学	3		2		○								
	脳外科学	2		2		○								
	精神医学	3		2		○								
	放射線概論	2		2		○								
	シミュレーションⅠ	2	2					○				1		
	シミュレーションⅡ	2	2					○						
	シミュレーションⅢ	3		3				○						
	シミュレーションⅣ	3		3				○						
	シミュレーションⅤ	4		2				○						
	シミュレーションⅥ	4		2				○						
	病院内実習	3		10				○						集中
	救急車同乗実習	3		3				○						集中
	小計（３１科目）	－	16	57	0	－			3	0	0	1	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
衛生学系	産業保健学	2		2		○								
	環境衛生工学	3		2		○								
	職業適性論	2		2		○								
	労働衛生法規Ⅰ	4		2		○								
	労働衛生法規Ⅱ	4		2		○								
	小計（５科目）	－	0	10	0	－			0	0	0	0	0	
総合	移植コーディネータ論	2		2		○								
	特別講義Ⅰ（救急チーム医療論）	3		2		○								集中
	特別講義Ⅱ	4		2		○								集中
	特別演習Ⅰ	1･2		1			○							集中
	特別演習Ⅱ	1･2		1			○							集中
	ボランティア活動	4		2				○						集中
	インターンシップ	4		4				○						
	卒業研究	4		4			○							
	小計（８科目）	－	0	18	0	－			0	0	0	0	0	
合計（１００科目）		－	38	168	0	－			6	1	1	2	0	

学位又は称号	学士（救急救命学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：４年以上在学し１２４単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人文・社会学系]から10単位以上 科目区分[数学・物理学系]から4単位以上 科目区分[化学系]から3単位以上 科目区分[生物学系]から3単位以上 科目区分[言語系]選択科目から4単位以上（日本語表現法は除く） 科目区分[総合]　「インターンシップ」か「卒業研究」の いずれかを選択	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

教　育　課　程　等　の　概　要

（保健学部臨床検査技術学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会学系	哲学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
	心理学（自己と外界の心理学）	1		2		○								
	法学（法の原理と理念）	1		2		○								
	日本国憲法	1		2		○								
	社会学（人間と社会---社会学の新たな展開）	1		2		○								
	生命倫理学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
	発達心理学	1		2		○								
	芸術（いろいろな音楽のルーツを訪ねて）	1		2		○								
	小計（８科目）	－	0	16	0	－			0	0	0	0	0	
数学系	数学	1		2		○								
	統計学演習（統計解析）	1		1			○							
	医療情報科学	2		2		○								
	計算機演習	2		2			○							
	小計（４科目）	－	0	7	0	－			0	0	0	0	0	
物理学系	物理学（物理学の基礎---運動・熱・電気を中心に）	1		2		○			1					
	物理学実験	1		1				○						
	医用工学概論	2		2		○								
	医用工学実験	2		1				○						集中
	小計（４科目）	－	0	6	0	－			1	0	0	0	0	
化学系	無機化学	1		2		○			1	1				
	生物有機化学Ⅰ	1		2		○			1					
	生物有機化学Ⅱ	1		2		○								
	化学実験	1		1				○				1		
	小計（４科目）	－	0	7	0	－			2	1	0	1	0	
生物学系	生命科学概論	1		2		○			1					
	細胞生物学	1		2		○			1		1			
	人類遺伝学	1		2		○								
	生物学実験	1		1				○						
	小計（４科目）	－	0	7	0	－			2	0	1	0	0	
言語系	日本語表現法	1	2			○								
	英語Ⅰ	1		2		○								
	英語Ⅱ	1		2		○								
	英語Ⅲ	2		2		○								
	医学英語	2		2		○								
	英会話Ⅰ	2		2		○								
	英会話Ⅱ	2		2		○								
	フランス語Ⅰ	1		2		○								
	フランス語Ⅱ	1		2		○								
	フランス語Ⅲ	2		2		○								
	フランス語会話	2		2		○								
	小計（１１科目）	－	2	20	0	－			0	0	0	0	0	
体育学系	体育実技Ⅰ	1	2					○	1			1		
	体育実技Ⅱ	2～3		1				○						集中
	健康スポーツ科学	1		2		○								
	小計（３科目）	－	2	3	0	－			1	0	0	1	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎医学系	医学概論	1	2			○			2					
	公衆衛生学Ⅰ	1	2			○								
	公衆衛生学Ⅱ	1		2		○								
	解剖学Ⅰ	1	2			○								
	解剖学Ⅱ	1		2		○								
	解剖学実験	1	1					○						集中
	病理学	2	2			○								
	病理学実験	3	1					○				2		集中
	生理学Ⅰ	1	2			○								
	生理学Ⅱ	1		2		○								
	生理学実験	1	1					○						集中
	生化学Ⅰ	1	2			○			1	1				
	生化学Ⅱ	2		2		○								
	生化学実験	2	1					○						集中
	血液学	2	2			○			1					
	血液学実験	3	1					○				1		集中
	免疫学	2	2			○								
	免疫学実験	2	1					○			1	1		集中
	微生物学	1	2			○			1					
	微生物学実験	3	1					○		1	1			集中
	医動物学	2		2		○								
	医動物学実験	3		1				○						集中
	薬理学	2		2		○								
	小計（２３科目）	－	25	13	0	－			5	2	2	4	0	
医学検査系	生理学検査Ⅰ	2		2		○								
	生理学検査Ⅱ	2		2		○								
	画像診断技術	3		2		○								
	生理学検査実習	3		1				○						集中
	生化学検査Ⅰ	2		2		○				1				
	生化学検査Ⅱ	3		2		○								
	病態生化学	2		2		○								
	生化学検査実習	3		1				○			2			集中
	病理学検査	3		2		○								
	病理学検査実習	3		1				○						集中
	病理組織・細胞検査	3		2		○								
	病理組織・細胞検査実習	3		1				○						集中
	血液学検査	3		2		○								
	血液学検査実習	3		1				○						集中
	微生物学検査	3		2		○								
	微生物学検査実習	3		1				○						集中
	免疫学検査	3		2		○								
	免疫学検査実習	3		1				○						集中
	一般検査	2		2		○			1		1	1		
	一般検査実習	3		1				○			1			集中
	臨床医学概論	2		2		○								
	臨床病理学Ⅰ	2		2		○								
	臨床病理学Ⅱ	3		2		○								
	検査管理	3～4		2		○								
	検査総合演習	3		2			○							集中
	医療関係法規	4		2		○								
	臨床実習Ⅰ	3～4		2				○						集中

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
医学検査系	臨床実習Ⅱ	3～4		4				○						集中
	検査特別講義	4		1		○								集中
	細胞検査法	2		2		○						2		
	細胞検査演習Ⅰ	1		1			○							
	細胞検査演習Ⅱ	2		1			○							
	細胞検査演習Ⅲ	2		1			○							
	細胞検査演習Ⅳ	3		1			○							
	細胞検査演習Ⅴ	3		1			○							集中
	細胞検査演習Ⅵ	3		1			○							
	小計（３６科目）	－	0	59	0	－			1	1	4	3	0	
分子生物学系	分子生物学Ⅰ	2		2		○				1	1			
	分子生物学Ⅱ	2		2		○								
	分子生物学実習	2		1				○						集中
	臨床遺伝学	2		2		○			1		2			
	遺伝子検査法（実習を含む）	3		2		○		○						集中
	細胞遺伝学	1		2		○								
	分子細胞生物学	2		2		○								
	小計（７科目）	－	0	13	0	－			1	1	3	0	0	
救急医学系	臨床内科学Ⅰ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅱ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅲ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅳ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅴ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅵ	3		1		○								集中
	臨床内科学Ⅶ	3		1		○								
	臨床内科学Ⅷ	3		1		○								集中
	救急医学概論Ⅰ	1		1		○								
	救急医学概論Ⅱ	1		1		○								
	医学検査	2		1		○								
	救急処置総論	1		1		○								
	救急処置各論	2		2		○								
	救急・災害医療	3		1		○								集中
	臨床外科学Ⅰ	2		2		○								
	臨床外科学Ⅱ	2		2		○								
	臨床外科学Ⅲ	3		1		○								集中
	臨床外科学Ⅳ	3		1		○								
	一般救急救命	2		1		○								
	小児科学	3		1		○								
	産婦人科学	3		1		○								
	整形外科学	3		1		○								
	脳外科学	2		1		○								
	精神医学	3		1		○								
	救命救助法	1		1				○						集中
	シミュレーションⅠ	2		3				○						
	シミュレーションⅡ	3		3				○						
	シミュレーションⅢ	3		2				○						集中
	病院内実習	3		10				○						集中
	救急車同乗実習	3		3				○						集中
	小計（３０科目）	－	0	49	0	－			0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
分子生物学系	産業保健学	2		2		○								
	環境衛生工学	3		2		○								
	放射線概論	2		2		○								
	環境化学	1		2		○								
	分析化学Ⅰ	1		2		○								
	分析化学Ⅱ	2		2		○								
	分析化学実験	2		1				○						集中
	食品栄養学	2		2		○								
	食品衛生学	3		2		○								
	食品製造学	2		2		○								
	実験動物学	2		1		○								
	動物実験実習	2		1				○						
	職業適性論	2		2		○								
	労働衛生法規Ⅰ	3～4		2		○								
	労働衛生法規Ⅱ	3～4		2		○								
	小計（１５科目）	－	0	27	0	－			0	0	0	0	0	
総合	移植コーディネータ論	2		2		○								
	特別講義Ⅰ	1		2		○								集中
	特別講義Ⅱ	2		2		○								集中
	特別演習Ⅰ	1･2		1			○							集中
	特別演習Ⅱ	1･2		1			○							集中
	卒業研究	4	4				○							
	小計（６科目）	－	4	8	0	－			0	0	0	0	0	
合計（１５５科目）		－	33	235	0	－			13	5	10	9	0	
学位又は称号		学士（保健衛生学）				学位又は学科の分野			保健衛生学関係					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：４年以上在学し１２４単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人文・社会学系]から10単位以上 科目区分[数学系]から3単位以上 科目区分[物理学系]から3単位以上 科目区分[化学系]から3単位以上 科目区分[生物学系]から3単位以上 科目区分[言語系]　「英語Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）又は「フランス語Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）のどちらかを選択。他に４単位以上 「英会話Ⅱ」は「英会話Ⅰ」を履修していること 科目区分[衛生学系]　「分析化学実験」は放射性同位元素検査学を含む 「動物実験実習」は「実験動物学」を履修していること	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

教　育　課　程　等　の　概　要

（保健学部保健学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会学系	哲学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
	心理学（自己と外界の心理学）	1		2		○					1			
	法学（法の原理と理念）	1		2		○								
	日本国憲法	1		2		○								
	社会学（人間と社会---社会学の新たな展開）	1		2		○								
	生命倫理学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
	教育心理学	1		2		○								
	発達心理学	1		2		○								
	芸術（いろいろな音楽のルーツを訪ねて）	1		2		○								
	小計（９科目）	－	0	18	0	－			0	0	1	0	0	
数学系	数学	1		2		○				1				
	統計学演習（統計解析）	1	1				○							
	医療情報科学	2		2		○								
	計算機演習	2	2				○							
	小計（４科目）	－	3	4	0	－			0	1	0	0	0	
物理学系	物理学（物理学の基礎---運動・熱・電気を中心に）	1		2		○								
	物理学実験	1		1				○						
	医用工学概論	2		2		○								
	医用工学実験	2		1				○						集中
	小計（４科目）	－	0	6	0	－			0	0	0	0	0	
化学系	無機化学	1		2		○								
	生物有機化学Ⅰ	1		2		○								
	生物有機化学Ⅱ	1		2		○								
	化学実験	1		1				○						
	小計（４科目）	－	0	7	0	－			0	0	0	0	0	
生物学系	生命科学概論	1		2		○								
	細胞生物学	1		2		○								
	生物学実験	1		1				○						
	小計（３科目）	－	0	5	0	－			0	0	0	0	0	
言語系	日本語表現法	1	2			○								
	英語Ⅰ	1		2		○								
	英語Ⅱ	1		2		○								
	英語Ⅲ	2		2		○								
	医学英語	2		2		○				1				
	英会話Ⅰ	2		2		○								
	英会話Ⅱ	2		2		○								
	フランス語Ⅰ	1		2		○								
	フランス語Ⅱ	1		2		○								
	フランス語Ⅲ	2		2		○								
	フランス語会話	2		2		○								
	小計（１１科目）	－	2	20	0	－			0	1	0	0	0	
体育学系	体育実技Ⅰ	1	2					○		1				
	体育実技Ⅱ	2～3		1				○						集中
	健康スポーツ科学	1		2		○								
	小計（３科目）	－	2	3	0	－			0	1	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎医学系	医学概論	1		2		○			2					
	公衆衛生学Ⅰ	1		2		○			4					
	公衆衛生学Ⅱ	1		2		○			2	1	1	1		
	解剖学Ⅰ	1	2			○								
	解剖学Ⅱ	1		2		○								
	解剖学実験	1		1				○						集中
	病理学	2	2			○								
	病理学実験	3		1				○						集中
	生理学Ⅰ	1	2			○								
	生理学Ⅱ	1		2		○								
	生理学実験	1		1				○						集中
	生化学Ⅰ	1	2			○								
	生化学Ⅱ	2		2		○								
	生化学実験	2		1				○						集中
	血液学	2	2			○								
	血液学実験	3		1				○						集中
	免疫学	2	2			○								
	免疫学実験	2		1				○						集中
	微生物学	1	2			○								
	微生物学実験	3		1				○						集中
	医動物学	2		2		○								
	医動物学実験	3		1				○						集中
	薬理学	2		2		○								
	小計（２３科目）	－	14	24	0	－			8	1	1	1	0	
保健学系	保健学概論	1	2			○			1			2		
	人類生態学	2		2		○								
	環境保健学	2		2		○						1		
	疫学	2		2		○								
	保健管理学	2		2		○								
	保健社会学	2		2		○								
	母子保健学	2		2		○						1		
	成人保健学	2		2		○								
	精神保健学	2		2		○								
	保健栄養学	2		2		○						1		
	人類遺伝学	1		2		○								
	健康教育学Ⅰ	2		2		○								
	健康教育学Ⅱ	3		2		○								
	人間適応論	2		1		○								
	人口学	2		1		○								
	保健学基礎実習Ⅰ	2	2					○						集中
	保健学基礎実習Ⅱ	3	4					○						集中
	保健学実習Ａ	3		1				○				1		集中
	保健学実習Ｂ	3		1				○						集中
	小計（１９科目）	－	8	28	0	－			1	0	0	6	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
福祉・養護系	社会福祉学	1		2		○								
	社会福祉政策論	3		2		○								集中
	老人福祉論	2		2		○								
	高齢保健学	2		2		○								
	障害者福祉論	3		4		○								
	児童福祉論	2		2		○								
	社会保障論	3		4		○								
	公的扶助論	4		2		○								
	地域福祉論	3		2		○								
	社会福祉援助技術総論	1		4		○								
	社会福祉援助技術論Ⅰ	2		2		○								
	社会福祉援助技術論Ⅱ	3		2		○								
	社会福祉援助技術演習Ⅰ	1		1			○							
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	1		1			○							
	社会福祉援助技術演習Ⅲ	2		2			○							
	社会福祉援助技術演習Ⅳ	2		2			○							集中
	社会福祉援助技術演習Ⅴ	3		2			○							集中
	社会福祉援助技術実習	3		4				○						集中
	社会福祉援助技術現場実習指導	3		4				○						集中
	地域保健学	2		2		○								
	養護学概論	2		2		○								
	学校保健学Ⅰ	2		2		○								
	学校保健学Ⅱ	3		2		○								
	健康相談	3		2		○								
	臨床心理学	3		2		○								
	カウンセリング	3		2		○								集中
	看護学Ⅰ	2		2		○								
	看護学Ⅱ	2		2		○								
	看護学Ⅲ	3		2		○								
	看護学実習	3		2				○						集中
	救急看護学	3		2		○								
	国際保健学	3		1		○								
	移植コーディネータ論	2		2		○								
	小計（３３科目）	－	0	73	0	－			0	0	0	0	0	
環境・食品系	産業保健学	2		2		○								
	環境衛生工学	3		2		○								
	環境科学	3		2		○								
	放射線概論	2		2		○								
	環境化学	1		2		○								
	分析化学Ⅰ	1		2		○								
	分析化学Ⅱ	2		2		○								
	分析化学実験	2		1				○						集中
	環境生物学	3		2		○								
	食品栄養学	2		2		○								
	食品衛生学	3		2		○								
	食品製造学	2		2		○								
	実験動物学	2		1		○								
	動物実験実習	2		1				○						
	職業適性論	2		2		○								
	労働衛生法規Ⅰ	3～4		2		○								
	労働衛生法規Ⅱ	3～4		2		○								
	小計（１７科目）	－	0	31	0	－			0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨床検査系	生理学検査Ⅰ	2		2		○								
	生理学検査Ⅱ	2		2		○								
	画像診断技術	3		2		○								
	生理学検査実習	3		1				○						集中
	生化学検査Ⅰ	2		2		○								
	生化学検査Ⅱ	3		2		○								
	生化学検査実習	3		1				○						集中
	病理学検査	3		2		○								
	病理学検査実習	3		1				○						集中
	血液学検査	3		2		○								
	血液学検査実習	3		1				○						集中
	微生物学検査	3		2		○								
	微生物学検査実習	3		1				○						集中
	免疫学検査	3		2		○								
	免疫学検査実習	3		1				○						集中
	一般検査	2		2		○								
	一般検査実習	3		1				○						集中
	臨床医学概論	2		2		○								
	医療関係法規	4		2		○								
	臨床実習Ⅰ	3～4		2				○						集中
	臨床実習Ⅱ	3～4		4				○						集中
	検査特別講義	4		1		○								集中
	小計（２２科目）	－	0	38	0	－			0	0	0	0	0	
遺伝医学系	分子生物学Ⅰ	2		2		○								
	分子生物学Ⅱ	2		2		○								
	分子生物学実習	2		1				○						集中
	臨床遺伝学	2		2		○								
	遺伝子検査法（実習を含む）	3		2		○		○						集中
	細胞遺伝学	1		2		○								
	分子細胞生物学	2		2		○								
	小計（７科目）	－	0	13	0	－			0	0	0	0	0	
救急医学系	臨床内科学Ⅰ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅱ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅲ	2		1		○			1					
	臨床内科学Ⅳ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅴ	2		1		○								
	臨床内科学Ⅵ	3		1		○								集中
	臨床内科学Ⅶ	3		1		○								集中
	臨床内科学Ⅷ	3		1		○								集中
	救急医学概論Ⅰ	1		1		○					1	1		
	救急医学概論Ⅱ	1		1		○								
	医学検査	2		1		○								
	救急処置総論	1		1		○								
	救急処置各論	2		2		○								
	救急・災害医療	3		1		○								集中
	臨床外科学Ⅰ	2		2		○								
	臨床外科学Ⅱ	2		2		○								
	臨床外科学Ⅲ	3		1		○								集中
	臨床外科学Ⅳ	3		1		○								
	一般救急救命	2		1		○								
	小児科学	3		1		○								
	産婦人科学	3		1		○								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
救急医学系	整形外科学	3		1		○								
	脳外科学	2		1		○								
	精神医学	3		1		○								
	救命救助法	1		1				○				1		集中
	シミュレーションⅠ	2		3				○						
	シミュレーションⅡ	3		3				○						
	シミュレーションⅢ	3		2				○						集中
	病院内実習	3		10				○						集中
	救急車同乗実習	3		3				○						集中
	小計（３０科目）	－	0	49	0	－			1	0	1	2	0	
総合	特別講義Ⅰ	1		2		○								集中
	特別講義Ⅱ	2		2		○								集中
	特別演習Ⅰ	1･2		1			○				1			集中
	特別演習Ⅱ	1･2		1			○							集中
	総合演習	3		2			○							集中
	卒業研究	4	4				○							
	小計（６科目）	－	4	8	0	－			0	0	1	0	0	
合計（１９５科目）		－	33	327	0	－			10	4	4	9	0	

学位又は称号	学士（保健衛生学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：４年以上在学し１２４単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人文・社会学系]から10単位以上 科目区分[数学系]から3単位以上 科目区分[物理学系]から3単位以上 科目区分[化学系]から3単位以上 科目区分[生物学系]から3単位以上 科目区分[言語系]　「英語Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）又は「フランス語Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）のどちらかを選択。他に４単位以上 「英会話Ⅱ」は「英会話Ⅰ」を履修していること 科目区分[保健学系]の「人類生態学」から「健康教育学Ⅰ」のうち４単位以上 「母子保健学」は小児保健を含む 「保健栄養学」は食品学を含む 科目区分[福祉・養護系]　「学校保健学Ⅰ」は学校安全を含む 科目区分[環境・食品系]　「分析化学実験」は放射性同位元素検査学を含む 「動物実験実習」は実験動物学を履修していること	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

教　育　課　程　等　の　概　要

（保健学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教養領域	人間科学系	哲学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
		生命倫理学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
		法学（法の原理と理念）	1		2		○								
		日本国憲法	1		2		○								
		心理学（自己と外界の心理学）	1		2		○								
		発達心理学	1		2		○								
		社会学（人間と社会---社会学の新たな展開）	1		2		○								
		社会福祉学	3		2		○								
		芸術（いろいろな音楽のルーツを訪ねて）	1		2		○								
		体育実技Ⅰ	1		1				○						
		体育実技Ⅱ	2～3		1				○						集中
		健康とスポーツ論	1		2		○								
		小計（１２科目）	－	0	22	0	－			0	0	0	0	0	
	自然科学系	統計学	1		2		○								
		人類遺伝学	1		2		○								
		物理学概論	1		2		○					1			
		化学概論	1		2		○								
		生命科学概論	1		2		○								
		情報処理論	1	2			○								
		小計（６科目）	－	2	10	0	－			0	0	1	0	0	
	言語系	英語Ⅰ	1	2			○								
		英語Ⅱ	1	2			○								
		英語Ⅲ	2		2		○								
		英語Ⅳ	2		2		○								
		英会話Ⅰ	2		2		○								
		英会話Ⅱ	2		2		○								
		フランス語Ⅰ	1		2		○								
		フランス語Ⅱ	1		2		○								
		日本語表現法	1		2		○								
		小計（９科目）	－	4	14	0	－			0	0	0	0	0	
専門基礎領域		解剖学	1	2			○			1					
		生理学	1	2			○								
		生殖生理学	3		1		○								
		生化学	1	1			○								
		病理学	1～2	2			○								
		疾病論Ⅰ	2	2			○								
		疾病論Ⅱ	2	2			○								
		微生物学	1	2			○								
		免疫学	2		1		○			1					
		栄養学	1	2			○								
		薬理学	2	2			○			1					
		公衆衛生学	1	1			○								
		臨床心理学	1		1		○			1		1			集中
		関係法規	3	1			○								
		小計（１４科目）	－	19	3	0	－			4	0	1	0	0	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門領域	基礎看護学系	看護学概論Ⅰ	1	2			○			1	1				
		看護学概論Ⅱ	1	2			○								
		看護方法Ⅰ	1	2			○	○				1	4		
		看護方法Ⅱ	1	2			○	○							
		看護方法Ⅲ	2	2			○	○							
		看護方法Ⅳ	2	2			○	○							
		看護方法Ⅴ	2	2			○	○							
		カウンセリング	3		1		○								集中
		基礎看護学実習Ⅰ	1	1					○						集中
		基礎看護学実習Ⅱ	2	2					○						集中
		小計（１０科目）	－	17	1	0	－			1	1	1	4	0	
	在宅看護学系	在宅ケア論Ⅰ	2	1			○								
		在宅ケア論Ⅱ	3	1			○								
		在宅看護学実習	3～4	2					○						集中
		小計（３科目）	－	4	0	0	－			0	0	0	0	0	
	成人・高齢者看護学系	成人看護学概論	1	1			○				1				
		高齢者看護学概論	1	1			○				1				
		成人保健学	1	1			○								
		高齢者保健学	1	1			○								
		成人看護学Ⅰａ	2	1			○					1			
		成人看護学Ⅰｂ	2	1			○						2		
		成人看護学Ⅱａ	3	2			○						2		
		成人看護学Ⅱｂ	2	2			○						1		
		高齢者看護学Ⅰ	2	1			○								
		高齢者看護学Ⅱ	3	1			○								
		成人看護学実習Ⅰ	3	3					○						集中
		成人看護学実習Ⅱ	3	3					○						集中
		成人看護学実習Ⅲ	3～4	2					○						集中
		高齢者看護学実習Ⅰ	3	1					○						集中
		高齢者看護学実習Ⅱ	3	3					○						集中
		小計（１５科目）	－	24	0	0	－			0	2	1	5	0	
	精神看護学系	精神看護学概論	2	1			○								
		精神保健学	2	2			○								
		精神看護学	3	1			○								
		精神看護学実習	3	2					○				1		集中
		小計（４科目）	－	6	0	0	－			0	0	0	1	0	
	母子看護学系	母子看護学概論	2	2			○			1	1				
		母性保健学	2	1			○								
		小児保健学	2	1			○						2		
		母性看護学Ⅰ	2	1			○								
		母性看護学Ⅱ	2	2			○				2	1	1		
		小児看護学Ⅰ	2	1			○								
		小児看護学Ⅱ	2	2			○								
		母性看護学実習	3	2					○						集中
		小児看護学実習	3	2					○						集中
		小計（９科目）	－	14	0	0	－			1	3	1	3	0	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門領域	地域看護学系	地域看護学概論	2	2			○			1	2		1		
		地域看護学	2	1			○								
		地域看護活動論	3	3			○								
		保健指導総論	2	1			○								
		地域看護学実習	4	2					○						集中
		小計（5科目）	－	9	0	0	－			1	2	0	1	0	
	保健学系	保健管理学	3		2		○								
		健康教育学	3		2		○								
		環境保健学	3		2		○								
		産業保健学	3		2		○								
		保健福祉行政論	3	2			○								
		疫学	3	2			○								
		保健統計	3	2			○								
		学校保健概論	2	2			○								
		養護学概論	2		2		○								
		学校保健学Ⅰ	2		2		○								
		学校保健学Ⅱ	3		2		○								
		健康相談	3		2		○								
		小計（12科目）	－	8	16	0	－			0	0	0	0	0	
	臨床検査学系	臨床検査管理総論	3		1		○								
		臨床遺伝学	4		1		○								
		医用工学概論	2		1		○								
		放射線概論	3		1		○								
		小計（4科目）	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	
	助産学系	助産学概論	3		1		○								集中
		助産診断・技術学Ⅰ	3		1		○								集中
		助産診断・技術学Ⅱ	4		3		○								
		助産診断・技術学Ⅲ	4		3		○								
		助産管理学	4		1		○								
		助産学特論	4		1		○								集中
		助産学実習Ⅰ	4		7				○						集中
		助産学実習Ⅱ	4		1				○						集中
		小計（8科目）	－	0	18	0	－			0	0	0	0	0	
総合領域		医療概論	4	1			○								集中
		看護管理学	4		1		○								
		看護教育論	4		1		○								集中
		移植コーディネータ論	2		2		○								
		基礎看護学特論	3～4		1		○								
		成人看護学特論	4		1		○								
		高齢者看護学特論	4		1		○								
		精神看護学特論	3		1		○								
		母子看護学特論	3～4		1		○								
		地域看護学特論	4		1		○								集中
		特別講義Ⅰ	1		2		○								集中
		特別講義Ⅱ	4		2		○								集中
		総合演習			2			○							集中
		卒業研究	4	4				○							
		小計（14科目）	－	5	16	0	－			0	0	0	0	0	
合計（125科目）			－	112	104	0	－			7	8	5	14	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号		学士（看護学）				学位又は学科の分野			保健衛生学関係					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：４年以上在学し１３７単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人間科学系]　「哲学」から「芸術」のうち12単位以上 「体育実技Ⅰ」、「体育実技Ⅱ」および「健康とスポーツ論」から 1単位以上 科目区分[自然科学系]　選択科目から6単位以上 科目区分[言語系]　選択科目から6単位以上 「英会話Ⅱ」は「英会話Ⅰ」を履修していること 科目区分[成人・高齢者看護学系]の「成人看護学実習Ⅲ」は クリティカルケア、バリアティブケア、リハビリテーションから 1科目選択 科目区分[保健学系]の「学校保健概論」は学校安全を含む	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

教　育　課　程　等　の　概　要

（保健学部臨床工学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会学系	哲学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
	心理学（自己と外界の心理学）	1		2		○								
	法学（法の原理と理念）	1		2		○								
	日本国憲法	1		2		○								
	社会学（人間と社会---社会学の新たな展開）	1		2		○								
	生命倫理学（生と死--その論理と倫理）	1		2		○								
	発達心理学	1		2		○								
	芸術（いろいろな音楽のルーツを訪ねて）	1		2		○								
	小計（８科目）	－	0	16	0	－			0	0	0	0	0	
数学系	数学	1	2			○								
	統計学演習（統計解析）	1		1			○							
	医療情報科学	2		2		○					1			
	計算機演習	2	2				○			1		1		
	応用数学	1	2			○								
	小計（５科目）	－	6	3	0	－			0	1	1	1	0	
物理学系	基礎電気学	1	2			○								
	基礎電子回路	1	2			○								
	医用工学概論	1	2			○			1					
	小計（３科目）	－	6	0	0	－			1	0	0	0	0	
化学系	無機化学	1		2		○								
	生物有機化学Ⅰ	1		2		○								
	生物有機化学Ⅱ	1		2		○								
	化学実験	1		1				○						
	小計（４科目）	－	0	7	0	－			0	0	0	0	0	
生物学系	生命科学概論	1		2		○								
	細胞生物学	1		2		○								
	人類遺伝学	1		2		○								
	生物学実験	1		1				○						
	小計（４科目）	－	0	7	0	－			0	0	0	0	0	
言語系	日本語表現法	1	2			○								
	英語Ⅰ	1		2		○								
	英語Ⅱ	1		2		○								
	英語Ⅲ	2		2		○								
	医学英語	2		2		○								
	英会話Ⅰ	2		2		○								
	英会話Ⅱ	2		2		○								
	フランス語Ⅰ	1		2		○								
	フランス語Ⅱ	1		2		○								
	フランス語Ⅲ	2		2		○								
	フランス語会話	2		2		○								
	小計（１１科目）	－	2	20	0	－			0	0	0	0	0	
体育学系	体育実技Ⅰ	1	2					○						集中
	体育実技Ⅱ	3		1				○						
	健康スポーツ科学	1		2		○								
	小計（３科目）	－	2	3	0	－			0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎医学系	医学概論	1	2			○			1					
	公衆衛生学Ⅰ	1	2			○								
	公衆衛生学Ⅱ	1		2		○								
	解剖学Ⅰ	1	2			○								
	解剖学Ⅱ	1		2		○								
	病理学	2	2			○								
	生理学Ⅰ	1	2			○			1	1				
	生理学Ⅱ	1	2			○					1			
	生理学実験	1	1					○	1					集中
	生化学Ⅰ	1		2		○								
	生化学Ⅱ	2		2		○								
	血液学	2		2		○								
	免疫学	2		2		○								
	微生物学	2		2		○								
	医動物学	2		2		○								
	薬理学	2		2		○								
	看護学	2		2		○								
	小計（１７科目）	－	13	20	0	－			3	1	1	0	0	
医学検査系	生理学検査Ⅰ	2	2			○								
	生理学検査Ⅱ	2	2			○								
	画像診断技術	3		2		○								
	生理学検査実習	3		1				○						集中
	医学検査	2		2		○								
	臨床病理学	2		2		○								
	臨床遺伝学	2		2		○								
	小計（７科目）	－	4	9	0	－			0	0	0	0	0	
臨床工学系	医用電気工学	2		2		○								
	医用電気工学実習	2		1				○				1		集中
	医用電子工学	2		2		○								
	医用電子工学実習	2		1				○						集中
	システム工学	1		2		○								
	医用情報処理工学	2		2		○								
	医用情報工学実習	2		1				○						集中
	医用計測工学	2		2		○								
	医用計測工学実習	3		1				○						集中
	医用機械工学	2		2		○								
	生体物性学	2		2		○								
	生体材料工学	2		2		○								
	医用機器学概論	2		2		○								
	医用計測機器学	2		2		○								
	医用計測機器学実習	3		1				○				1		集中
	医用治療機器学	2		2		○								
	医用治療機器学実習	3		1				○						集中
	生体機能代行装置学概論	2		2		○								
	生体機能代行装置学基礎実習	3		1				○						集中
	呼吸関連機器学	3		2		○								
	呼吸関連機器学実習	3		1				○						集中
	血液浄化装置学	3		2		○								
	血液浄化装置学実習	3		1				○						集中
	体外循環機器学	3		2		○								
	体外循環機器学実習	3		1				○						集中

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨床工学系	医用機器安全管理学Ⅰ	2		2		○								
	医用機器安全管理学Ⅱ	2		2		○								
	安全管理学実習	2		1				○						集中
	臨床医学総論Ⅰ	2		2		○								
	臨床医学総論Ⅱ	2		2		○								
	臨床医学総論Ⅲ	2		2		○								
	臨床医学総論Ⅳ	3		2		○								
	医療関係法規	4		2		○								
	臨床実習講義	3		1		○								集中
	臨床実習	3		3				○						集中
	小計（３５科目）	－	0	59	0	－			0	0	0	2	0	
衛生学系	産業保健学	4		2		○								
	環境衛生工学	4		2		○								
	放射線概論	2		2		○								
	環境化学	1		2		○								
	分析化学Ⅰ	1		2		○								
	分析化学Ⅱ	2		2		○								
	食品栄養学	2		2		○								
	食品衛生学	3		2		○								
	食品製造学	2		2		○								
	職業適性論	2		2		○								
	労働衛生法規Ⅰ	4		2		○								
	労働衛生法規Ⅱ	4		2		○								
	救命救助法	1		1				○						集中
	小計（１３科目）	－	0	25	0	－			0	0	0	0	0	
総合	特別講義Ⅰ	4		2		○								集中
	特別講義Ⅱ	4		2		○								集中
	特別演習Ⅰ	4		1			○							集中
	特別演習Ⅱ	4		1			○							集中
	総合演習	4		2			○							集中
	卒業研究	4	4				○							
	小計（６科目）	－	4	8	0	－			0	0	0	0	0	
合計（１１６科目）		－	37	177	0	－			4	2	2	3	0	

学位又は称号	学士（臨床工学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：４年以上在学し１２４単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人文・社会学系]から10単位以上 科目区分[化学系]から3単位以上 科目区分[生物学系]から3単位以上 科目区分[言語系]　「英語Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）又は「フランス語Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）のどちらかを選択。他に４単位以上 科目区分[基礎医学系]は「血液学」～「看護学」のうち2単位以上	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

（３）授業科目の概要

授　業　科　目　の　概　要

（保健学部救急救命学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
人文・社会学系	哲学（生と死--その論理と倫理）	哲学の教師が授業で何をどのように問題にするかは、その教師が「哲学とは何か」という問いに対してどのような解答を用意しているかによって決まるであろう。この講義をするに当たっての私の解答はこうである。「哲学とは、あらゆる事柄を平等に問いに付すことである」。そして「哲学とは、答えが出ないことに耐えながら、問い続けることである」。 一般に問う意味があると承認されているような問いだけではなく、問うても無意味である、問うまでもなくあたり前である、そうした問いを発するべきではない、と考えられているような問いも、哲学は平等に問いに付す。哲学にとって、問うにあたいしない問いなど一切ない。 また、哲学の問う問いは、あらかじめ模範解答が用意されていて、正しい手続きを踏めば必ずその解答に到達できることが約束されているような（ということは、学生諸君がこれまでの勉強で慣れ親しんできたような）問いでもない。哲学は、解答が出るとは限らない問いを、しかし独りよがりにはならずに、あくまで学的に問い続ける。 世界中が謎だらけに思えて、つねに「なぜ、どうして」と問いをぶつけては、まわりの大人を困らせた子供の時のメンタリティーを失っていない者ならば、週に一回、哲学的思索に費やす時間を持っても、無駄ではなかろう。	
	法学（法の原理と理念）	私達の生活は常に法との関わりをもっている。将来、いかなる方面に進むにせよ、法と無縁の生活は考えられない。もちろん、関わりを有するであろう法を全て知ることはできないし、また、その必要もない。むしろ重要なことは、法的な考え方を身につけることである。 本講義においては、各種の問題の分析を通して、そこでの法的な問題点、解決のための考え方等を身につけることを目的とする。できるだけ具体的な事例等を用いながら、分かりやすく講義を進めたいと考えている。	（　）
	法学（法の原理と理念）	現代社会で法律学の基礎知識は必須となっています。具体的な事件を素材にして、法学の基礎的な素養を身につける講義を目指します。法の文言の解釈の問題や英文法と大陸法違いなど法学の基礎的な論点を習得して頂きます。さらに、2009年に導入される裁判員制度の概要やロースクールによる法曹要請の問題など現代的なトピックスについても適宜提供していきたいと考えています。	（　）
	日本国憲法	本講義は、教養の法学講義であると同時に、教員免許を取得しようとする受講生にとって必須の授業となっている。これにかんがみて、本年度は、「子どもの人権」をテーマとして授業を展開したい。法学的に「子ども」とは、20歳未満の「未成年者」をさすことになるが、そのことの意味を考えることからはじめ、現代の子どもを巡る法的問題をいくつかトピックスとして取り上げつつ、特に憲法との関連性を重視しながら進めてゆきたい。時事問題にも意識したいので、あらかじめ最初から固定的にテーマを設定しないようにしたいが、少年法・児童福祉法・保育所問題・校則問題・教科書問題などを念頭にはおいている。	（　）
	日本国憲法	言葉として覚えていても、それがいったいどういう意味をもつのか、案外わかってないことって多いですよね。憲法というのも、残念ですが、どうやらそういうものの１つのようです。憲法はただ単に国の最高法規というだけでなく、実は立憲主義により支えられた人権保障と権力分立という中身の詰まったものなのです。 この講義では、憲法の基本的内容について、トピックを選び資料を用いて、立憲主義をきちんと理解することを目的としています。	（　）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
人文・社会学系	社会学（人間と社会---社会学の新たな展開）前期	社会学とは、人間と社会の理解を深めるための学問である。社会学には、人間と社会の本質をどのように捉えるかによって、様々な視点があり、社会現象や人間の行為の解釈が行われてきた。 本講義においては、日常生活と社会学の接点を考えながら、基本的な社会学理論の解説を行う。社会学の様々な視点を学ぶことによって、「人間と社会を見る目」を養っていけたらと考えている。	
	社会学（人間と社会---社会学の新たな展開）後期	社会学とは、人間と社会の理解を深めるための学問である。社会学には、人間と社会の本質をどのように捉えるかによって、様々な視点があり、社会現象や人間の行為の解釈がおこなわれてきた。 本講義は、原則として社会学（前期）の履修者を対象とする。「社会学における新しい展開」を中心に解説し、身近な問題にも触れながら、より広い視野から「人間と社会を見る目」を養っていくことを目的とする。	
	倫理学（人間とは何か---時代と人間認識）	本講義は「西洋倫理学の歩み」と題し、西洋哲学における主たる倫理学説を比較検討することを目的とする。そのことを通して、倫理や道徳を、単に主観的・感情的にではなく、客観的・学問的に考えるとはいかなることなのかをつかんでほしい。 授業は基本的には講義形式となるが、なるべく一方通行にならないよう随時、学生諸君からの質問・意見・反論を受け付ける。	
	生命倫理学（生と死---その論理と倫理）	本講義は「生と死 ― その論理と倫理」と題し、生命倫理学（バイオエシックス）で問題となっているさまざまな事柄の検討を通して、現在テクノロジーの急激な発展によって再考を余儀なくされている生命観に学問的アプローチする際の視座を呈示する。 授業は基本的には講義形式となるが、なるべく一方通行にならないよう、随時、学生諸君からの質問・意見・反論を受け付ける。また、必要に応じて、グループワークをしてもらう可能性がある。	
	心理学（自己と外界の心理学）	Zimbardo,P.G.によれば、現代の心理学で用いられている人間理解の方法は、精神力動的モデル、行動主義的モデル、認知的モデル、人間学的モデルの４つである。 本講義では、この４つのモデルの基礎を学ぶ。講義の中心視座は臨床心理学におかれるが、基礎心理学の方法論と知見に関しても適宜解説する。	（　）
	心理学（自己と外界の心理学）	本講義では、人間理解のために心理学の概要を理解することを目的とする。大学で初めて心理学を学ぶ人にもわかりやすいように、図表や映像を使用しながら、心理学の基本的な考え方や技法を紹介する。また、こころのトラブル、集団の中での我々の行動特性についても紹介する。	（　）
	発達心理学	人間は生まれた時から社会的な存在である。本講義では、社会の中で人間がどのように発達していくのか理解することを目的とする．前半では特に乳幼児期を中心に、できるだけ映像を多く使用しながら解説する。子どもの世界を身近なものとして感じてもらいたい。後半では自己を中心に解説する。”わたし”とは何か、受講者それぞれが考える場にしてほしい。	
	教育心理学	教育には人間の理解が必要である。本講義では、人間の発達の特徴や「やる気」になるメカニズム、対人関係のメカニズムについて理解することを通じて、受講者それぞれに教育のあり方について考えてもらいたい。また、人を攻撃する行動や援助する行動について理解することにより、いじめや学校不適応の諸問題についても考えていきたい。学習障害の事例から、個に応じた学習とは何かについても検討したい。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
人文・社会学系	芸術（いろいろな音楽のルーツを訪ねて）	ヨーロッパの音楽の歴史をたどっていくと、音楽は政治や宗教の道具にされるなど、社会のなかで様々な役割を果たし、単なる「芸術」ではなかったことがわかる。私たちがよく知っているバッハやモーツァルト、ベートーヴェンなどの「大音楽家」も、当初から特別な「大音楽家」であったわけでなく、その時代のニーズに合わせて活動していた数多くの音楽家のひとりであった。そこで本講座では、なぜそのような音楽が生まれたのか、社会のなかで音楽がどのような役割を担い、作用したかといったことに視点を置き、ヨーロッパにおける音楽の歴史を様々な角度から考察していく。	
	民俗学（各国の民間伝承と歴史認識）	庶民生活を見つめ、自国の文化を再発見しながら、自己内省につなげていくという日本民俗学の特色・性格を生かして、旅の文化、観光資源としての民間伝承に焦点をあてて考察していく。 旅の文化を形成する旅人の心情や旅の習俗などを読み解き、旅の意義、旅の目的を考察しながら、民間伝承や地理・風土への関心を持って、観光資源としての生活文化、景観に対する理解や見識を深めていきたい。 また自覚的な問題意識に立って、自分たちの生活や社会に見出すことのできる様々な民間伝承の事例を取り上げ、それらを異文化体験として捉えながら、問題点の所在を考察していくことにしたい。	
数学・物理学系	基礎物理学	医療技術者にとって理工学の知識は必要不可欠であり、その基礎となる物理学は重要である。そこで、この講義では、物理学的に見た生体、物理学的刺激に対する生体の反応などについて学ぶ。	
	物理学（物理学の基礎――運動・熱・電気を中心に）	自然科学は日常的な現象を体系的に整理し、一定の法則を見出そうとする科学である。物理学はこのような自然科学の一分野であるばかりでなく、あらゆる学問の基礎となる学問であり、物理的なものの見方、考え方はあらゆる学問に通じるものである。そこで、この科目では考え方に重点を置き、運動、熱、電気等について、基礎となる考え方、法則について学ぶ。授業計画は臨床検査技師国家試験を目指す学生にとって基礎となる内容となっている。また、その他の学生については、空き時間を使い、ゼミ形式で授業を行う予定である。	
	医用工学概論	医学、および医学研究の進歩は、物理学、電気・電子工学に基づいた種々の医療、あるいは研究機器に負うところが多い。これらの学問をはじめとする自然科学的手法を取り入れた医学は、定性的から定量的に、主観的から客観的に取り扱われるようになった。医用工学は、医学と理・工学との接点であり、医療現場で働こうとする者にとって必要不可欠な学問となっている。そこで、医学との接点となっている物理学、電気・電子工学の基礎、および医学への応用を学ぶとともに、自然科学的なものの見方、考え方を養う。	
	数学	数学の知識や考え方は、科学を学ぶために必要不可欠である。本講義では微分積分学をとおして数学の知識を広げ、数学的考え方も身に付けることを目的とする。	
	統計学	現在、統計学は、調査資料や実験データの解析など、様々な方面に応用されている。また、統計学の知識や考え方は、いろいろな事柄の理解の助けになる。 本講義では、いろいろな問題に統計学を応用できることを目標として、基礎から統計学を学ぶ。	
	医療情報科学	情報技術（IT）の基礎から応用までを解説する。情報技術を発展的に活用するためには，これらの原理や仕組みを十分に理解しておく必要がある。本科目では，コンピュータの基本構成から機器の構造，機能について解説するとともに，様々な情報をデジタル化する技術や，今後、急速な拡大が予想されるネットワーク技術，コンピュータウイルスやセキュリティ問題について検討する。さらに医療分野におけるITの現状と今後について解説する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
数学・物理学系	情報処理演習	初学者を対象とした情報科学系の実習。グラフィックや動画、音声などを挿入できる多機能な世界標準のワープロソフト（Word）と、表作成に加えグラフ作成やデータ処理のできる表計算ソフト（Excel）の活用方法を習得する。併せて情報リテラシーの基礎を学ぶ。これらは在学時の研究活動に必須なだけでなく、卒業後も実社会でそのスキルを要求される。MOUS検定（一般）の受験を視野に入れた内容と水準の講義をおこなう。適時、課題の提出を指示する。	1 ガイダンス（　、　、　） 2 Windowsの基礎、文字の入力（　、　、　） 3 Wordの起動、終了、画面構成、文字列の操作（　、　、　） 4 書式設定、フォント、修飾設定、日付設定（　、　、　） 5 文字スタイル、段落書式、タブ設定（　、　、　） 6 ヘッダー、フッター、段組とレイアウト（　、　、　） 7 Excelの起動、終了、画面構成、セルの入力（　、　、　） 8 セルの書式設定、移動、削除（　、　、　） 9 ショートカット、スペルチェック、ブックフォルダ（　、　、　） 10 テンプレートの利用、フィルタ（　、　、　） 11 行、列の設定、ワークシートの書式設定（　、　、　） 12 統計関数、論理関数、印刷設定（　、　、　） 13 グラフの活用、グラフウイザード（　、　、　） 14 関数とグラフの連携（　、　、　） 15 まとめ（　、　、　）
化学系	基礎化学	この講義の目的は、学生諸君が専門科目を効率的に学ぶことができるように化学の基礎知識を教授することである。従って、化学が得意科目でなかったり、入試科目として化学を選ばなかったために大学の専門科目の授業についていけるかどうか不安を持っている学生には是非履修することを望む。	
	無機化学	本講義の目的は、１学年後期から開講される化学系の専門科目（分析化学、生化学、臨床化学等）を学生諸君が効率的に学ぶことができるように、基礎化学（有機化学部分を除く）を教授することである。従って、高校で学習した内容を復習しながら、さらに大学で化学系科目を学んでいく上で必要な基本的事項を、知識の網羅ではなく、確実に理解することに重点をおく。化学が得意科目でなかったり、入試科目として化学を選ばなかったため、大学レベルの化学についていけるかどうか不安を持っている学生諸君は是非、履修してほしい。	1 物質の構成粒子（　） 2 物質量と化学反応式（1）（　） 3 物質量と化学反応式（2）（　） 4 原子の性質と周期律（　） 5 化学結合とその種類（　） 6 共有結合と分子の形状（　） 7 酸と塩基（1）（　） 8 酸と塩基（2）（　） 9 電離平衡とｐＨ（1）（　） 10 電離平衡とｐＨ（2）（　） 11 酸化と還元（1）（　） 12 酸化と還元（2）（　）
	生物有機化学Ⅰ	有機化学は、有機化合物の物性の究明から生体成分の構造と機能の解明にいたるまでの広範な学問であり、ライフサイエンスの基礎としては欠くことのできない科目である。 生体の諸活動は絶え間ない物質変換（化学反応）の流れの中で営まれており、その中心的役割を担う物質は有機化合物である。 この生体物質や生体反応を理解するためには有機化学の知識が要求される。 生物有機化学には(I)と（II)が講義として用意されている。 広範囲な有機化学を半期で終えることは困難であるため（I)と（II）でその全体をカバーする。 官能基による物性の違い、反応性などについての基礎知識を、系統的かつ平易に理解させることを目的とする。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
化学系	生物有機化学Ⅱ	有機化学は、有機化合物の物性の究明から生体成分の構造と機能の解明にいたるまでの広範な学問であり、ライフサイエンスの基礎としては欠くことのできない科目である。 生体の諸活動は絶え間ない物質変換（化学反応）の流れの中で営まれており、その中心的役割を担う物質は有機化合物である。 この生体物質や生体反応を理解するためには有機化学の知識が要求される。生物有機化学には(I)と（II)が講義として用意されている。広範囲な有機化学を半期で終えることは困難であるため（I)と（II）でその全体をカバーする。官能基による物性の違い、反応性などについての基礎知識を、系統的かつ平易に理解させることを目的とする。	
	化学実験	化学的諸現象に対する理解力を養うには、物質の構造・性質・変化に関する体験的学習が不可欠である。定性分析、酸・塩基反応、酸化還元反応、錯形成反応などによる定量分析、合成反応、弱酸の解離平衡などの実験を通じて原子・分子の世界の化学的な見方、考え方を体得する。	
生物学系	基礎生物学	種々の専門科目の履修に先立ち、それらの基礎となる生物学の基礎知識を習得することを目的とする。基本的には入試科目として生物学を選択しなかった学生を対象として、高校の生物 Ⅰレベルの基礎知識の習得を目指す。	
	生命科学概論	現代の生命科学は遺伝子の本体である核酸（DNA）の構造の解明にはじまり、発生のしくみや疾病の原因となる変化などの複雑な生命現象を次々に明らかにしてきた。さらに遺伝子操作による新しい生物の創造など、応用分野を拡大させ従来の生命の定義にも変革をもたらしている。自然科学の他の分野を理解するうえで不可欠であり、さらに医学に関連する分野では最も重要な要素の一つである。 本講義では生物の定義から、生物の基本単位である細胞について学び、さらにその構造と機能を維持する情報分子である遺伝子／核酸の構造、複製と発現に関する基本事項を学ぶ。また遺伝子／核酸の変異が個体差や疾病となる機構についても言及する。	
	細胞生物学	生物は多様な形態を示すが、その基本単位は細胞である。ヒトを含む多細胞生物では様々な形に分化した細胞が集合して一つの生物体を形成している。 本講義では基本単位である細胞の構造からその生物を形作る過程、さらに形を維持する機構等についてとりあげる。それぞれのテーマの中で、その知識を得るためにどのような方法がどのように用いられてきたのか、また今後の応用等についてもふれる。	1 個体・器官・組織・細胞（ ） 2 細胞構造の観察：顕微鏡の発明（ ） 3 細胞内小器官の構造と機能（ ） 4 細胞骨格と細胞接着（ ） 5 演習１（ ） 6 細胞の増殖：体細胞分裂（ ） 7 細胞増殖の異常：がん（ ） 8 減数分裂と生殖（ ） 9 受精と初期発生（ ） 10 演習２（ ） 11 ヒトの発生（ ） 12 細胞のコミュニケーション（ ） 13 発生と分化の分子機構（ ） 14 新しい技術の利用（ ） 15 まとめ

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
生物学系	人類遺伝学	細胞では、いろいろな遺伝子が働いたり休んだりして正常な機能を維持しています。この調節の異常や遺伝子の変異が病気の発症に関与することがあります。親から子に伝わった病気、親の配偶子や受精卵に起こった突然変異による病気、発生過程で起こった病気、そして、突然変異によらない遺伝子の病気、等について勉強します。また、突然変異を防ぐ方法や、どうしても防げない突然変異についても勉強します。先端技術の是否が問われている社会的背景を踏まえて、遺伝子診断の技術の進歩と倫理問題も考えます。 目標　：　遺伝子の病気への遭遇は偶然性が高いことの理解、偶然に遺伝病をもった人への理解と協力の心を養います。	1　人類遺伝学で学ぶこと　－知識と技術と生命倫理　（　） 2　遺伝子疾患の分類　－遺伝病・遺伝子病・突然変異　（　） 3　遺伝子のはたらき・突然変異　（　） 4　染色体と染色体を観察することによって診断できる病気　（　） 5　ヒトのメンデル遺伝病　－家族集積性、散発生、分離比、性比　（　） 6　ヒトのメンデル遺伝病　－浸透率、表現度の差、遺伝的表現促進　（　） 7　三毛猫はなぜ雌ばかりなの？　－　ライオニゼーション　（　） 8　理解度判定テスト　（　） 9　父親の遺伝子と母親の遺伝子の活性の違い　－　エンドウ豆との違い　（　） 10　多因子遺伝　－連続形質・離形質　（　） 11　遺伝子解析技術　（　） 12　トピックス　－ガン、性の決定　（　） 13　出生前診断・発症前診断　（　） 14　遺伝子診断技術と生命倫理　（　） 15　質疑応答　（　）
	生物学実験	生命の基本的単位である細胞を生きている状態で観察することによって生命の動的側面を理解すること、細胞の観察に必要な光学顕微鏡の取扱いとプレパラートの作製法に習熟する。観察・実験結果を記録し報告するためのレポートの書き方を習得する。	
言語系	日本語表現法	日本語表現を話しことば・音声の面から実践的に学ぶ。分かりやすく、的確に伝え合う能力の向上を図ると共に、ことばと音の基礎知識を身につける。	
	英語Ⅰ	総合的な英語力を養成するため、リスニング教材とリーディング教材を併用して、授業を進める予定です。リスニングに関しては、実践的な問題を用いながら、様々なタイプのリスニングに慣れ、内容把握の練習をし、リーディングに関しては、素早く的確に必要な情報をつかむ練習をしていきます。	（　）
	英語Ⅰ	英語の基礎を確認し、英語を使いこなすための基本的演習を行う。読解・聴解・作文・口頭表現の4技能に関する演習を重ねることで、大学における学習・研究活動に必要な英語力の素地を培うことを目的とする。辞・事典類や参考書、資格試験、英語圏への留学および英語学習法などについて基本的な紹介も併せて行う予定である。	（　）
	英語Ⅱ	総合的な英語力を養成するため、リスニング教材とリーディング教材を併用して、授業を進める予定です。リスニングに関しては、実践的な問題を用いながら、様々なタイプのリスニングに慣れ、内容把握の練習をし、リーディングに関しては、素早く的確に必要な情報をつかむ練習をしていきます。	（　）
	英語Ⅱ	英語の基礎を確認し、英語を使いこなすための基本的演習を行う。読解・聴解・作文・口頭表現の4技能に関する演習を繰り返すことで、大学における学習・研究活動に必要な英語力を培うことを目的とする。履修者諸君の積極的な学習姿勢が強く望まれる。英語学習法などについてのアドヴァイスなども併せて行う予定である。	（　）
	英語Ⅲ	主として英語の聴解・口頭表現に関する発展的演習。実践的な聴解演習や英語のスピーチ、さまざまな場面での英会話など、英語圏での生活を想定した演習を行う。履修者の皆さんには、この講座を通じて、話し言葉としての英語に対する自信をつけていただきたい。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
言語系	英語Ⅳ	主として英語の読解・英作文に関する発展的演習。履修者諸君の将来の職業や専門分野に必要な書物を読む力や、英語論文、報告書、英文レターなどの作成に必要な実践的英語力を身につけることを目的とする。履修者の皆さんには、この講座を通じて、書き言葉としての英語に対する自信をつけていただきたい。	
	英会話	平易な英文を読み、その内容について簡単なディスカッションができるようになる。また、旅行先や、日常生活で必要となる会話表現に習熟する。	
	医学英語	医学・医療系英語を積極的に学ぶ姿勢を、主として英文読解力を向上させることにより育てる事を目的とする。基礎英語力を備えた学生を対象に、医学・医療分野の英文エッセー、教科書、講演文（総説）を精読、さらに大意把握するコツを教える。教科書①に掲載の14の医療系長文読解を完璧にする事を最低限の目標とするが、向上心の強い学生の希望にも添えるようにしたい。また医療・医学系現場で良く用いられる英会話表現や、電子メールや手紙で有用な英文表現も、時間の許す限り紹介したい。	（　）
	医学英語	保健学に関する学術論文を材料に、１つの論文内容を正確に早く把握する方法について解説する。英語は後から訳すものではない。関係代名詞を「～するところの」と訳すような悪癖を取り除き、「日本語に訳す」とはどういうことか、「内容を理解する」とはどういうことか解説する。出席と課題の提出を重視。「医学」にとどまらず、広く「保健学」に関する論文を材料として用いる。	（　）
	フランス語Ⅰ	フランス語のメカニズムを理解しながら、幅広いフランス文化に触れることを目標にします。試験の代わりに隔週、筆記、聞き取りの問題を課し、仕上げに映像資料を使って文化紹介を行います。	
	フランス語Ⅱ	春学期の発展として、さらに深いコミュニケーション行為ができるよう学習を進めていきます。途中からの参加者で辞書を持っていない人は必ず買って持参して下さい。	
	フランス語Ⅲ	初級フランス語（フランス語Ⅰ及びフランス語Ⅱ）を履修した学生を対象に、中級フランスの文法事項の習得を目的とし、同時にフランス語検定３級を受験できる語学力の養成を目指します。	
	フランス語会話	フランス語Ⅲに引き続き、中級フランス語の文法事項の習得と、フランス語検定３級を受検できる語学力の養成を目指します。	
体育学系	健康スポーツ科学	健康なくして健全な学生生活も社会生活もあり得ない。体育・運動及び健康教育理念を深く浸透させ、健康の保持増進・体力の向上をはかるとともに、その自覚を促進させる。自己管理に徹底をきすべきは勿論、各種リーダーとして指導的役割を果たせるように学ばせる。本講義では、体育、運動、健康、体力、トレーニング科学などについて論じる。	
	体育実技Ⅰ	心身発育段階の成熟期にあたり、しかも知的吸収欲の最も旺盛な大学期に計画的な身体運動を実践することにより身体や身体運動および体力に関する正しい知識を得た上で、保健学部生として、これらに関する意識の確立を目的とする。本実習では、基礎体力養成を目的としたフィットネストレーニングを基に、複数のスポーツ種目を年間を通じて実施する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
体育学系	体育実技Ⅱ	心身発育段階の成熟期にあたり、しかも知的吸収欲の最も旺盛な大学期に計画的な身体運動を実践することにより身体や身体運動および体力に関する正しい知識を得た上で、保健学部生として、これらに関する意識の確立を目的とする。そこで、本実習では、合宿等の集団生活における体験を通じて、個人と集団のモラルを学ばせる。また、事前に実施する学内実習では、基礎体力と生涯スポーツ種目の基礎体力、学外ではフィットネストレーニングと生涯スポーツ種目の技術と心身の向上をはかる。	
基礎医学系	医学概論	医学、及び医療技術の進歩に伴う諸問題、高齢化社会への急速な移行などによる医療環境の変化などについて考える。医学とは何か、人々のために役立てる正しい医療とは何かを把握するために、医学、医療、看護を多角的な面から概観する。	1 医学をどのようにとらえるか。（ ） 2 医学の歴史（ ） 3 健康・病気・医学の体系（ ） 4 病気の原因（ ） 5 病気による身体の変化（1）（ ） 6 病気による身体の変化（2）（ ） 7 病気の診断（ ） 8 病気の治療とリハビリテーション（ ） 9 病気の予防（1）（ ） 10 病気の予防（2）（ ） 11 新しい医療システム（ ） 12 医学及び看護の生命へのアプローチ（ ）
	公衆衛生学Ⅰ	公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐に亘っているが、本講Ⅰでは保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。	1 公衆衛生学概論Ⅰ（ ） 2 遺伝と健康（ ） 3 人口論・国際保健－1（ ） 4 人口論・国際保健－2（ ） 5 保健栄養－1（ ） 6 保健栄養－2（ ） 7 母子保健－1（ ） 8 母子保健－2（ ） 9 学校保健（ ） 10 精神保健－1（ ） 11 精神保健－2（ ） 12 疫学・保健統計－1（ ） 13 疫学・保健統計－2（ ） 14 成人保健・老人保健－1（ ） 15 成人保健・老人保健－2（ ）
	公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐に亘っているが、本講Ⅱでは、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説を中心として行い、公衆衛生学の基本的技術論、方法論についても触れる。	1 公衆衛生学概論Ⅱ（ ） 2 生命倫理（ ） 3 健康教育－1（ ） 4 健康教育－2（ ） 5 保健福祉論－1（ ） 6 保健福祉論－2（ ） 7 感染症（ ） 8 環境保健－1（ ） 9 環境保健－2（ ） 10 産業保健－1（ ） 11 産業保健－2（ ） 12 保健衛生行政－1（ ） 13 保健衛生行政－2（ ） 14 地域保健－1（ ） 15 地域保健－2（ ）
	解剖学Ⅰ	解剖学は医学、医療分野で最も基本的な学問である。からだの構造を理解することにより、如何にからだが調和ある機能を営んでいるかを知る学問である。単に、からだの構造の暗記ではなく、生理、機能との関連性を考慮して、医学諸学科を理解する基礎知識の習得を目的とする。総論として序論－解剖学とは・人体構成の概要、解剖学用語、細胞と組織を、各論として器官別に肉眼、光学顕微鏡、電子顕微鏡的見地より、人体の構造とその意義について学ぶ。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎医学系	解剖学Ⅱ	解剖学は医学、医療分野で最も基本的な学問である。からだの構造を理解することにより、如何にからだが調和ある機能を営んでいるかを知る学問である。単に、からだの構造の暗記ではなく、生理、機能との関連性を考慮して、医学諸学科を理解する基礎知識の習得を目的とする。総論として組織とその分類を、各論として器官別に肉眼、光学顕微鏡、電子顕微鏡的見地より、人体の構造とその意義について学ぶ。	
	生理学Ⅰ	生理学は生体の構造と機能を解き明かす学問であり、本講義では生理学の基本を概説するとともに、主に人体の植物性機能について、細胞や組織の成り立ち、体液や血液の性質や調節機構を説明する。さらに、組織を機能単位でとらえ、循環器系、呼吸器系、消化器系などのシステムについて説明する。生理学を単に医学としての体系だけでなく、自然科学の一分野としてとらえ、人体を系統的かつ理論的に観察、理解するための勉強方法もこの時期にしっかりと身につけてほしい。	1 生理学概要、心臓と循環 1（　） 2 心臓と循環 2（　） 3 心臓と循環 3（　） 4 心臓と循環 4（　） 5 血液と体液 1（　） 6 血液と体液 2（　） 7 血液と体液 3（　） 8 呼吸 1（　） 9 呼吸 2（　） 10 呼吸 3（　） 11 呼吸 4（　） 12 腎と排泄 1（　） 13 腎と排泄 2（　） 14 消化と吸収 1（　） 15 消化と吸収 2（　）
	生理学Ⅱ	主に、動物機能の分野を説明する。中枢神経や末梢神経にはじまって、これらと接続する筋，感覚器の機能の説明を行う。さらに、身体の調節系であるホルモンについても講義する。	1 内分泌と化学伝達機能①（　） 2 内分泌と化学伝達機能②（　） 3 内分泌と化学伝達機能③（　） 4 中枢神経の構造と機能①（　） 5 中枢神経の構造と機能②（　） 6 中枢神経の構造と機能③（　） 7 末梢神経（胞神経，体性神経，他）①（　） 8 末梢神経（胞神経，体性神経，他）②（　） 9 末梢神経（胞神経，体性神経，他）③（　） 10 感覚の生理①（　） 11 感覚の生理②（　） 12 筋とその活動の生理①（　） 13 筋とその活動の生理②（　） 14 細胞膜電位と神経伝導①（　） 15 細胞膜電位と神経伝導②（　）
	生化学	生化学の目標はありとあらゆる生命現象を化学の言葉で理解することであるので、生体がどのような物質で作られ、それらがどのような意味を持っているかを探求する。したがって生化学は生体の無機物質から脳の機能まで、非常に広い分野を扱う基礎医学であり、臨床化学とも関連が深い。 本講義ではその入門として、基本的な生体物質について講義する。	
	病理学	病理学とは、疾病の原因、経過および結果を追求し、疾病における形態と機能の変化を明らかにすることによって疾病の本態を解明する学問である。疾病はその成り立ちから、先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍の五つの病変カテゴリーに分類されるが、それらの病変カテゴリーを学び、疾病の本態を総合的にとらえる。	
	微生物学	病原微生物によって起る感染症は、地球上の至る所に蔓延し、我が国においても院内感染をはじめとした様々な問題をかかえている。 本講義では、臨床検査、救急医学や食品衛生学を学ぶ上で必要な病原微生物の分類、構造、生理、遺伝、感染の概念、予防と化学療法などの総論的内容と代表的な細菌の性質について解説する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎医学系	血液学	ヒトの血液の成分と機能、病気のとき血液に現れる変化を学び、代表的な血液の病気を健康科学の面から理解し、他者とコミュニケーションが必要な場面では「からだの基礎知識」として話せるように学習する。	
	免疫学	免疫系は、様々な液性因子や細胞性因子の相互作用により非自己に攻撃を加えることで、自己を守り生体を防御する。しかし、免疫系の過剰な反応は時に生体を攻撃し、病気を引き起こす。従って、免疫系の仕組みを理解することは多くの病態を理解するうえでの基礎として重要です。本講義では、免疫の分子機構の基礎を解説すると共に、免疫機能の破綻がもたらす疾患について触れる。	
	薬理学	薬理学は、臨床で使用される薬の名前を覚えるだけでなく、生理学の知識を基礎にして、薬の生体内動態、安全性と有効性、薬の主作用・副作用の発現機序などについて学習する。	
	救命救助法	震災対策，海、山での遭難時に備え、救命救助法を身につけておくことは、保健学部に学ぶ者の責務である。本実習では映像資料等を用いてこれらの事故の実態と救命救助体制、防災計画などについて学ぶとともに、救命救助法の技能を習得する。最終試験に合格した者には、東京消防庁より「救急員認定証」が交付される。	
救急医学系	内科学Ⅰ	心臓・血管系疾患の病因、病態生理、症状、悪化防止、生命の危険回避をするために必要な救急処置の知識、技能、観察の方法と意義（重症度、全身・局所の観察、各種病状の観察）、検査（各種病態に関する検査、異物に対する検査）等について教授する。	1 循環器系の解剖と生理( ) 2 循環器系臨床検査( ) 3 循環器系症候(1) 胸痛・浮腫( ) 4 症候(2) 動悸・呼吸困難( ) 5 循環器系各論(1) 解離性大動脈瘤( ) 6 各論(2) 心膜疾患・心タンポナーデ( ) 7 各論(3) 感染性心内膜炎・心筋疾患( ) 8 各論(4) 虚血性心疾患－1( ) 9 各論(5) 虚血性心疾患－2( ) 10 各論(6) 不整脈・除細動－1( ) 11 各論(7) 不整脈・除細動－2( ) 12 各論(9) 肺性心・静脈の疾患( ) 13 各論(10) ペースメーカー( )
	内科学Ⅱ	神経系の解剖生理を学び、その障害によって出現する種々の神経症候の病態、観察方法などについて解説する。また救急の現場で遭遇しやすい脳血管障害などの疾患についても概説する。	
	内科学Ⅲ	呼吸器系の解剖生理を学び、その障害によって出現する種々の臨床症候の発症機序、観察方法などについて解説する。また救急の現場で遭遇しやすい呼吸器系の諸疾患についても概説する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
救急医学系	内科学Ⅳ	消化器系および肝胆道系の解剖生理を学び、その障害によって出現する種々の臨床症候の病態、観察方法などについて解説する。また救急の現場で遭遇しやすい諸疾患についても概説する。	1 消化器系の解剖と生理( ) 2 消化器系の検査( ) 3 消化器系疾患の症候(1)(腹痛・嘔吐・下痢)( ) 4 症候(2)(便秘・吐血・下血)( ) 5 各論(1)食道疾患( ) 6 各論(2)胃・十二指腸疾患( ) 7 各論(3)下部消化管疾患( ) 8 肝・胆道・膵臓・脾臓の解剖と生理( ) 9 肝・胆・膵・脾機能検査( ) 10 肝・胆・膵・脾疾患の症状( ) 11 各論(1)急性肝炎・劇症肝炎など( ) 12 各論(2)肝硬変・肝癌など( ) 13 各論(3)胆嚢炎・胆石症など( ) 14 各論(4)急性膵炎・慢性膵炎など( )
	内科学Ⅴ	体液・電解質異常、泌尿器系疾患、アレルギー・膠原病、および感染症の基礎と病態について学び、その障害によって出現する種々の臨床症候の病態、観察方法、検査などについて解説する。また救急の現場で遭遇しやすい諸疾患についても概説する。	1 体液の生理(構成と仕組み)( ) 2 体液異常(脱水・電解質異常・浮腫)( ) 3 腎・泌尿器の解剖生理と検査( ) 4 腎炎・急性腎不全(副島) 5 慢性腎不全( ) 6 血液浄化法( ) 7 アレルギーの種類・病態生理( ) 8 アレルギーの救急処置(村) 9 主な膠原病( ) 10 感染症の病態生理( ) 11 主な感染症(1)( ) 12 主な感染症(2)( )
	内科学Ⅵ	内分泌代謝疾患、血液疾患、および老化の病因、病態生理を学び、出現してくる症候の機序、観察方法、検査などについて解説する。	1 内分泌・代謝疾患の解剖と生理( ) 2 内分泌・代謝疾患の病態( ) 3 内分泌・代謝疾患の検査( ) 4 代謝性疾患( ) 5 甲状腺疾患( ) 6 副腎疾患( ) 7 血液の解剖と生理(組成と働き)( ) 8 凝固異常・線溶異常(守) 9 血液疾患の症状・検査(市) 10 主な血液疾患( ) 11 老化とは( ) 12 老年症候群( ) 13 痴呆とせん妄( )
	医療コミュニケーション学	社会人として必要な接遇マナー、部下や同僚の能力を引きだすコーチングコミュニケーション、救急救命士として現場に必要な対患者コミュニケーション、組織のチームビルディングの方法、効率的な会議の進め方、自己プレゼンテーションの方法について集中講義ならびにロールプレイによる技術の習得をする。また、毎回の講義終了後に課題を与え、セルフコーチングの手法を習得する。本学科では日本で最初にコーチングという最新のコミュニケーション技術を導入した実績がある。	1 コミュニケーション総論( ) 2 ラポールと環境設定( ) 3 コーチング基本技術(1)傾聴( ) 4 コーチング基本技術(2)質問( ) 5 コーチング基本技術(3)承認( ) 6 コーチング基本技術(4)提案( ) 7 タイプ別コミュニケーション技術( ) 8 組織内チームビルディングの方法( ) 9 会議の効率的な進め方(柳澤) 10 接遇マナー(1)( ) 11 接遇マナー(2)( ) 12 プレゼンテーション・スキル( )

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
救急医学系	医療安全論	わが国の医療安全対策の概要を学び、医療事故防止の考え方を学ぶとともに、注射事故防止を中心に、事故防止上必須の知識をワークブックを用いて修得する。	
	救急医学概論	救急医療、病院前救急医学、救急医療システム、救急医療体制における救急救命士の役割など救急全般にわたる基礎を学ぶ。また、救急現場での傷病者の観察の意義とその方法を学び、一般市民指導の基礎となる心肺蘇生法の理論と実際を学ぶ。	1 救急救命士の役割と責任( ) 2 生命倫理( ) 3 救急医療と病院前救護体制( ) 4 救急活動の基本( ) 5 地域の救急医療システムと救急医療体制( ) 6 傷病者の観察の意義( ) 7 全身の観察( ) 8 局所の観察( ) 9 心肺停止と原因( ) 10 不整脈とＡＥＤ( ) 11 心肺蘇生法(1)( ) 12 心肺蘇生法(2)( ) 13 救急医療体制( )
	救急処置総論	救急現場で行なう応急処置や観察に必要な資器材一般及び救急医療で習熟しておくべき検査法について学ぶ。また現場で傷病者を見るときに必要なスタンダードプレコーション、感染とその予防、消毒法などについての基礎ならびに静脈路確保の知識を学ぶ。その他、在宅療養者に対する特別な処置方法や創傷処置についても理解し、それに習熟する。	1 聴診器と聴診要領( ) 2 血圧測定と心電図検査( ) 3 パルスオキシメータと動脈血液ガス( ) 4 感染と予防( ) 5 在宅医療者に対する処置(在宅酸素、人工呼吸、気管切開)( ) 6 経管栄養と中心静脈栄養( ) 7 人工肛門とＰＥＧ( ) 8 消毒滅菌と標準予防策( ) 9 喉頭鏡とバッグマスクの取り扱い( ) 10 各種エアウエイの取り扱い( ) 11 静脈路確保(1)( ) 12 静脈路確保(2)( ) 13 創傷処置( )
	救急処置各論	本科目は、救急救命士に許された特定行為（除細動、気管挿管、薬剤投与）について理論と方法を学び、シミュレーションⅢの基礎となる知識を座学として習得する。	1 気管の解剖生理( ) 2 気管挿管(1)( ) 3 気管挿管(2)( ) 4 薬剤投与に必要な人体の構造と機能( ) 5 心肺停止前後の病態( ) 6 薬剤投与が適応となる心停止の病態( ) 7 薬剤投与の基礎( ) 8 薬剤投与の実際( ) 9 薬剤投与のプロトコール( ) 10 薬剤投与とメディカルコントロール体制( ) 11 薬剤投与と生命倫理( ) 12 薬剤投与に関するリスクマネージメント( ) 13 除細動( )
	災害医学	救急医療体制は救急医療、救急搬送、救急情報からなり、これらが効率良く機能することが求められる。また、災害時における医療体制の整備が社会的に必要とされており、実際の大規模災害を元に、災害訓練の有用性や多数傷病者が発生した場合の救急救命士の役割などについて学ぶ。その他、海外における災害医療システムを理解する。また、救急医療現場に必要とされる法医学的知識について教授する。	1 災害医療の意義( ) 2 大規模災害( ) 3 ＭＩＭＭＳとＣＳＭ( ) 4 災害医療体制と実際( ) 5 災害拠点病院と傷病者広域搬送( ) 6 トリアージ( ) 7 海外における災害医療体制( ) 8 法医学総論( ) 9 法医学的検査( ) 10 司法解剖と行政解剖( ) 11 死亡原因と死亡診断書( ) 12 死体現象・異状死体と変死体( ) 13 医事法制・鑑定( ) 14 救急救命活動と医事紛争( )

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
救急医学系	外科学Ⅰ	麻酔科、腹部の外科、心臓血管外科、泌尿器科領域の外傷および外科的な疾患に関する病態生理、救急処置について解説する。	1 麻酔(1)基礎( ) 2 麻酔(2)薬剤と方法( ) 3 疼痛処置・ペインクリニック( ) 4 胃機能障害・排尿障害・生殖機能障害( ) 5 尿路系の外科的疾患と救急処置( ) 6 男性生殖器系疾患と救急処置( ) 7 腹部の外科的疾患の症候学( ) 8 腹部の外科的疾患( ) 9 腹部の外傷( ) 10 心臓血管外科の立場から見た症候学( ) 11 心臓血管外科疾患( ) 12 心臓血管系の外傷( )
	外科学Ⅱ	呼吸器、顔面、耳、眼、口腔内を侵す外科的な疾患の病因、病態生理、症状と救急処置に関する知識・技能について教授する。	1 耳・鼻・咽頭・喉頭の解剖と病態生理( ) 2 耳鼻科領域の外傷学( ) 3 耳鼻咽喉科的疾患とその救急処置( ) 4 顔面骨・顔面筋の解剖生理( ) 5 顔面外傷( ) 6 眼科領域における解剖生理( ) 7 眼外傷( ) 8 眼の疾患における救急処置( ) 9 呼吸器系の解剖( ) 10 呼吸器系の外科的疾患( ) 11 呼吸器系の外傷( ) 12 呼吸器系の救急処置(除く気管挿管)( )
	外傷学	外傷患者における病院前医療を中心に、外傷患者の観察法や処置法、搬送方法などを学ぶ。また外傷患者の要点を外傷部位別に学び、病院内で行われる救急医療行為や画像診断についても理解する。	1 外傷総論( ) 2 外傷における初期評価と基本的処置( ) 3 外傷の受傷機転と損傷様式( ) 4 外傷にともなう患者の局所の観察( ) 5 外傷に伴う生理学的・解剖学的異常の評価( ) 6 骨盤四肢外傷( ) 7 胸部外傷( ) 8 腹部外傷( ) 9 多発外傷( ) 10 妊婦・小児・高齢者の外傷( ) 11 皮膚・軟部組織の損傷( ) 12 外傷と画像診断( ) 13 外傷病院前救護に関する法的諸問題( ) 14 外傷後の感染( ) 15 ショックの種類と病態( ) 16 外傷の現場活動( )
	環境障害・急性中毒学	熱傷・電撃傷・溺水・気道異物・消化管異物・環境障害・化学損傷、低体温症等の病因、病態生理、症状、悪化防止、生命の危険回避をするために必要な救急処置の知識・技能、観察の方法と意義（重傷度、全身・局所の観察、各種病状の観察）、検査（各種病態に関する検査、異物に対する検査）等について教授する。	
	救急搬送論	傷病者を安全かつ速やかに医療機関へ搬送するための傷病者搬送システムについて、傷病者搬送の歴史、救急行政、救急活動、搬送と医療機関選定、送病者とのかかわり方、関係機関との連携について教授する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
救急医学系	小児科学	胎児期から思春期に至るヒトの発育発達と、生理的特徴の変化を理解し、その基盤の上に小児の諸疾患について基本的な知識を習得する。自ら適切に訴えることができないことが多い子どもの、主要な症状・徴候の特異性の知識を身につけ、重症化、特に生命の危機を回避するために必要な注意点、検査結果の解釈に必要な注意点などについても学ぶ。	1 総論：小児の特徴（　） 2 各論： (1) 胎児・新生児・奇形・新生児搬送（　） (2) 内分泌・糖尿病性昏睡・副腎不全（　） (3) 遺伝・先天代謝異常（　） (4) 免疫・アレルギー・喘息発作・アナフィラキシー（　） (5) 呼吸器・循環器・呼吸困難・心肺蘇生（　） (6) 感染症・発熱・発疹・敗血症・髄膜炎・脳症（　） (7) 肝・消化器・下痢嘔吐・腹痛（　） (8) 血液・腫瘍・出血傾向（　） (9) 腎・水・電解質・溶血性尿毒症症候群（　） (10) 神経・運動器・意識障害・痙攣（　） (11) 小児保健・事故・虐待・乳幼児突然死症候群（　）
	産婦人科学	女性・妊婦の生理を理解し、婦人科・産科疾患の病因、病態生理、症状、悪化防止、生命の危機回避をするために必要な救急処置の知識・技能、観察の方法と意義（重症度、全身・局所の観察、各種病状の観察）、検査（各種病態に関する検査）等について教授する。	
	整形外科学	整形外科系疾患の病因、病態生理、症状、悪化防止、生命の危険回避をするために必要な救急処置の知識・技能、観察の方法と意義（重症度、全身・局所の観察、各種病状の観察）、検査（各種病態に関する検査）等について教授する。	
	脳外科学	脳神経外科系疾患の病因、病態生理、症状、悪化防止、生命の危険回避をするために必要な救急処置の知識・技能、観察の方法と意義（重症度、全身・局所の観察、各種病状の観察）、検査（各種病態に関する検査）等について教授する。	
	精神医学	救命救急の場面や、学校現場で養護教諭に必要な精神医学の基礎について学ぶ。	
	放射線概論	ライフサイエンスにおいて放射性同位元素（ＲＩ）の利用は多岐にわたる。ＲＩ を用いる生体成分の分析法は免疫学的手法の開発により著しい発展を遂げ今日に至る。本講義では放射線の性質から検出法、ＲＩ を用いた生体成分分析法の原理と解析法、ＲＩ の生体内投与による核医学検査の概論まで、考え方を中心として基礎から応用まで幅広く展開する。	
	シミュレーションⅠ	救急Ⅰ課程を修了した救急隊員が行うことのできる応急処置に関する知識、技術の習得、救急業務に対する理解を深める。	
	シミュレーションⅡ	器具を用いた傷病者観察及び各種呼吸管理資器材の知識と技術の習得をする。また傷病者の搬送、救急車内での心肺蘇生要領の習得や救急Ⅰ課程を修了した救急隊員が行うことのできる応急処置に関する知識、技術の習得、市民指導要領について理解を深める。	
	シミュレーションⅢ	救急救命士の行う救命処置（特定行為）の理論と基本的実技について理解し、体得する。	
	シミュレーションⅣ	外傷傷病者の観察と処置、産科救急、看護要領及び救急Ⅱ課程を修了した救急隊員が行うことのできる応急処置の知識、技術の習得させるとともに、救急救命士を目指す者としての自覚を促す。 また在宅医療継続中傷病者の搬送についても学ぶ。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
救急医学系	シミュレーションⅤ	シミュレーションⅠ、Ⅱ、ⅢおよびⅣで修得した技術に基づき、一連の救急活動（出場･救急事故現場･搬送･病院収容）について、救急車を用い、救急隊編成（３名）による基本的活動要領を習得する。	
	シミュレーションⅥ	シミュレーションⅠ～Ⅴまでに習得した観察判断、処置技術を駆使した総合演習（想定訓練）を行い、救急救命士としての活動を理解する。	
	病院内実習	杏林大学高度救命救急センターおよび他の医療機関において実習を行う。医師の指導のもとに、救急医療に関わる知識の応用と、救急救命処置に係わる技能を修得するとともに、医療現場の見学と医療行為の介助等を通して診療の補助に対する理解を深める。	
	救急車同乗実習	シミュレーション等で修得した救急処置技術と医学・医療に係わる知識を一連の救急活動として関連づけるために、実際の救急活動を想定した実習を行う。また、消防署の救急車に同乗させ、救急現場を体験することにより、救急救命士の行う諸活動について総合的に理解させるとともに、消防署における救急活動体制について理解させる。	
衛生学系	産業保健学	産業保健、とくに事業所保健に重点を置き、環境・作業・健康の３面の管理において保健担当者が担う役割を知るとともに、これを全うするための基礎知識、考え方の修得を目指す。本講は、第一種衛生管理者資格取得のための知識修得を基盤としている。具体的問題の解決能力を養うため、ビデオや写真など、映像資料を活用し、学生の発言、参加を促したい。	1 産業保健の歴史（ ） 2 衛生管理体制（ ） 3 職業性疾患と関連因子－1（ ） 4 職業性疾患と関連因子－2（ ） 5 職業性疾患と関連因子－3（ ） 6 職場の作業環境－1（ ） 7 職場の作業環境－2（ ） 8 職場の作業環境－3（ ） 9 職場の環境管理－1（ ） 10 職場の環境管理－2（ ） 11 職場の環境管理－3（ ） 12 職場の健康管理－1（ ） 13 職場の健康管理－2（ ） 14 過労・交代勤務（ ） 15 産業精神管理（ ）
	環境衛生工学	環境因子の発生機序や測定・評価方法及び人体への影響、健康被害の防御に関して解説する。第一種衛生管理者の必修科目でもあるので作業環境に関することが中心となるが、公害防止や環境計量など幅広く講義を行う予定である。	1 環境因子の測定評価・管理概論（ ） 2 水質汚濁の機序と対策（ ） 3 上水道システム（ ） 4 下水道システム（ ） 5 大気汚染の機序と対策（ ） 6 粉塵・ガスの測定・管理－1（ ） 7 粉塵・ガスの測定・管理－2（ ） 8 粉塵・ガスの測定・管理－3（ ） 9 温熱環境の測定管理（ ） 10 電磁波・放射線の測定管理－1（ ） 11 電磁波・放射線の測定管理－2（ ） 12 騒音・振動の発生機序と対策(特別講師) 13 騒音・振動の測定評価・管理－1(特別講師) 14 騒音・振動の測定評価・管理－2(特別講師) 15 廃棄物処理技術（ ）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
衛生学系	職業適性論	労働による心身への負荷は、その職種、勤務・作業形態などによってさまざまであり、個々人の体力、適性によってその影響の現れ方が大きく異なってくる。心身両面から見た個々人の職業適性を考慮し、医療社会におけるリスクマネージメント、就業前検診と適性配置および事後管理の具体的方法について解説すると共に職業人として必要な創造性開発論についてもふれる。	1 職業の種類と意義（ ） 2 職業観と資格・技能（ ） 3 産業・社会の変動と職業－1（ ） 4 産業・社会の変動と職業－2（ ） 5 産業・社会の変動と職業－3（ ） 6 リスクマネージメント（ ） 7 創造性開発論（ ） 8 労働負荷と身体の変化－1（ ） 9 労働負荷と身体の変化－2（ ） 10 労働強度と身体的個人差－1（ ） 11 労働強度と身体的個人差－2（ ） 12 性格傾向と職業適性（ ） 13 職業適性検査（ ） 14 職業相談－1（ ） 15 職業相談－2（ ）
	労働衛生法規Ⅰ	働く者の生命と健康を守るためには、その安全・衛生管理の体制と技術について具体的な規定が必要である。本講義では労働災害や職業性疾患の発生機序と招来要因を学びつつ、それらを制御するために定められた法的規制、安全・衛生管理体制の実際について学ぶ。	1 労働安全衛生の管理体制（ ） 2 危険・健康障害の予防措置－1（ ） 3 危険・健康障害の予防措置－2（ ） 4 職場の健康診断と関連法規（ ） 5 就業時、就業後の措置（ ） 6 機械等に関する規制－1（ ） 7 機械等に関する規制－2（ ） 8 有害物に関する規制－1（ ） 9 有害物に関する規制－2（ ） 10 有害物に関する規制－3（ ） 11 有害物に関する規制－4（ ） 12 有害物に関する規制－5（ ） 13 有害物に関する規制－6（ ） 14 快適職場の形成－1（ ） 15 快適職場の形成－2（ ）
	労働衛生法規Ⅱ	働く者の生命と健康を守るためには、その安全・衛生管理の体制と技術について具体的な規定が必要である。本講義では、労働基準法、労働災害の法的救済について触れ、さらにそれらを制御するために定められた法的規制、安全・衛生管理体制について学ぶ。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
総合	移植コーディネータ論	組織移植、臓器移植の現状、移植コーディネーターが直面する諸問題を紹介する。併せて「死」、「障害」「所有」の概念、対人関係論などを学ぶ。移植コーディネーターは医学的知識、社会的常識に加え、個々の人間性、資質に依存する場合が大きい。そのための知識や技術のみならず、セルフアセスメントを実施して常に向上する力を身につける事を最大の課題としている。	1　移植コーデュネーターとは　コーデュネーターに必要とされる倫理観（　　） 2　臓器移植医療Ⅰ　脳死の病態と脳死判定（成人・小児）（　　） 3　臓器移植医療Ⅱ　救急医療と臓器移植（実際に臓器提供を経験した救急医） 4　臓器移植医療Ⅲ　脳死下臓器提供のインフォームドコンセントと実際（日本臓器移植ネットワーク） 5　臓器組織移植医療Ⅳ　組織の提供と移植Ⅰ（組織移植の概略・コーディネーター活動・皮膚）（　　） 6　臓器組織移植医療Ⅴ　組織の提供と移植Ⅱ（骨・膵島）（北里骨バンク・膵島事務局） 7　臓器組織移植医療Ⅵ　組織の提供と移植Ⅲ（心臓弁・血管・角膜）（東大組織バンク・　　） 8　医療従事者への啓発活動　医療サイドの啓発・病院活動（　　） 9　コーディネーション実習Ⅰ　ロールプレイ（　　） 10　コーディネーション実習Ⅱ　コミュニケーション（　　） 11　移植医療における法的事項（厚生労働省臓器対策室室長）
	特別講義Ⅰ （救急チーム医療論）	刻々と変化するクリティカルな患者の病態を、限られた時間の中で判断して最善の処置を行わなければならない救命救急医療は、チームを構成する医療関係職種がそれぞれ高い能力を持ったうえで、さらに緊密な連携が求められる。本科目では、救命救急医療にかかわるさまざまな職種の役割を理解し、チーム医療の重要性を学ぶ。また、広い視野をもった救急救命士になるために、救命救急医療を巡る諸問題を多角的な視点から理解する。	1　救命救急医療におけるチーム医療の重要性（　　） 2　救命救急医療における各科専門医の連携（　　） 3　救命救急医療における看護師の役割（　　・救命センター看護師） 4　救命救急医療における薬剤師の役割（　　・薬剤師） 5　救命救急医療における臨床検査技師の役割（　　） 6　救命救急医療における臨床工学技士の役割（　　） 7　救命救急医療における診療放射線技師の役割（　　・診療放射線技師） 8　救命救急医療における理学療法士・作業療法士の役割（　　・理学療法士） 9　救命救急医療における病院事務職の役割（　　・病院事務職員） 10　救命救急医療における医療福祉相談室の役割（　　・医療福祉相談室職員） 11　精神医学・精神看護学の視点からみた救命救急医療（　　） 12　輸血学・臨床検査学の視点からみた救急救命医療（　　） 13　行政的視点からみた救命救急医療（　　） 14　社会的視点からみた救命救急医療（　　） 15　法的視点からみた救命救急医療（　　）
	特別講義Ⅱ	保健学の対象となる健康問題について、学際的な講義を行う。具体的な内容については、別途通知する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
総合	特別演習Ⅰ	特別演習は、教員が数名の学生（1～3年）を対象に行う演習である。テーマは毎年教員から提示され、開講時間や授業形態は各演習によって異なる。学生の自主的な学習を促進することが教育状の基本目的である。	
	特別演習Ⅱ	特別演習は、教員が数名の学生（1～3年）を対象に行う演習である。テーマは毎年教員から提示され、開講時間や授業形態は各演習によって異なる。学生の自主的な学習を促進することが教育状の基本目的である。	
	ボランティア活動	保健学部の人材を近接地域で活用していただくことによって、地域住民との交流を活性化すると共に、学生がボランティア活動を通してコミュニケーション能力、人間関係構築能力を磨き，広い視野と創造性を養うことを目的とする。 なお、単位認定は、ボランティア活動終了後、学生が「活動報告書」を委員会に提出し、これに基づいて行う。	
	インターンシップ	インターンシップは、学生が一定期間企業の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行う制度です。この授業では、インターンシップの事前指導を行います。目的は、各人が自主的・積極的な姿勢で、自信をもってインターンシップに臨めるようになることです。企業人の研修に携わっているベテラン経営コンサルタントによる講義、グループ討議、ロールプレイなどで構成される、実践的な授業です。	
	卒業研究	ある研究課題もしくは修得目標の技術などについて、目的、方法、結果、考察（反省）、等の項目にわたって、論文もしくはレポートを作成する。さらに、研究等の成果を、わかりやすく発表する技術を養う。基礎的な知識を整理するとともに、課題についてまとめる能力、わかりやすく論述する能力を高めることを目指す。	

（４）設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

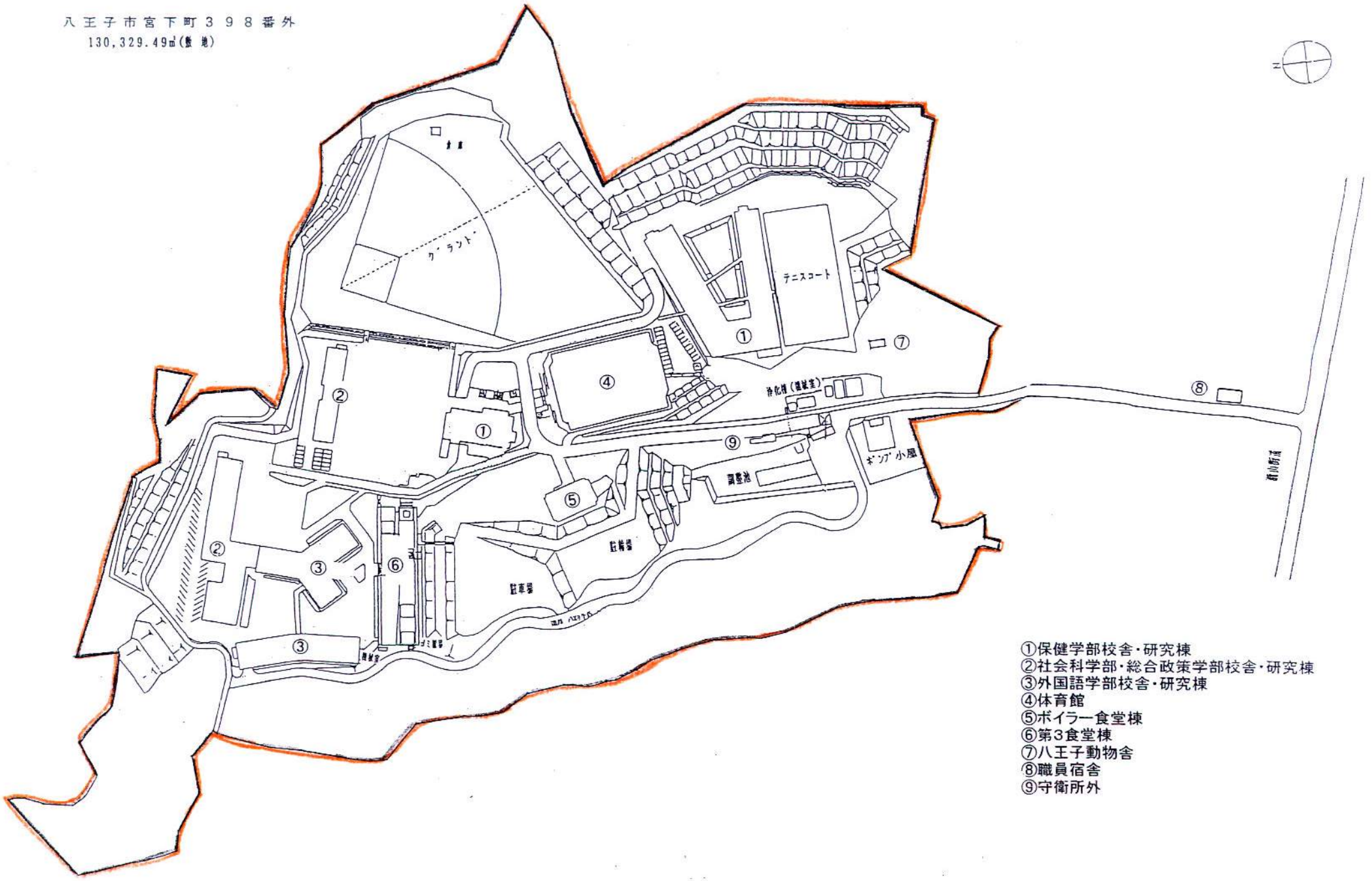
設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届出時における状況						新設学部等の学年進行終了時における状況					
学部等の名称	授与する学位等		異動先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	専任教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
医学部 医学科	学士 (医学)	医学関係	保健学部救急救命学科	1	0	医学部 医学科	学士 (医学)	医学関係	医学部医学科	365	58
			医学部医学科	365	58						
保健学部 臨床検査技術学科	学士 (保健衛生学)	保健衛生学関係	保健学部救急救命学科	1	1	保健学部 臨床検査技術学科	学士 (保健衛生学)	保健衛生学関係	保健学部臨床検査技術学科	36	12
			保健学部臨床検査技術学科	36	12						
保健学部 保健学科 (名称変更)	学士 (保健衛生学)	保健衛生学関係	保健学部救急救命学科	8	4	保健学部 健康福祉学科 (名称変更)	学士 (保健衛生学)	保健衛生学関係	保健学部保健学科	19	6
			保健学部健康福祉学科	19	6						
保健学部 看護学科	学士 (看護学)	保健衛生学関係	保健学部看護学科	34	7	保健学部 看護学科	学士 (看護学)	保健衛生学関係	保健学部看護学科	34	7
保健学部 臨床工学科	学士 (臨床工学)	保健衛生学関係	保健学部臨床工学科	11	4	保健学部 臨床工学科	学士 (臨床工学)	保健衛生学関係	保健学部臨床工学科	11	4
						保健学部 救急救命学科	学士 (救急救命学)	保健衛生学関係	医学部医学科	1	1
									保健学部臨床検査技術学科	1	1
									保健学部保健学科	8	4

２．　校地校舎等の図面

八王子校地及び建物配置図

八王子市宮下町３９８番外
130,329.49㎡(敷地)

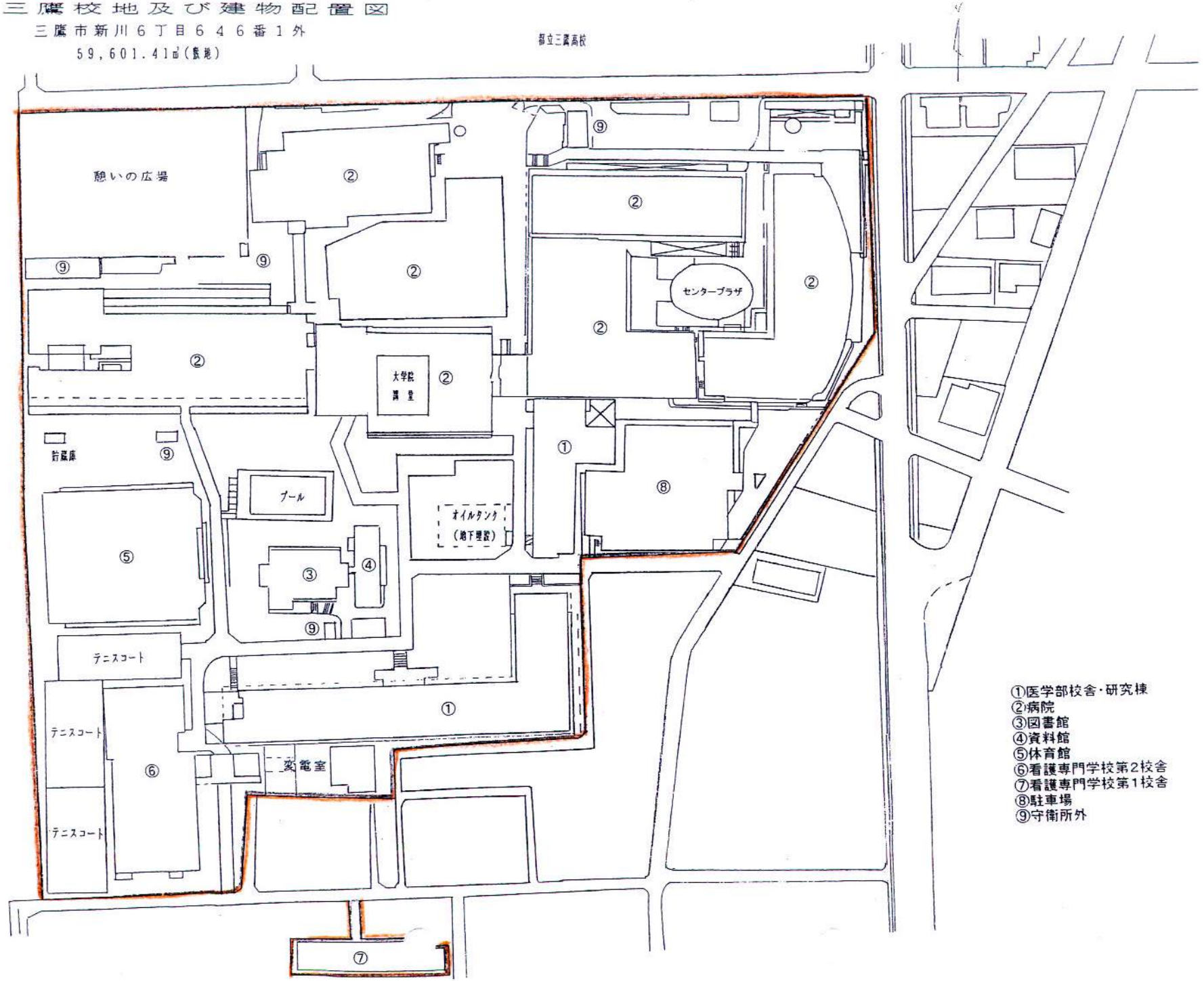


①保健学部校舎・研究棟
②社会科学部・総合政策学部校舎・研究棟
③外国語学部校舎・研究棟
④体育館
⑤ボイラー食堂棟
⑥第3食堂棟
⑦八王子動物舎
⑧職員宿舎
⑨守衛所外

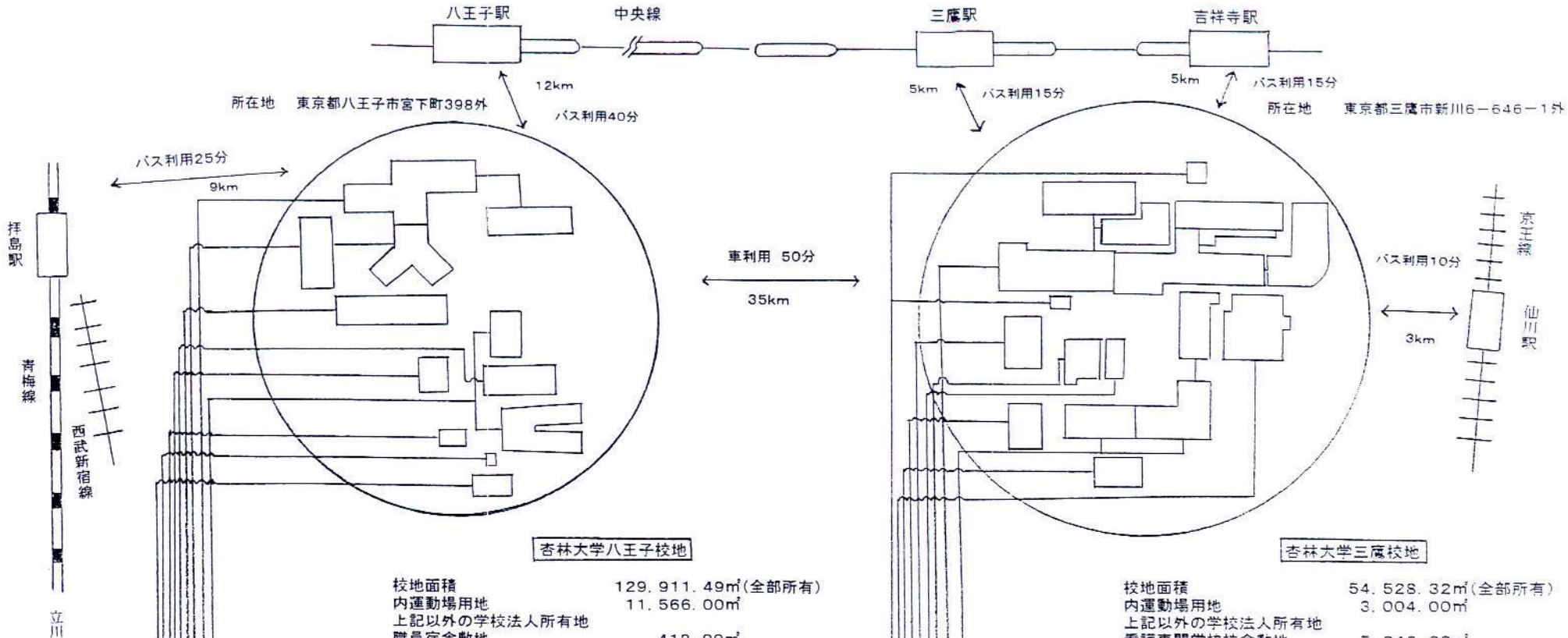
三鷹校地及び建物配置図

三鷹市新川６丁目６４６番１外

５９，６０１．４１㎡（敷地）



学校の位置及び校地、校舎の配置図の概要



３．　学則

（１）　学則案
（２）　変更事項を記載した書類
（３）　新旧の比較対照表

（１）学則案

○杏林大学学則

制定　昭和４５年　３月１７日
改正　昭和４９年　４月２３日　昭和５０年　８月１１日
昭和５２年１１月１７日　昭和５３年１２月２５日
昭和５４年１０月２５日　昭和５７年　４月　１日
昭和５９年　４月　１日　昭和６０年　１月　９日
昭和６１年　４月　１日　昭和６３年　４月　１日
平成　２年１２月２１日　平成　３年　９月２５日
平成　４年　９月２１日　平成　６年　１月２４日
平成　７年　７月　３日　平成　８年１０月２３日
平成　９年　３月２８日　平成　９年　５月３０日
平成１０年　３月２７日　平成１０年１２月１１日
平成１１年　２月１５日　平成１１年　６月２１日
平成１１年　９月２０日　平成１１年１２月１０日
平成１２年　６月１９日　平成１２年　９月１８日
平成１３年　５月３０日　平成１４年　２月２６日
平成１４年　７月１５日　平成１４年　９月１３日
平成１４年１２月　６日　平成１５年　２月１７日
平成１５年　９月　８日　平成１５年１２月　５日
平成１６年　５月２８日　平成１７年　５月２７日
平成１７年　７月２５日　平成１７年１０月２６日
平成１８年　３月２９日

第１章　目的、使命及び自己評価等

（目的）

第１条　本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。

（自己評価等）

第１条の２　本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

２　前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については、別に定める。

第２章　学部、大学院等

（学部、学科）

第２条　本学に次の学部及び学科を置く。

医　学　部	医学科
保健学部	臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科、臨床工学科及び救急救命学科
総合政策学部	総合政策学科及び企業経営学科
外国語学部	英語学科、東アジア言語学科及び応用コミュニケーション学科

（学生定員）

第３条　学生定員は次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入学定員	２年次編入学定員	３年次編入学定員	収容定員
医　学　部	医　　学　　科	90 名	－	－	540 名
保健学部	臨床検査技術学科	80 名	6 名	4 名	346 名
	健康福祉学科	40 名	6 名	4 名	186 名
	看　護　学　科	80 名	2 名	8 名	342 名
	臨　床　工　学　科	40 名	－	－	160 名
	救急救命学科	40 名	－	5 名	170 名
総合政策学部	総合政策学科	180 名	－	10 名	740 名
	企業経営学科	120 名	－	5 名	490 名
外国語学部	英　語　学　科	110 名	－	5 名	450 名
	東アジア言語学科	70 名	－	13 名	306 名
	応用コミュニケーション学科	110 名	－	5 名	450 名

（大学院）

第４条　本学に大学院を置く。

２　大学院学則は別に定める。

（付属施設）

第５条　本学に付属図書館、付属図書館分館、医学部付属病院、医学部付属看護専門学校、入学センター、キャリアサポートセンター、国際交流センター及び八王子保健センターを置く。これらに関する規程は別に定める。

（別科）

第５条の２　国際交流センターに付属機関の別科を置く。

２　別科に日本語研修課程を置く。

３　日本語研修課程に関する規程は別に定める。

４　日本語研修課程の定員は８０名とする。

第３章　教職員組織

（教員組織）

第６条　本学に学園長、学長、副学長、付属病院長、付属図書館長、付属図書分館長、医学部付属看護専門学校長、入学センター長、キャリアサポートセンター長、国際交流センター長及び八王子保健センター長を置く。

２　各学部に学部長、教務部長及び学生部長を置く。
３　事務組織については、別に定める。
第７条　本学に教授、助教授、講師、助手、事務職員、技術職員その他の職員を置く。
２　教職員は専任、兼担及び兼任に区分する。
３　教職員の定員、資格、任免、勤務等に関しては、別に定める。
（学園長の任務）
第８条　学園長は、学園が設置する教育機関の教学に関する事項を総理し、教学面の諸式を司る。
（学長の任務）
第９条　学長は、本学並びに本学付属教育機関の教育及び研究に関する事項を統括する。
（副学長の任務）
第１０条　副学長は、所管の事項に関し常に学長を補佐し、学長に事故があり学園長の指名を受けたときは、学長の任務を代行する。
（学部長の任務）
第１１条　学部長は、当該学部の校務を掌理し、所属教職員を指揮監督して、教育及び研究の責に任ずる。

第４章　教授会

（教授会）
第１２条　各学部に教授会を置く。
２　各学部の教授会（以下「各教授会」という。）は、それぞれの学部長が招集しその議長となる。
３　各教授会は、それぞれの学部の専任教授をもって組織する。
４　各教授会は、必要に応じ助教授その他の教職員の意見を聴くことができる。
５　各教授会は、その学部における次の事項を審議する。
（１）教育に関する事項
（２）教員人事に関する事項
（３）学生に関する事項
（４）研究に関する事項
（５）その他前各号に関連し、学部長が必要と認めた事項
６　前項第１号の事項中教授の選考に関する事項の審議については、別に定める教授選考委員会において予め審議するものとする。
７　学園長、学長、副学長は各教授会に出席し意見を述べることができる。
８　教授会運営に関する細則は、別に定める。
（大学評議会）
第１２条の２　本学に杏林大学評議会（以下「評議会」という。）を置く。
２　評議会は、学長が招集しその議長となる。

３　評議会は、次に掲げる評議会委員（以下「委員」という。）をもって組織する。
（１）学園長
（２）学長
（３）副学長
（４）学部長
（５）付属図書館長
（６）各教授会構成員の中から教授会により選任された者、各２名
４　前項６号の委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で委員の交替のあったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
５　評議会は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。
６　評議会においては、次の事項を審議し議決する。
（１）学則及びこれに基づく諸規程の制定、改廃並びにこれらの解釈に関する事項
（２）大学の自己評価に関する事項
（３）その他大学全般の教学に関し、学長が必要と認める事項
７　評議会運営に関する規程は別に定める。

第５章　学年、学期及び休業日

（学年）

第１３条　学年は４月１日に始まり、翌年３月３１日に終る。ただし、総合政策学部及び外国語学部の秋入学者は１０月１日に始まり、翌年９月３０日に終る。

（学期）

第１４条　学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の２学期とする。
２　前項の学期の呼称及び期間は、各学部において定める。

（休業日）

第１５条　休業日は次のとおりとする。
（１）日曜日
（２）国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日
（３）杏林学園創立記念日　１１月１１日
（４）春季休業　　３月１０日から４月１０日まで
（５）夏季休業　　７月１１日から９月１０日まで
（６）冬季休業　１２月２３日から翌年１月８日まで
２　学長は、必要により前項各号の休業日を変更することができる。

第６章　修業年限及び在学年限

（修業年限）

第１６条　修業年限は次のとおりとする。
医　学　部　　６年
保健学部　　４年

総合政策学部　　４年
外国語学部　　４年

（在学年限）

第１７条　卒業までの在学年限は、原則として各学部とも前条の修業年限の２倍を超えることができない。ただし、医学部においては、同一学年の在学年限を２年以内とする。

第７章　入　学

（入学の時期）

第１８条　入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第１９条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

（１）高等学校を卒業した者若しくは中等教育学校を卒業した者
（２）通常の課程における１２年の学校教育を修了した者
（３）外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（４）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
（５）文部科学大臣の指定した者
（６）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（７）高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者
（８）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの

（入学志願）

第２０条　入学を志願する者は、所定の入学願書に別に定める入学検定料を添えて、提出しなければならない。

（入学手続）

第２１条　入学選考試験に合格した者は、所定の期日までに所定の入学料その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

２　入学選考試験合格の通知を受け、前項の手続を完了した者は、入学を許可する。

（転入学）

第２２条　次の各号の一に該当する者で、本学への転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に転入学を許可することがある。

（１）大学を卒業した者又は退学した者
（２）他の大学に在学している者

（編入学）

第２２条の２　短期大学、高等専門学校を卒業した者及び第１９条の各号の一に該当しその後専修学校の専門課程を卒業し文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又はその他法令で定めるところにより資格があるとされている者は、選考の上、相当年次に編入学を許可する。

（転入学、編入学の入学志願等）

第２２条の３　転入学、編入学の志願及び入学手続きについては、第２０条及び第２１条の規定を準用する。

（単位の認定等）

第２２条の４　転入学、編入学又は再入学を許可された者の修得した単位の認定及び修業年限の決定は、当該学部教授会が行う。

第８章　教育課程・履修方法等

（教育課程の編成方法）

第２３条　教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

（教育課程）

第２４条　授業科目の種類並びにその単位数又は履修時間数は、次に定めるとおりとする。

医　学　部　　別表１
保健学部　　別表２
総合政策学部　　別表３
外国語学部　　別表４

（単位の計算方法）

第２５条　授業科目の単位の計算方法は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

（１）講義及び演習については、毎週１時間から２時間１５週の授業をもって１単位とする。

（２）実験、実習及び実技については、毎週２時間から３時間１５週の授業をもって１単位とする。

（単位の授与）

第２６条　授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

（試験及び進級の認定）

第２７条　試験は各授業科目ごとに行う。

２　試験は、口頭又は筆記により行う。ただし、科目の性質によりあらかじめ定めたものについては、他の方法によることができる。

３　試験の成績は、ＡＢＣＤの４種とし、ＡＢＣを合格、Ｄを不合格とする。合格した授業科目については所定の単位を与える。

４　進級の認定については、各学部の学修規程又は履修規程に定める。

（他の大学における授業科目の履修等）

第２７条の２　本学（医学部を除く。）は、教育上有益と認めるときは、別に定めるところにより、学生が他の大学で履修した授業科目について修得した単位を、６０単位を超えない範囲で、本学において修得したものとみなすことができる。

（外国の大学において修得した単位）

第２７条の３　前条の規定は、学生が外国の大学に留学した場合にも準用する。

（単位互換）

第２８条　単位の互換に関する規程は別に定める。

第２９条　削　除

第９章　休学、転学、退学等

（休学）

第３０条　疾病その他やむを得ない事由のため、３か月以上修学できないときは、学長に願い出て休学することができる。この場合その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

２　休学の期間は、１年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められるときは、さらに１年を限り延長することがある。

第３１条　疾病のため修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は当該学部長の申請により休学を命ずることができる。

（復学）

第３２条　休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、当該学部長を経て、学長に願い出て復学することができる。この場合、休学の事由が病気である場合には、本学付属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第３３条　休学の期間は、第１６条の修学年限及び第１７条の在学年限に算入しない。

２　休学の期間は、通算して３年を超えることはできない。

（転学部等）

第３４条　本学内で他学部の学科又は同一学部内の他学科へ転学部又は転学科を志願した者は選考の上、これを許可することがある。

２　前項によって転学部又は転学科した者の在学年数には、元の学部学科の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

（転学）

第３５条　本学から他の大学に転学しようとする者は、理由書を添えて、当該学部長を経て学長に願い出て、許可を得なければならない。

（退学）

第３６条　疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人

連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

（再入学）

第３７条　前条により退学した者で、２年以内に退学の事由が消滅し、再び入学を願い出る者があるときは、学長は当該学部長の申請により、相当年次に再入学を認めることができる。

（除籍）

第３８条　次の各号の一に該当する者は、当該教授会の議を経て学長がこれを除籍する。

（１）故なくして、３ヵ月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

（２）第３０条第２項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

（３）第１７条に定める在学年限を超える者

（４）行方不明で失踪の届出があった者

第１０章　卒業

（卒業の要件）

第３９条　医学部においては、別表１－１の適用を受ける者は、６年以上在学し２７０単位を修得しなければならない。別表１－２の適用を受ける者は、６年以上在学し２６４単位を修得しなければならない。別表１－３の適用を受ける者は６年以上在学し２５５単位を修得しなければならない。

２　保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては４年以上在学し１２４単位以上を、保健学部看護学科においては４年以上在学し１３４単位以上を修得しなければならない。

３　総合政策学部においては、４年以上在学し１２４単位以上を修得しなければならない。

４　外国語学部においては、４年以上在学し１２４単位以上を修得しなければならない。

５　各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。

６　本学（医学部を除く。）の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の場合）、又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。

７　前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。

（卒業の認定）

第４０条　前条に定める卒業の要件をみたした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

（学位）

第４１条　卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
東アジア言語学科	学士（文学）
応用コミュニケーション学科	学士（文学）

（教育職員免許状）

第４１条の２　本学に教職課程を置く。

２　教職に関する専門科目の種類及び単位数は、別表５－１のとおりとする。

（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第４１条の３　教育職員免許を得ようとする者は、別に定める本学教職課程履修に関する規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の科目及び単位を修得しなければならない。

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第４１条の４　前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

履修する学部・学科	免許状の種類	
保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民

総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社　会 公　民 商　業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英　語 英　語

第１１章　賞罰

（表彰）

第４２条　学業その他が特にすぐれ、他の学生の範となる者があるときは、学長は教授会の議を経て、適当な方法でこれを表彰することができる。

（懲戒）

第４３条　本学の建学精神、教育方針に違背し、又は学生としての本分に反した行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

２　前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。

３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（１）性行不良で、改善の見込みのないと認められる者

（２）学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者

（３）正当の理由がなくて、出席常でない者

（４）本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第１２章　委託学生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

（委託学生）

第４４条　公共又は民間の諸機関等から、委託学生の受入れについて申し入れがあったときは、欠員があり、教育上支障のない限り教授会の議を経て受入れることができる。

２　委託学生には本学則を準用する。ただし、委託学生として在学した期間及びその修得単位は、第３９条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（聴講生）

第４５条　本学学生にあらざるもので、本学の授業科目の一部を聴講することを希望するものがあるときは、教育研究上支障のない限り、聴講生としてこれを許すことができる。

２　聴講生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、聴講する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

３　聴講生には本学則を適用する。ただし、聴講生として在学した期間及びその修得単位は、第３９条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（科目等履修生）

第４６条　本学学生にあらざるもので本学の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障のない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

２　科目等履修生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、履修する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

３　科目等履修生には本学則を準用する。

４　本学科目等履修生として単位を修得した後に本学に入学した場合、当該単位の修得により当該学部の教育課程の一部を履修したと当該学部が認めたときは、その単位数等に応じて、相当期間を当該学部の修業年限の２分の１を超えない範囲で第３９条に定める在学期間として通算することができる。

５　科目等履修生には第２６条の定めにより履修した科目の単位を授与する。

（外国人留学生）

第４７条　外国人であって、本学学生としての教育を受けることを希望する者があるときは、外国人留学生として入学させることができる。

２　外国人留学生の入学者選抜に関しては、必要ある場合は日本語の能力に関する試験を加える。

第１３章　学納金

（入学検定料、入学料等の納入）

第４８条　本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

２　入学選考試験に合格した者は、別表６－２、別表６－３及び別表６－４に定める入学料、授業料その他の学納金を納入しなければならない。

３　前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

（授業料等の納入）

第４９条　本学学生は別表６－１、別表６－２、別表６－３及び別表６－４に定める授業料等その他の学納金を納入しなければならない。

２　前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

３　休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が１学年にわたる者の実験実習費はこれを徴収しない。

４　除籍の場合における授業料は、その納期に属する分はこれを徴収する。

５　授業料、実験実習費・施設設備費等を所定の期日までに納入しない者には、授業への出席、図書の閲覧、その他施設の利用を認めない。

第５０条　入学料、授業料その他既納の学納金は、如何なる理由があってもこれを還付しない。

第１４章　雑則

（改正）

第５１条　この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、２つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の３分の２以上が出席し出席者の３分の２以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附　則

1　本学則は、昭和４５年　４月　１日から施行する。

2　この学則を改正しようとするときは、教授の３分の２以上が出席した医学部教授会において、出席者の３分の２以上の賛成を得なければならない。

3　前項の学則の改正については、理事会の承認を要するものとする。

附　則

本学則は、昭和４９年　４月２６日から施行する。

附　則

本学則は、昭和５１年　４月１日から施行する。

附　則

本学則は、昭和５３年　４月　１日から施行する。

附　則

1　本学則は、昭和５４年　４月　１日から施行する。

2　この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、両学部に関連する事項については、各学部の教授会に、医学部に関連する事項については、医学部教授会に、保健学部に関連する事項については、保健学部教授会に諮り、それぞれの賛成を得なければならない。各学部教授会は、所定の構成員たる教授の３分の２以上が出席し、出席者の３分の２以上の賛成をもって議決する。

附　則

1　本学則は、昭和５５年　４月１日から施行する。

2　第３条の規定に拘らず保健学部の総定員は、次のとおりとする。

年度／学科	５４年度	５５年度	５６年度	５７年度以降
臨床検査技術学科	50 名	100 名	150 名	200 名
保　健　学　科	50 名	100 名	150 名	200 名

附　則

本学則は、昭和５７年　４月　１日から施行する。

附　則

1　本学則は、昭和５９年　４月　１日から施行する。

2　この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正

事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、２つ以上の学部に関連する場合は関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の３分の２以上が出席し、出席者の３分の２以上の賛成をもって議決するものとする。

附　則

本学則は、昭和６０年　４月　１日から施行する。

附　則

本学則は、昭和６１年　４月　１日から施行する。ただし、第３条の規定にかかわらず、昭和６１年度から昭和７４年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入学定員
医学部	医　　学　　科	100名
保健学部	臨床検査技術学科	50名
	保　健　学　科	50名
社会科学部	社会科学科	300名

附　則

１　本学則は、昭和６３年　４月　１日から施行する。ただし、別表２－２（第２４条関連）の適用については次の各号による。

（１）昭和６０年度入学生については適用しない。

（２）昭和６１年度入学生については、臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律施行令第１２条第３号の規定に基づく指定科目に限りこの表の該当科目を適用する。

（３）昭和６２年度入学生については、この表を適用する。

附　則

本学則は、平成　３年　４月　１日から施行する。ただし、第３条の規定にかかわらず、平成３年度から平成１１年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入学定員
医学部	医　　学　　科	90名
保健学部	臨床検査技術学科	65名
	保　健　学　科	65名
社会科学部	社会科学科	330名
外国語学部	英米語学科	160名
	中国語学科	70名
	日本語学科	70名

附　則

１　本学則は、平成　３年１０月　１日から施行する。

２　学則第２４条別表３は、平成　４年　４月　１日在籍の学生から適用する。

附　則

１　本学則は、平成　５年　４月　１日から施行する。

２　別表１－２は平成５年度入学生から適用する。
３　平成４年度以前の入学生は別表１－１を適用する。ただし、平成５年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成４年度以前の入学生は別表１－２を適用する。

附　則

１　本学則は、平成　６年　４月　１日から施行する。
２　別表１－２は平成６年度入学生から適用する。
３　平成５年度の別表１－２の適用者は、平成６年度の別表１－２に読みかえる。
４　別表１－１の時間数は、別表１－２の同名科目単位数を時間数に換算して読みかえる。
５　別表１―１を適用する学生に別表１―２で開講する科目を受講させることができるものとする。ただし、その履修により修得した単位は、卒業の単位に算入しない。
６　保健学部臨床検査技術学科及び保健学科において、平成６年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成５年度以前の入学生は、保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表２―２の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表２―１Ａ及び２―１Ｂの授業科目で行う。
７　この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、２つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の３分の２以上が出席し出席者の３分の２以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附　則

１　本学則は、平成　８年　４月　１日から施行する。
２　別表２－３及び別表６－２は平成８年度入学生から適用する。
３　保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成８年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成６年度及び平成７年度の入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表２－３の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表２－２の授業科目で行う。

附　則

本学則は、平成　９年　４月　１日から施行する。

附　則

本学則は、平成１０年　４月　１日から施行する。ただし、第３条の規定にかかわらず、平成１０年度から平成１１年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学　部	学　科	入学定員
医学部	医　学　科	90名
保健学部	臨床検査技術学科	65名
	保　健　学　科	65名
	看　護　学　科	80名

社会科学部	社会科学科	330名
外国語学部	英米語学科	160名
	中国語学科	70名
	日本語学科	100名

附　則

1　本学則は、平成１１年　４月　１日から施行する。

2　別表２－３は平成１１年度入学生から適用する。

3　保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成１１年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成６年度から平成１０年度までの入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により別表２－３の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、平成６年度及び平成７年度入学生は、別表２－１の授業科目で行い、平成８年度から平成１０年度までの入学生は別表２－２の授業科目で行う。

附　則

1　本学則は、平成１１年　７月　１日から施行する。

2　第４８条第１項は、平成１２年度入学志願者から適用する。

附　則

1　本学則は、平成１２年　４月　１日から施行する。

2　第３条の規定にかかわらず、平成１２年度から平成１６年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員				
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医学部	医学科	90名	90名	90名	90名	90名
保健学部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名	55名
	保健学科	55名	55名	55名	55名	55名
	看護学科	80名	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社会科学科	330名	330名	330名	310名	290名
外国語学部	英米語学科	160名	160名	160名	160名	160名
	中国語学科	70名	50名	50名	50名	50名
	日本語学科	100名	100名	80名	80名	80名

3　別表１－１は、削除する。

4　別表１－４は、平成１２年度入学生から適用する。

5　平成８年度以前の入学生は、別表１－２、及び平成１１年度以前の入学生は、別表１－３を適用する。ただし平成１２年度以降の学年進行に組み入れる平成１１年

度以前の入学生は、別表１－４を適用する。

附　則

１　本学則は、平成１３年　４月　１日から施行する。ただし、第６条の規定は、平成１２年　７月　１日から施行する。

２　第２条の規定にかかわらず、平成１３年　３月３１日までに外国語学部英米語学科、中国語学科及び日本語学科に在籍する学生は、改正前の学則を適用するものとする。

３　第３条の規定にかかわらず、平成１３年度から平成１６年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員			
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医学部	医学科	90名	90名	90名	90名
保健学部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名
	保健学科	55名	55名	55名	55名
	看護学科	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社会科学科	330名	330名	310名	290名
外国語学部	外国語学科	310名	290名	290名	290名

附　則

本学則は、平成１３年　４月　１日から施行する。

附　則

１　本学則は、平成１４年　４月　１日から施行する。

２　第２条の規定にかかわらず、平成１４年　３月３１日までに社会科学部社会科学科に在籍する学生は、平成１４年　４月　１日以降、社会科学部社会科学科に在籍する学生の当該学年に、編入若しくは転学部等によって入学する学生についても、改正前の学則を適用するものとする。

３　第３条の規定にかかわらず、平成１４年度から平成１６年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員		
		平成14年度	平成15年度	平成16年度
医学部	医学科	90名	90名	90名
保健学部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名
	保健学科	55名	55名	55名

	看　護　学　科	80名	80名	80名
総合政策学部	総　合　政　策　学　科	330名	310名	290名
外国語学部	外　国　語　学　科	290名	290名	290名

附　則

本学則は、平成１４年　４月　１日から施行する。

附　則

本学則は、平成１５年　４月　１日から施行する。

附　則

本学則は、平成１４年１０月　１日から施行する。

附　則

本学則は、平成１６年　４月　１日から施行する。

附　則

本学則は、平成１５年　４月　１日から施行する。

附　則

本学則は、平成１６年　４月　１日から施行する。

附　則

１　本学則は、平成１６年　４月　１日から施行する。

２　第１９条第１項第７号の規定は、平成１６年度入学生から適用する。

３　別表１－３は、平成１６年度入学生から適用する。

附　則

本学則は、平成１７年　４月　１日から施行する。

附　則

（施行期日）

１　本学則は、平成１８年　４月　１日から施行する。

（経過措置）

２　この学則による改正後の第２条、第３条、第４１条、第４１条の３及び第４１条の４は、平成１８年４月１日以降の入学生に適用し、平成１７年１０月１日以前の入学生及び平成１９年１０月１日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第３条に定める総合政策学部企業経営学科及び外国語学部の編入学定員は、平成２０年４月１日以降の編入学生から適用する。また、学校図書館司書教諭講習修了証書の取得に関する専門科目の種類及び単位数は、別表５－２のとおりとする。ただし、別表５－２は、平成１７年１０月１日以前の入学生に適用する。

３　この学則による別表２－１保健学科の項中「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術論Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅲ」「社会福祉援助技術演習Ⅳ」「社会福祉援助技術演習Ⅴ」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術現場実習指導」については、平成１８年４月１日以降

の履修者に適用し、平成１７年４月１日以前の「社会福祉援助技術Ⅰ」「社会福祉援助技術Ⅱ」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習Ⅰ」「社会福祉援助技術実習Ⅱ」の履修者については、改正前の学則を適用する。

附　則

本学則は、平成１７年　８月　１日から施行する。

附　則

本学則は、平成１８年　４月　１日から施行する。

附　則

本学則は、平成１８年　４月　１日から施行する。

附　則

（施行期日）

１　本学則は、平成１９年　４月　１日から施行する。

（経過措置）

２　この学則による改正後の第２条、第３条、第３９条第２項、第４１条、第４１条の４及び別表２－２の規定は、平成１９年４月１日以降の入学生に適用し、平成１８年１０月１日以前の入学生並びに平成１９年１０月１日以前の２年次編入学生及び平成２０年１０月１日以前の３年次編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第３条に定める編入学定員は、平成２０年４月１日以降の２年次編入学生並びに平成２１年４月１日以降の３年次編入学生から適用する。

３　前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については、別表２－１を適用する。

別表１－１

医学部授業科目及び単位数

（平成９年度入学生から適用）　　（A表）

授業科目	必修	選択	自由	備考
医療科学 I	3			
医療科学 II	3			
医療科学 III	3			
医療科学 IV	3			
医療科学 V	3			
臨床医学総論			3	
基礎生命科学 I	8			
基礎生命科学 II	8			
基礎生命科学 III	8			
基礎生命科学 IV	4			
英語 I	6			
英語 II	6			
医学英語 I			3	
医学英語 II			3	
ドイツ語 I			6	
ドイツ語 II			6	
フランス語 I			6	
フランス語 II			6	
スペイン語 I			6	
スペイン語 II			6	
中国語 I			6	
中国語 II			6	
体育実技	1			小計　５６単位

第３類（杏林大学学則）

（Ｂ表）

授業科目	必修	選択	自由	備考
解剖学Ⅰ	7			
解剖学Ⅱ	8			
生理学Ⅰ	5			
生理学Ⅱ	5			
生化学Ⅰ	5			
生化学Ⅱ	5			
薬理学	6			各々の科目は実習を含む
病理学総論	3			
病理学各論	5			
微生物学	6			
熱帯病・寄生虫学	4			
衛生学	4			
法医学	4			
公衆衛生学	5			
公衆衛生学実習	1			小計　７３単位

第３類（杏林大学学則）

（C表）

授業科目	必修	選択	自由	備考
内科学Ⅰ	6			
内科学Ⅰ実習	3			
内科学Ⅱ	4			
内科学Ⅱ実習	2			
内科学Ⅲ	4			
内科学Ⅲ実習	2			
高齢医学	2			
高齢医学実習	1			
精神神経科学	3			
精神神経科学実習	2			
小児科学	6			
小児科学実習	3			
外科学Ⅰ	3			
外科学Ⅰ実習	2			
外科学Ⅱ	3			
外科学Ⅱ実習	2			
小児外科学	1			
小児外科学実習	1			
救急医学	3			
救急医学実習	2			
脳神経外科学	3			
脳神経外科学実習	2			
胸部外科学	3			
胸部外科学実習	2			
整形外科学	3			
整形外科学実習	2			
皮膚科学	3			
皮膚科学実習	1			
形成外科学	1			
形成外科学実習	1			

第３類（杏林大学学則）

泌尿器科学	3			
泌尿器科学実習	2			
眼科学	3			
眼科学実習	1			
耳鼻咽喉科学	3			
耳鼻咽喉科学実習	1			
産科婦人科学	6			
産科婦人科学実習	2			
放射線医学	3			
放射線医学実習	2			
麻酔科学	3			
麻酔科学実習	1			
臨床病理学	2			
臨床病理学実習	1			
臨床免疫学	2			
臨床総合演習	３０			小計　１４１単位
計				２７０単位

別表１－２

医学部授業科目及び単位数

〈平成１２年度入学生から適用〉　　（A表）

授業科目	必修	選択	自由	備考
医療科学 I	3			
医療科学 II	3			
医療科学 III	3			
臨床医学総論		3		
基礎生命科学 I	8			
基礎生命科学 II	8			
基礎生命科学 III	8			
基礎生命科学 IV	4			
英語 I	6			
英語 II	6			
医学英語 I			3	
医学英語 II			3	
ドイツ語 I			6	
ドイツ語 II			6	
フランス語 I			6	
フランス語 II			6	
スペイン語 I			6	
スペイン語 II			6	
中国語 I			6	
中国語 II			6	
体育実技	1			小計　５３単位

（B表）

授業科目	必修	選択	自由	備考
解剖学 I	7			
解剖学 II	8			
生理学 I	5			
生理学 II	5			
生化学 I	5			
生化学 II	5			

第３類（杏林大学学則）

薬理学	6			各々の科目は実習を含む
病理学総論	3			
病理学各論	5			
微生物学	6			
熱帯病・寄生虫学	4			
衛生学	4			
法医学	4			
公衆衛生学	5			
公衆衛生学実習	1			小計　７３単位

（C表）

授業科目	必修	選択	自由	備考
内科学Ⅰ	6			
内科学Ⅰ実習	6			
内科学Ⅱ	4			
内科学Ⅱ実習	4			
内科学Ⅲ	4			
内科学Ⅲ実習	4			
高齢医学	2			
高齢医学実習	2			
精神神経科学	3			
精神神経科学実習	1			
小児科学	6			
小児科学実習	4			
総合医療学	3			
診断学実習	1			
外科学Ⅰ	3			
外科学Ⅰ実習	2			
外科学Ⅱ	3			
外科学Ⅱ実習	2			
小児外科学	1			
小児外科学実習	1			
救急医学	2			
救急医学実習	2			
脳神経外科学	3			
脳神経外科学実習	2			
心臓血管外科学	2			
心臓血管外科学実習	2			
整形外科学	3			
整形外科学実習	2			

第３類（杏林大学学則）

皮膚科学	3			
皮膚科学実習	2			
形成外科学	1			
形成外科学実習	1			
泌尿器科学	2			
泌尿器科学実習	2			
眼科学	2			
眼科学実習	1			
耳鼻咽喉科学	2			
耳鼻咽喉科学実習	1			
産科婦人科学	6			
産科婦人科学実習	3			
放射線医学	3			
放射線医学実習	2			
麻酔科学	3			
麻酔科学実習	1			
臨床検査医学	2			
臨床検査医学実習	1			
臨床免疫学	2			
臨床総合演習	１６			小計　　１３８単位
計				２６４単位

第３類（杏林大学学則）

別表１－３

医学部授業科目及び単位数

〈平成１６年度入学生から適用〉

分野	分科	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
医療と教養	科学と医療	医療科学Ａ	8			
		医療科学Ｂ	4			
		医療科学Ｃ	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	3			
	外国語	英語Ａ	5			
		英語Ｂ	5			
		医学英語Ａ	2			
		医学英語Ｂ	1			
		ドイツ語Ａ			5	
		ドイツ語Ｂ			5	
		フランス語Ａ			5	
		フランス語Ｂ			5	
		スペイン語Ａ			5	
		スペイン語Ｂ			5	
		中国語Ａ			5	
		中国語Ｂ			5	
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝学Ａ	6			
		代謝学Ｂ	2			
		生体統御生理学	4			
		細胞生理学	4			

第３類（杏林大学学則）

	異常の発生と制御	薬理学総論	4			
		病理学総論	3			
		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	5			
臨床統合講義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論	3			
		神経	5			
		呼吸器	4			
		循環器	4			
		消化器	6			
		腎・尿路	4			
		内分泌・代謝	3			
		血液	3			
		精神	2			
		感覚器	3			
		運動器	2			
		皮膚・形成	2			
		女性医学	2			
	誕生・成長・老化	妊娠・分娩	2			
		発育・小児	2			
		老化と老年病	1			
		生活習慣病	1			
	系統的異常	感染症	2			
		免疫・アレルギー	2			
		腫瘍	1			
		救命と救急医療	2			
		麻酔・全身管理	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論	8			
		内科学Ⅰ実習	6			
		内科学Ⅱ実習	4			
		内科学Ⅲ実習	4			
		高齢医学実習	2			
		総合医療学実習	1			

		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科学実習	2			
		皮膚科学実習	2			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	2			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
		麻酔科学実習	1			
		臨床検査医学実習	1			
		病理学実習	1			
	応用実習	臨床応用実習	6			
		臨床総合演習	１６			
計						２５５単位

別表２—１

保　健　学　部　学　科　目　構　成

（平成１２年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
人文・社会学系				
哲学		2		
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		１０単位以上
社会学		2		
生命倫理学		2		
発達心理学		2		
芸術		2		
数学系				
数学		2		
統計学演習		1		３単位以上
医療情報科学		2		
計算機演習		2		
物理学系				
物理学		2		
物理学実験		1		３単位以上
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		３単位以上
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		３単位以上
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法	2			
英語Ⅰ		2		
英語Ⅱ		2		英語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）又はフランス語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）のどちらかを選択他に４単位以上
英語Ⅲ		2		
医学英語		2		
英会話Ⅰ		2		
英会話Ⅱ		2		英会話Ⅰを履修していること
フランス語Ⅰ		2		

フランス語Ⅱ		2		
フランス語Ⅲ		2		
フランス語会話		2		
体育学系				
体育実技Ⅰ	2			
体育実技Ⅱ		1		
健康スポーツ科学		2		
基礎医学系				
医学概論	2			
公衆衛生学Ⅰ	2			
公衆衛生学Ⅱ		2		
解剖学Ⅰ	2			
解剖学Ⅱ		2		
解剖学実験	1			
病理学	2			
病理学実験	1			
生理学Ⅰ	2			
生理学Ⅱ		2		
生理学実験	1			
生化学Ⅰ	2			
生化学Ⅱ		2		
生化学実験	1			
血液学	2			
血液学実験	1			
免疫学	2			
免疫学実験	1			
微生物学	2			
微生物学実験	1			
医動物学		2		
医動物学実験		1		
薬理学		2		
医学検査系				
生理学検査Ⅰ		2		
生理学検査Ⅱ		2		
画像診断技術		2		
生理学検査実習		1		
生化学検査Ⅰ		2		
生化学検査Ⅱ		2		
病態生化学		2		
生化学検査実習		1		
病理学検査		2		
病理学検査実習		1		
病理組織・細胞検査		2		
病理組織・細胞検査実習		1		

血液学検査	2		
血液学検査実習	1		
微生物学検査	2		
微生物学検査実習	1		
免疫学検査	2		
免疫学検査実習	1		
一般検査	2		
一般検査実習	1		
臨床医学概論	2		
臨床病理学Ⅰ	2		
臨床病理学Ⅱ	2		
検査管理	2		
検査総合演習	2		
医療関係法規	2		
臨床実習Ⅰ	2		
臨床実習Ⅱ	4		
検査特別講義	1		
細胞検査法	2		
細胞検査演習Ⅰ	1		
細胞検査演習Ⅱ	1		
細胞検査演習Ⅲ	1		
細胞検査演習Ⅳ	1		
細胞検査演習Ⅴ	1		
細胞検査演習Ⅵ	1		
分子生物学系			
分子生物学Ⅰ	2		
分子生物学Ⅱ	2		
分子生物学実習	1		
臨床遺伝学	2		
遺伝子検査法	2		（実習を含む）
細胞遺伝学	2		
分子細胞生物学	2		
救急医学系			１単位３０時間（実習を除く）
臨床内科学Ⅰ	1		
臨床内科学Ⅱ	1		
臨床内科学Ⅲ	1		
臨床内科学Ⅳ	1		
臨床内科学Ⅴ	1		
臨床内科学Ⅵ	1		
臨床内科学Ⅶ	1		
臨床内科学Ⅷ	1		
救急医学概論Ⅰ	1		
救急医学概論Ⅱ	1		
医学検査	1		

救急処置総論		1		
救急処置各論		2		
救急・災害医療		1		
臨床外科学Ⅰ		2		
臨床外科学Ⅱ		2		
臨床外科学Ⅲ		1		
臨床外科学Ⅳ		1		
一般救急救命		1		
小児科学		1		
産婦人科学		1		
整形外科学		1		
脳外科学		1		
精神医学		1		
救命救助法		1		
シミュレーションⅠ		3		
シミュレーションⅡ		3		
シミュレーションⅢ		2		
病院内実習		１０		
救急車同乗実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		
分析化学Ⅰ		2		
分析化学Ⅱ		2		
分析化学実験		1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
実験動物学		1		
動物実験実習		1		実験動物学を履修していること
職業適性論		2		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
総合				
移植コーディネータ論		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	３３	２３５		１２４単位以上

第３類（杏林大学学則）

保健学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
人文・社会学系				
哲学		2		
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		１０単位以上
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術		2		
数学系				
数学		2		
統計学演習	1			３単位以上
医療情報科学		2		
計算機演習	2			
物理学系				
物理学		2		
物理学実験		1		３単位以上
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		３単位以上
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		３単位以上
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法	2			
英語Ⅰ		2		
英語Ⅱ		2		
英語Ⅲ		2		英語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）又はフランス語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）のどちらかを選択他に４単位以上
医学英語		2		
英会話Ⅰ		2		
英会話Ⅱ		2		
フランス語Ⅰ		2		英会話Ⅰを履修していること
フランス語Ⅱ		2		
フランス語Ⅲ		2		
フランス語会話		2		

第３類（杏林大学学則）

体育学系			
体育実技Ⅰ	2		
体育実技Ⅱ		1	
健康スポーツ科学		2	
基礎医学系			
医学概論		2	
公衆衛生学Ⅰ		2	
公衆衛生学Ⅱ		2	
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ		2	
解剖学実験		1	
病理学	2		
病理学実験		1	
生理学Ⅰ	2		
生理学Ⅱ		2	
生理学実験		1	
生化学Ⅰ	2		
生化学Ⅱ		2	
生化学実験		1	
血液学	2		
血液学実験		1	
免疫学	2		
免疫学実験		1	
微生物学	2		
微生物学実験		1	
医動物学		2	
医動物学実験		1	
薬理学		2	
保健学系			
保健学概論	2		
人類生態学		2	
環境保健学		2	
疫学		2	
保健管理学		2	
保健社会学		2	
母子保健学		2	
成人保健学		2	
精神保健学		2	
保健栄養学		2	
人類遺伝学		2	
健康教育学Ⅰ		2	
健康教育学Ⅱ		2	
人間適応論		1	
人口学		1	

4単位以上
小児保健を含む

食品学を含む

保健科指導研究Ⅰ
保健科指導研究Ⅱ

保健学基礎実習Ⅰ	2			
保健学基礎実習Ⅱ	4			
保健学実習Ａ		1		
保健学実習Ｂ		1		
福祉･養護系				
社会福祉学		2		
社会福祉政策論		2		
老人福祉論		2		
高齢保健学		2		
障害者福祉論		4		
児童福祉論		2		
社会保障論		4		
公的扶助論		2		
地域福祉論		2		
社会福祉援助技術総論		4		
社会福祉援助技術論Ⅰ		2		
社会福祉援助技術論Ⅱ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅰ		1		
社会福祉援助技術演習Ⅱ		1		
社会福祉援助技術演習Ⅲ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅳ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅴ		2		
社会福祉援助技術実習		4		
社会福祉援助技術現場実習指導		4		
地域保健学		2		
養護学概論		2		
学校保健学Ⅰ		2		学校安全を含む
学校保健学Ⅱ		2		
健康相談		2		
臨床心理学		2		
カウンセリング		2		
看護学Ⅰ		2		
看護学Ⅱ		2		
看護学Ⅲ		2		
看護学実習		2		
救急看護学		2		
国際保健学		1		
移植コーディネータ論		2		
環境･食品系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
環境科学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		

分析化学Ⅰ	2	
分析化学Ⅱ	2	
分析化学実験	1	放射性同位元素検査学を含む
環境生物学	2	
食品栄養学	2	
食品衛生学	2	
食品製造学	2	
実験動物学	1	
動物実験実習	1	実験動物学を履修していること
職業適性論	2	
労働衛生法規Ⅰ	2	
労働衛生法規Ⅱ	2	
臨床検査系		
生理学検査Ⅰ	2	
生理学検査Ⅱ	2	
画像診断技術	2	
生理学検査実習	1	
生化学検査Ⅰ	2	
生化学検査Ⅱ	2	
生化学検査実習	1	
病理学検査	2	
病理学検査実習	1	
血液学検査	2	
血液学検査実習	1	
微生物学検査	2	
微生物学検査実習	1	
免疫学検査	2	
免疫学検査実習	1	
一般検査	2	
一般検査実習	1	
臨床医学概論	2	
医療関係法規	2	
臨床実習Ⅰ	2	
臨床実習Ⅱ	4	
検査特別講義	1	
遺伝医学系		
分子生物学Ⅰ	2	
分子生物学Ⅱ	2	
分子生物学実習	1	
臨床遺伝学	2	
遺伝子検査法	2	（実習を含む）
細胞遺伝学	2	
分子細胞生物学	2	
救急医学系		１単位３０時間（実習を除く）

臨床内科学Ⅰ		1		
臨床内科学Ⅱ		1		
臨床内科学Ⅲ		1		
臨床内科学Ⅳ		1		
臨床内科学Ⅴ		1		
臨床内科学Ⅵ		1		
臨床内科学Ⅶ		1		
臨床内科学Ⅷ		1		
救急医学概論Ⅰ		1		
救急医学概論Ⅱ		1		
医学検査		1		
救急処置総論		1		
救急処置各論		2		
救急・災害医療		1		
臨床外科学Ⅰ		2		
臨床外科学Ⅱ		2		
臨床外科学Ⅲ		1		
臨床外科学Ⅳ		1		
一般救急救命		1		
小児科学		1		
産婦人科学		1		
整形外科学		1		
脳外科学		1		
精神医学		1		
救命救助法		1		
シミュレーションⅠ		3		
シミュレーションⅡ		3		
シミュレーションⅢ		2		
病院内実習		１０		
救急車同乗実習		3		
総合				
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	３３	３２７		１２４単位以上

第３類（杏林大学学則）

看護学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
一般教養領域				
人間科学系				
哲学		2		
生命倫理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
心理学		2		１２単位以上
発達心理学		2		
社会学		2		
社会福祉学		2		
芸術		2		
体育実技Ⅰ		1		
体育実技Ⅱ		1		１単位以上
健康とスポーツ論		2		
自然科学系				
統計学		2		
人類遺伝学		2		
物理学概論		2		６単位以上
化学概論		2		
生命科学概論		2		
情報処理論	2			
言語系				
英語Ⅰ	2			
英語Ⅱ	2			
英語Ⅲ		2		
英語Ⅳ		2		
英会話Ⅰ		2		６単位以上
英会話Ⅱ		2		英会話Ⅰを履修していること
フランス語Ⅰ		2		
フランス語Ⅱ		2		
日本語表現法		2		
専門基礎領域				
解剖学	2			
生理学	2			
生殖生理学		1		
生化学	1			
病理学	2			
疾病論Ⅰ	2			
疾病論Ⅱ	2			
微生物学	2			
免疫学		1		

栄養学	2			
薬理学	2			
公衆衛生学	1			
臨床心理学		1		
関係法規	1			
専門領域				
基礎看護学系				
看護学概論Ⅰ	2			
看護学概論Ⅱ	2			
看護方法Ⅰ	2			演習
看護方法Ⅱ	2			演習
看護方法Ⅲ	2			演習
看護方法Ⅳ	2			演習
看護方法Ⅴ	2			演習
カウンセリング		1		
基礎看護学実習Ⅰ	1			
基礎看護学実習Ⅱ	2			
在宅看護学系				
在宅ケア論Ⅰ	1			
在宅ケア論Ⅱ	1			
在宅看護学実習	2			
成人･高齢者看護学系				
成人看護学概論	1			
高齢者看護学概論	1			
成人保健学	1			
高齢者保健学	1			
成人看護学Ⅰa	1			
成人看護学Ⅰb	1			
成人看護学Ⅱa	2			
成人看護学Ⅱb	2			
高齢者看護学Ⅰ	1			
高齢者看護学Ⅱ	1			
成人看護学実習Ⅰ	3			
成人看護学実習Ⅱ	3			
成人看護学実習Ⅲ	2			クリティカルケア、バリアティブケア、リハビリテーションから１科目選択
高齢者看護学実習Ⅰ	1			
高齢者看護学実習Ⅱ	3			
精神看護学系				
精神看護学概論	1			
精神保健学	2			
精神看護学	1			
精神看護学実習	2			
母子看護学系				

母子看護学概論	2			
母性保健学	1			
小児保健学	1			
母性看護学Ⅰ	1			
母性看護学Ⅱ	2			
小児看護学Ⅰ	1			
小児看護学Ⅱ	2			
母性看護学実習	2			
小児看護学実習	2			
地域看護学系				
地域看護学概論	2			
地域看護学	1			
地域看護活動論	3			
保健指導総論	1			
地域看護学実習	2			
保健学系				
保健管理学		2		
健康教育学		2		
環境保健学		2		
産業保健学		2		
保健福祉行政論	2			
疫学	2			
保健統計	2			
学校保健概論	2			学校安全を含む
養護学概論		2		
学校保健学Ⅰ		2		
学校保健学Ⅱ		2		
健康相談		2		
臨床検査学系				
臨床検査管理総論		1		
臨床遺伝学		1		
医用工学概論		1		
放射線概論		1		
助産学系				
助産学概論		1		
助産診断・技術学Ⅰ		1		
助産診断・技術学Ⅱ		3		
助産診断・技術学Ⅲ		3		
助産管理学		1		
助産学特論		1		
助産学実習Ⅰ		7		
助産学実習Ⅱ		1		
総合領域				
医療概論	1			

看護管理学		1		
看護教育論		1		
移植コーディネータ論		2		
基礎看護学特論		1		
成人看護学特論		1		
高齢者看護学特論		1		
精神看護学特論		1		
母子看護学特論		1		
地域看護学特論		1		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	１１２	１０４		１３７単位以上

臨床工学科（平成１８年度入学生から適用）

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		１０単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
発達心理学		2		
芸術		2		
数学系				
数学	2			
統計学演習		1		
医療情報科学		2		
計算機演習	2			
応用数学	2			
物理学系				
基礎電気学	2			
基礎電子回路	2			
医用工学概論	2			
化学系				
無機化学		2		３単位以上
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				
生命科学概論		2		３単位以上
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法	2			
英語Ⅰ		2		英語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）又
英語Ⅱ		2		

英語Ⅲ		2	
医学英語		2	
英会話Ⅰ		2	
英会話Ⅱ		2	
フランス語Ⅰ		2	
フランス語Ⅱ		2	
フランス語Ⅲ		2	
フランス語会話		2	
体育学系			
体育実技Ⅰ	2		
体育実技Ⅱ		1	
健康スポーツ科学		2	
基礎医学系			
医学概論	2		
公衆衛生学Ⅰ	2		
公衆衛生学Ⅱ		2	
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ		2	
病理学	2		
生理学Ⅰ	2		
生理学Ⅱ	2		
生理学実験	1		
生化学Ⅰ		2	
生化学Ⅱ		2	
血液学		2	
免疫学		2	
微生物学		2	
医動物学		2	
薬理学		2	
看護学		2	
医学検査系			
生理学検査Ⅰ	2		
生理学検査Ⅱ	2		
画像診断技術		2	
生理学検査実習		1	
医学検査		2	

はフランス語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）のどちらかを選択
他に４単位以上
英会話Ⅰを履修していること

２単位以上

臨床病理学	2			
臨床遺伝学	2			
臨床工学系				
医用電気工学	2			
医用電気工学実習	1			
医用電子工学	2			
医用電子工学実習	1			
システム工学	2			
医用情報処理工学	2			
医用情報工学実習	1			
医用計測工学	2			
医用計測工学実習	1			
医用機械工学	2			
生体物性学	2			
生体材料工学	2			
医用機器学概論	2			
医用計測機器学	2			
医用計測機器学実習	1			
医用治療機器学	2			
医用治療機器学実習	1			
生体機能代行装置学概論	2			
生体機能代行装置学基礎実習	1			
呼吸関連機器学	2			
呼吸関連機器学実習	1			
血液浄化装置学	2			
血液浄化装置学実習	1			
体外循環機器学	2			
体外循環機器学実習	1			
医用機器安全管理学Ⅰ	2			
医用機器安全管理学Ⅱ	2			
安全管理学実習	1			
臨床医学総論Ⅰ	2			
臨床医学総論Ⅱ	2			
臨床医学総論Ⅲ	2			
臨床医学総論Ⅳ	2			
医療関係法規	2			

第３類（杏林大学学則）

臨床実習講義		1		
臨床実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		
分析化学Ⅰ		2		
分析化学Ⅱ		2		
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
救命救助法		1		
総合				
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	３７	１７７		１２４単位以上

別表２—２

保　健　学　部　学　科　目　構　成

（平成１９年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
人文・社会学系				
哲学		2		１０単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
芸術		2		
数学・物理学系				
数学		2		６単位以上
医療情報科学		2		
医療情報処理		2		
医療情報処理演習		2		
基礎物理学		1		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
基礎化学		1		４単位以上
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		４単位以上
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				

第３類（杏林大学学則）

日本語表現法		2	
英語Ⅰ		2	
英語Ⅱ		2	
英語Ⅲ		2	１０単位以上
英語Ⅳ		2	
英会話		2	
医学英語		2	
体育学系			
健康スポーツ科学		2	
体育実技Ⅰ	2		
基礎医学系			
医学概論	2		
医学検査概論	2		
保健学概論Ⅰ	2		
保健学概論Ⅱ		2	
公衆衛生学Ⅰ	2		
公衆衛生学Ⅱ		2	
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ		2	
解剖・組織学実験	1		
病理学	2		
病理学実験	1		
生理学Ⅰ	2		
生理学Ⅱ		2	
生理学実験	1		
生化学Ⅰ	2		
生化学Ⅱ		2	
生化学実験	1		
血液学	2		
血液学実験	1		
免疫学	2		
免疫学実験	1		
微生物学	2		
微生物学実験	1		
医動物学	2		
遺伝子工学		2	
遺伝子工学実験		1	

分子生物学		2		
分子細胞生物学		2		
薬理学		2		
実験動物学		1		
動物実験実習		1		
救命救助法		1		
医学検査系				
生理機能検査学Ⅰ	2			
生理機能検査学Ⅱ		2		
生理機能検査学実習		2		
画像診断技術		2		
臨床化学検査学Ⅰ	2			
臨床化学検査学Ⅱ		2		
臨床化学検査学実習		2		放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2		
染色体学		2		
臨床遺伝学		2		
遺伝子・染色体検査学	2			
遺伝子・染色体検査学実習		1		
病理診断学	2			
病理検査学		2		
病理検査学実習		2		
細胞診断学		2		
細胞診断学実習		1		
血液検査学	2			
血液検査学実習		2		
医動物検査学実習		1		
微生物検査学Ⅰ	2			
微生物検査学Ⅱ		2		
微生物検査学実習		2		
免疫検査学Ⅰ	2			
免疫検査学Ⅱ		2		
免疫検査学実習		2		
一般検査学	2			
一般検査学実習		1		
臨床病態学Ⅰ		2		

臨床病態学Ⅱ		2			
検査管理学		2			
分析化学Ⅰ		2			
分析化学Ⅱ		2			
分析化学実験		1			
専門実験・実習手法	1				
臨地実習		6			
保健学系					
医療福祉概論		2			
国際保健学		2			
生活習慣病論		2			
衛生学系					
産業保健学		2			
環境衛生工学		2			
環境化学		2			
食品栄養学		2			
食品衛生学		2			
食品製造学		2			
職業適性論		2			
労働衛生法規Ⅰ		2			
労働衛生法規Ⅱ		2			
自由専攻					
細胞診断学演習Ⅰ		1			
細胞診断学演習Ⅱ		1			
細胞診断学演習Ⅲ		1			
細胞診断学演習Ⅳ		1			
細胞診断学演習Ⅴ		1			
遺伝・バイオ技術系特別演習Ⅰ		1			
遺伝・バイオ技術系特別演習Ⅱ		1			
細胞・組織・形態系特別演習Ⅰ		1			
細胞・組織・形態系特別演習Ⅱ		1			
感染症制御系特別演習Ⅰ		1			
感染症制御系特別演習Ⅱ		1			

第３類（杏林大学学則）

生殖・移植医療系特別演習Ⅰ		1		
生殖・移植医療系特別演習Ⅱ		1		
化学系特別演習Ⅰ		1		
化学系特別演習Ⅱ		1		
生理機能系特別演習Ⅰ		1		
生理機能系特別演習Ⅱ		1		
治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
インターンシップ		4		４単位以上
卒業研究		4		
計	５２	１９２		１２４単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
人文・社会学系				
哲学		2		
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		１０単位以上
芸術		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
社会心理学		2		
自然科学系				
数学		2		

第３類（杏林大学学則）

統計学演習		2	
医療情報科学		2	
情報処理演習		2	
物理学		2	
物理学実験		1	
医用工学概論		2	１０単位以上
医用工学実験		1	
無機化学		2	
生物有機化学Ⅰ		2	
生物有機化学Ⅱ		2	
化学実験		1	
生命科学概論		2	
生物学実験		1	
言語系			
日本語表現法		2	
英語Ⅰ		2	英語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）又はフランス語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）のどちらかを選択他に４単位以上
英語Ⅱ		2	
英語Ⅲ		2	
医学英語		2	
英会話		2	
フランス語Ⅰ		2	
フランス語Ⅱ		2	
フランス語Ⅲ		2	
フランス語会話		2	
体育学系			
体育実技Ⅰ		2	
体育実技Ⅱ		1	
健康スポーツ科学		2	
基礎医学系			
医学概論		2	
公衆衛生学Ⅰ	2		
公衆衛生学Ⅱ		2	
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ		2	
解剖学実験		1	
病理学	2		
病理学実験		1	

生理学Ⅰ	2				
生理学Ⅱ		2			
生理学実験		1			
生化学Ⅰ	2				
生化学Ⅱ		2			
生化学実験		1			
血液学		2			
血液学実験		1			
免疫学		2			
免疫学実験		1			
微生物学		2			
微生物学実験		1			
薬理学		2			
救命救助法		1			
専門基礎					
保健学概論Ⅰ	2				
保健学概論Ⅱ	2				
保健学基礎実習	1				
保健学発展実習Ⅰ（社会調査系）	1				
保健学発展実習Ⅱ（健康教育系）	1				
保健学発展実習Ⅲ（環境系）	1				
保健学発展実習Ⅳ（遺伝系）	1				
保健学発展実習Ⅴ（心理検査系）	1				
保健学応用実習A		1			
保健学応用実習B		1			
基礎保健学系					
人類生態学		2			
環境保健学		2			
疫学		2			
保健管理学		2			
健康社会学		2			
母子保健学		2			小児保健を含む

成人保健学	2		
精神保健学	2		
保健栄養学	2		食品学を含む
人類遺伝学	2		
健康教育学Ⅰ	2		
社会福祉学	2		
ライフステージと心理	2		
生活と看護	2		
発展保健学系			
健康教育学Ⅱ	2		
栄養生態学	2		
人口学	2		
地域保健学	2		
国際保健学	2		
臨床心理学	2		
細胞遺伝学	2		
現代社会と心の病理	2		
認知心理学	2		
社会福祉学系			
社会福祉政策論	2		
老人福祉論	2		
高齢保健学	2		
障害者福祉論	4		
児童福祉論	2		
社会保障論	4		
公的扶助論	2		
地域福祉論	2		
社会福祉援助技術総論	4		
社会福祉援助技術論Ⅰ	2		
社会福祉援助技術論Ⅱ	2		
社会福祉援助技術演習Ⅰ	1		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	1		
社会福祉援助技術演習Ⅲ	2		
社会福祉援助技術演習Ⅳ	2		
社会福祉援助技術演習Ⅴ	2		
社会福祉援助技術実習	6		
社会福祉援助技術現場実習指導	6		

医療福祉論	2		
家族福祉論	2		
セルフヘルプグループ論	2		
保健福祉論	2		
初めての社会福祉	2		
学校保健学系			
学校保健学Ⅰ	2		学校安全を含む
学校保健学Ⅱ	2		
学校看護学	1		
健康相談Ⅰ	2		
健康相談Ⅱ	1		
養護学概論	2		
カウンセリング	2		
精神医学	1		
保健科指導研究Ⅰ	2		
保健科指導研究Ⅱ	2		
看護学Ⅰ	2		
看護学Ⅱ	2		
看護学Ⅲ	2		
看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学Ⅰ	2		
分析化学Ⅱ	2		
分析化学実験	1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規Ⅰ	2		
労働衛生法規Ⅱ	2		
総合			

第３類（杏林大学学則）

コーディネータ論		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
教職総合演習		2		
ボランティア活動		2		
インターンシップ		2		
卒業研究	4			
計	２４	２７３		１２４単位以上

看護学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
一般教養領域				
人間科学系				
哲学		2		
生命倫理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
心理学		2		
発達心理学		2		
社会心理学		2		１０単位以上
社会福祉学		2		
芸術		2		
ホスピタリティ論		2		
文化人類学		2		
国際関係論		2		
健康スポーツ科学		2		１単位以上
体育実技		1		
自然科学系				
統計学		2		
人類遺伝学		2		
物理学概論		2		４単位以上
化学概論		2		
生命科学概論		2		
情報処理論	2			

第３類（杏林大学学則）

言語系			
英語Ⅰ	2		
英語Ⅱ	2		
英語Ⅲ		2	
英会話		2	
医学英語		2	
フランス語Ⅰ		2	６単位以上
フランス語Ⅱ		2	
フランス語Ⅲ		2	
フランス語会話		2	
日本語表現法		2	
専門基礎領域			
基礎医学系			
解剖学	2		
生理学	2		
生化学	2		
栄養学	2		
病態学Ⅰ	2		
病態学Ⅱ	2		
微生物学	2		
薬理学	2		
公衆衛生学	2		
関係法規	1		
カウンセリング		1	
臨床心理学		1	
血液学		2	
免疫学		2	
医学概論		2	
専門領域			
基礎看護学系			
看護学概論	2		
看護方法演習Ⅰ	2		
看護方法演習Ⅱ	2		
看護方法演習Ⅲ	2		
看護方法演習Ⅳ	2		
基礎看護学実習Ⅰ	1		
基礎看護学実習Ⅱ	2		

在宅看護学系					
在宅ケア論	2				
在宅ケア演習	2				
在宅看護学実習	2				
成人・高齢者看護学系					
成人看護学概論	1				
成人看護学Ⅰ	2				
成人看護学Ⅱ	2				
成人看護学演習	2				
成人看護学実習Ⅰ	4				
成人看護学実習Ⅱ	4				
高齢者看護学概論	1				
高齢者看護学	2				
高齢者看護学実習Ⅰ	2				
高齢者看護学実習Ⅱ	2				
精神看護学系					
精神看護学概論	1				
精神看護学	2				
精神看護学実習	2				
精神看護学演習	1				
母子看護学系					
母性看護学概論	1				
母性看護学	2				
母性看護学演習	1				
母性看護学実習	2				
小児看護学概論	1				
小児看護学	2				
小児看護学演習	1				
小児看護学実習	2				
地域看護学系					
地域看護学概論	2				
地域看護学	2				
地域看護学演習Ⅰ	2				
地域看護学演習Ⅱ	2				
地域看護学実習Ⅰ	2				
地域看護学実習Ⅱ	1				
保健学系					

健康教育学Ⅰ		2			
産業保健学		2			
保健福祉行政論	2				
疫学・保健統計学	2				
保健統計	2				
保健学概論		1			
保健学Ⅰ		1			
保健学Ⅱ	1				
保健学Ⅲ		1			
保健学Ⅳ	1				
養護学概論		2			
学校保健学Ⅰ		2			
学校保健学Ⅱ		2			
健康相談		2			
健康教育学Ⅱ		2			
地域福祉論	2				
児童福祉論		2			
老人福祉論	2				
臨床検査学系					
医用工学概論		2			
助産学系					
助産学概論		1			
助産診断・技術学Ⅰ		2			
助産診断・技術学Ⅱ		2			
助産診断・技術学Ⅲ		2			
助産診断・技術学Ⅳ		2			
助産診断・技術学Ⅴ		2			
助産管理学		1			
助産学特論		1			
助産学実習Ⅰ		6			
助産学実習Ⅱ		2			
総合領域					
看護管理学		1			
看護教育論		1			
移植コーディネータ論		1			
特別講義		1			
看護理論		1			

第３類（杏林大学学則）

看護倫理		1		
疾病論		2		
教職総合演習		2		
死生学		1		
遺伝看護		1		
地域活動論	2			
総合看護		2		
救急看護学		2		
医療安全		1		
国際看護活動論		1		
災害看護活動論		1		
ボランティア活動		2		
インターンシップ		4		４単位以上
卒業研究		4		
計	１０９	１３２		１３４単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
人文・社会学系				
哲学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
倫理学		2		
生命倫理学		2		１０単位以上
心理学		2		
発達心理学		2		
教育心理学		2		
芸術		2		
民俗学		2		
数学・物理学系				
基礎物理学		1		
物理学		2		
医用工学概論		2		４単位以上
数学		2		
統計学		2		

第３類（杏林大学学則）

医療情報科学		2	
情報処理演習		2	
化学系			
基礎化学		1	
無機化学		2	
生物有機化学Ⅰ		2	３単位以上
生物有機化学Ⅱ		2	
化学実験		1	
生物学系			
基礎生物学		1	
生命科学概論		2	
細胞生物学		2	３単位以上
人類遺伝学		2	
生物学実験		1	
言語系			
日本語表現法		2	
英語Ⅰ	2		
英語Ⅱ	2		
英語Ⅲ		2	
英語Ⅳ		2	
英会話		2	
医学英語		2	４単位以上
フランス語Ⅰ		2	
フランス語Ⅱ		2	
フランス語Ⅲ		2	
フランス語会話		2	
体育学系			
健康スポーツ科学		2	
体育実技Ⅰ	2		
体育実技Ⅱ	1		
基礎医学系			
医学概論		2	
公衆衛生学Ⅰ	2		
公衆衛生学Ⅱ		2	
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ		2	
生理学Ⅰ	2		

生理学	Ⅱ		2		
生化学		2			
病理学		2			
微生物学		2			
血液学			2		
免疫学			2		
薬理学		2			
救命救助法		1			
救急医学系					
内科学	Ⅰ	2			
内科学	Ⅱ	2			
内科学	Ⅲ	2			
内科学	Ⅳ		2		
内科学	Ⅴ		2		
内科学	Ⅵ		2		
医療コミュニケーション学			2		
医療安全論			2		
救急医学概論		2			
救急処置総論		2			
救急処置各論		2			
災害医学			2		
外科学	Ⅰ		2		
外科学	Ⅱ		2		
外傷学			2		
環境障害・急性中毒学			2		
救急搬送論			2		
小児科学			2		
産婦人科学			2		
整形外科学			2		
脳外科学			2		
精神医学			2		
放射線概論			2		
シミュレーション	Ⅰ	2			
シミュレーション	Ⅱ	2			
シミュレーション	Ⅲ		3		
シミュレーション	Ⅳ		3		
シミュレーション	Ⅴ		2		

第３類（杏林大学学則）

シミュレーションVI		2		
病院内実習		10		
救急車同乗実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
総合				
移植コーディネータ論		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
ボランティア活動		2		
インターンシップ		4		４単位以上
卒業研究		4		
計	38	168		１２４単位以上

別表３－１（平成１３年度以前の入学生に適用）

社会科学部学科目構成

１　専門科目

授業科目の名称		単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
共通科目	国際関係論Ⅰ		2		14科目 28単位以上
	国際関係論Ⅱ		2		
	情報処理概論Ⅰ		2		
	情報処理概論Ⅱ		2		
	日本経済論Ａ		2		
	日本経済論Ｂ		2		
	日本政治論Ａ		2		
	日本政治論Ｂ		2		
	憲法Ａ		2		
	憲法Ｂ		2		
	民法総則Ⅰ		2		
	民法総則Ⅱ		2		
	親族・相続法Ａ		2		
	親族・相続法Ｂ		2		
	会計学総論Ⅰ		2		
	会計学総論Ⅱ		2		
	経営学総論Ⅰ		2		
	経営学総論Ⅱ		2		
	経済政策論Ⅰ		2		
	経済政策論Ⅱ		2		
	総合講座Ａ		2		
	総合講座Ｂ		2		
	基礎演習		2		
	国際政治学Ａ		2		
	国際政治学Ｂ		2		
	国際政治史Ａ		2		
	国際政治史Ｂ		2		
	比較政治学Ａ		2		
	比較政治学Ｂ		2		
	外交政策論Ⅰ		2		

第３類（杏林大学学則）

国際政経コース基本科目	外交政策論Ⅱ		2		12科目24単位以上
	世界経済論A		2		
	世界経済論B		2		
	国際貿易論A		2		
	国際貿易論B		2		
	国際金融論A		2		
	国際金融論B		2		
	国際投資論A		2		
	国際投資論B		2		
	経済開発論A		2		
	経済開発論B		2		
	国際法Ⅰ		2		
	国際法Ⅱ		2		
国際政経コース発展科目	地域圏研究①－A		2		16科目32単位以上
	地域圏研究①－B		2		
	地域圏研究②－Ⅰ		2		
	地域圏研究②－Ⅱ		2		
	地域圏研究③－A		2		
	地域圏研究③－B		2		
	地域圏研究④－A		2		
	地域圏研究④－B		2		
	地域圏研究⑤－A		2		
	地域圏研究⑤－B		2		
	国際環境・資源論A		2		
	国際環境・資源論B		2		
	国際協力論A		2		
	国際協力論B		2		
	国際経営論Ⅰ		2		
	国際経営論Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	企業取引法A		2		
	企業取引法B		2		
	国際取引法Ⅰ		2		
	国際取引法Ⅱ		2		

第３類（杏林大学学則）

	税法 I		2		
	税法 II		2		
	現代会社研究 A		2		
	現代会社研究 B		2		
	比較文化論 A		2		
	比較文化論 B		2		
	演習		8		
	卒業研究		4		
経営情報コース基本科目	経営情報論 I		2		12科目 24単位以上
	経営情報論 II		2		
	経営管理総論 I		2		
	経営管理総論 II		2		
	経営組織論 I		2		
	経営組織論 II		2		
	人材開発論 I		2		
	人材開発論 II		2		
	経営史 I		2		
	経営史 II		2		
	国際経営論 I		2		
	国際経営論 II		2		
	マーケティング論 I		2		
	マーケティング論 II		2		
	会計学原理 I		2		
	会計学原理 II		2		
	会計システム論 I		2		
	会計システム論 II		2		
	情報処理論 I		2		
	情報処理論 II		2		
	戦略経営論 I		2		
	戦略経営論 II		2		
	消費者行動論 I		2		
	消費者行動論 II		2		
	財務管理 I		2		
	財務管理 II		2		
	原価計算論 A		2		

第３類（杏林大学学則）

経営情報コース発展科目	原価計算論Ｂ		2		16科目32単位以上
	監査論Ⅰ		2		
	監査論Ⅱ		2		
	システム設計Ⅰ		2		
	システム設計Ⅱ		2		
	産業社会学Ⅰ		2		
	産業社会学Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	企業取引法Ａ		2		
	企業取引法Ｂ		2		
	労働法Ⅰ		2		
	労働法Ⅱ		2		
	税法Ⅰ		2		
	税法Ⅱ		2		
	税法各論Ａ		2		
	税法各論Ｂ		2		
	流通システム論Ａ		2		
	流通システム論Ｂ		2		
	現代会社研究Ａ		2		
	現代会社研究Ｂ		2		
	比較文化論Ａ		2		
	比較文化論Ｂ		2		
	演習		8		
	卒業研究		4		
法律政治コース	物権法Ⅰ		2		12科目24単位以上
	物権法Ⅱ		2		
	債権法Ⅰ		2		
	債権法Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	民事訴訟法Ⅰ		2		
	民事訴訟法Ⅱ		2		
	行政法Ａ		2		
	行政法Ｂ		2		

基本科目	刑法 A		2		
	刑法 B		2		
	現代政治理論 A		2		
	現代政治理論 B		2		
	政治過程論 A		2		
	政治過程論 B		2		
	政治制度論 A		2		
	政治制度論 B		2		
	行政学 A		2		
	行政学 B		2		
	担保法 I		2		
	担保法 II		2		
	企業取引法 A		2		
	企業取引法 B		2		
	国際私法 A		2		
	国際私法 B		2		
	民事執行・保全法 I		2		
	民事執行・保全法 II		2		
	倒産法 I		2		
	倒産法 II		2		
	刑事訴訟法 I		2		
	刑事訴訟法 II		2		
	税法 I		2		
	税法 II		2		
法律政治	労働法 I		2		16科目
コース	労働法 II		2		32単位以上
発展科目	社会福祉法 I		2		
	社会福祉法 II		2		
	法制史 I		2		
	法制史 II		2		
	日本政治史 A		2		
	日本政治史 B		2		
	政策過程論 A		2		
	政策過程論 B		2		
	国際政治学 A		2		

	国際政治学B		2			
	比較政治学A		2			
	比較政治学B		2			
	演習		8			
	卒業研究		4			

2　専門関連科目

授業科目の名称			単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
1類	人文科学分野	宗教学A		2		各分野から各々4科目8単位以上、計24単位以上
		宗教学B		2		
		哲学A		2		
		哲学B		2		
		倫理学A		2		
		倫理学B		2		
		歴史学Ⅰ		2		
		歴史学Ⅱ		2		
		文学A		2		
		文学B		2		
		音楽A		2		
		音楽B		2		
	社会科学分野	社会学Ⅰ		2		
		社会学Ⅱ		2		
		法学A		2		
		法学B（日本国憲法）		2		
		政治学A		2		
		政治学B		2		
		地理学A		2		
		地理学B		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
		数学Ⅰ		2		
		数学Ⅱ		2		
		物理学A		2		

第３類（杏林大学学則）

	自然科学分野	物理学B		2		
		化学A		2		
		化学B		2		
		生物学A		2		
		生物学B		2		
		心理学A		2		
		心理学B		2		
		統計学Ⅰ		2		
		統計学Ⅱ		2		
2類	第1外国語	英語A		2		3科目6単位以上
		英語B		2		
		英語C		2		
		発展英語A		2		
		発展英語B		2		
		発展英語C		2		
	第2外国語	ドイツ語Ⅰ		2		2言語以内3科目6単位以上
		ドイツ語Ⅱ		2		
		ドイツ語Ⅲ		2		
		発展ドイツ語		2		
		フランス語Ⅰ		2		
		フランス語Ⅱ		2		
		フランス語Ⅲ		2		
		発展フランス語		2		
		中国語Ⅰ		2		
		中国語Ⅱ		2		
		中国語Ⅲ		2		
		発展中国語		2		
3類	特別プレゼミナールA			2		1学期間に他科目を履修しない者は必修
	特別プレゼミナールB			2		
4類	体育実技A			1		
	体育実技B			1		
	体育理論			2		
自由科目						

第３類（杏林大学学則）

３－１　教職課程教科に関する科目

（平成 11 年度以前の入学生に適用）

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史Ⅰ			2	
日本史Ⅱ			2	
外国史Ⅰ			2	
外国史Ⅱ			2	
地誌学Ⅰ			2	
地誌学Ⅱ			2	
職業指導Ⅰ			2	
職業指導Ⅱ			2	

３－２　教職課程教科に関する科目

（平成 12 年度入学生から適用）

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史Ⅰ			2	
日本史Ⅱ			2	
外国史Ⅰ			2	
外国史Ⅱ			2	
地誌学Ⅰ			2	
地誌学Ⅱ			2	
職業指導			2	

別表３－２（平成１４年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

１　専門科目

授業科目の名称			単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
共通科目		総合政策論		4		２８単位以上
		国際関係論		2		
		国際情勢分析論		2		
		日本経済論		2		
		金融財政論		2		
		経済政策論		2		
		経営学総論		4		
		会計学総論		4		
		情報処理概論		4		
		憲法		4		
		民法総則		2		
		物権法各論		2		
		契約法		2		
		刑事法概論		2		
		日本政治論		2		
		日本行政論		2		
		社会保障法		4		
		社会福祉法		2		
		社会福祉学		2		
		環境経済学		2		
		地域社会学		2		
		ＩＴ総論		2		
		インターネット情報論		2		
		キャリア開発論		2		
		比較文化論		4		
		基礎演習		2		
	国際政経コース	国際政治学		2		
		国際政治史		2		
		比較政治学		2		
		外交政策論		2		
		安全保障論		2		
		日本外交論		2		
		アメリカ外交論		2		
		中国外交論		2		
		世界経済論		2		
		国際貿易論		2		
		国際金融論		2		
		国際投資論		2		

基本科目		経済開発論		2			
		国際協力論		2			
		資源政策論		2			
		国際経営論		2			
	経営情報コース	経営情報論		2			１コースを選択し、所属コースの科目を20単位以上
		経営情報システム論		2			
		日本経営論		2			
		経営管理論		2			
		経営戦略論		2			
		戦略マネジメント論		2			
		人材マネジメント論		2			
		組織心理学		2			
		ｅコマース論		2			
		マーケティング概論		2			
		会計学原理		2			
		財務会計論		2			
		管理会計論		2			
		会計ディスクロージャー論		2			
		会計監査論		2			
		情報処理論		2			
	法律行政コース	物権法総論		2			
		債権法総論		2			
		不法行為法		2			
		家族法		2			
		相続法		2			
		会社法		2			
		民事訴訟法		4			
		刑法総論		2			
		労働基準法		2			
		行政法		2			
		行政学		2			
		政策過程論		2			
		公共選択論		2			
		政治組織論		2			
		立法過程論		2			
	環境福祉	環境科学		2			
		環境法		2			
		環境アセスメント論		2			
		環境政策論		2			
		社会保障論		4			
		社会福祉政策論		2			
		公的扶助論		2			
		現代家族法論		2			

	コース	医事法		2		
		労働衛生法規		4		
		保健学概論		2		
		人類生態学		2		
		環境保健学		2		
		産業保健学		2		
		国際保健学		2		
発展科目	A群	現代アメリカ政治論		2		３６単位以上
		現代ヨーロッパ政治論		2		
		現代ロシア政治論		2		
		現代中国政治論		2		
		現代東アジア政治論		2		
		現代中東政治論		2		
		国際機構論		2		
		国際紛争処理論		2		
		エネルギー戦略論		2		
	B群	国際マクロ経済学		2		
		日本通商政策論		2		
		アメリカ経済論		2		
		ヨーロッパ経済論		2		
		アジア経済論		2		
		開発政策論		2		
	C群	原価計算論		2		
		監査制度論		2		
		企業取引法		2		
		有価証券法		2		
		電子商取引法		2		
		税法		4		
		税法各論		2		
		税務会計論		2		
	D群	日本経営史		2		
		欧米経営史		2		
		組織行動論		2		
		組織デザイン論		2		
		国際経営戦略論		2		
		マーケティング戦略論		2		
		消費者行動論		2		
		経営分析		2		
		経営財務		2		
		流通システム論		2		
		現代会社研究		2		
		金融法		2		
		担保法		2		
		住宅関係法		2		

E群	民事執行法		2	
	民事保全法		2	
	民事清算法		2	
	民事更生法		2	
	経済刑法		2	
	刑事訴訟法		2	
	労使関係法		2	
	国際私法		2	
	国際法		2	
	国際取引法		2	
F群	現代日本政策論		2	
	行政救済法		2	
	パブリックマネジメント論		2	
	地方政府論		2	
	日本法制史		2	
	日本政治史		2	
	政治心理学		2	
	マスコミュニケーション論		2	
G群	人口学		2	
	産業社会学		2	
	保健社会学		2	
	環境保全論		2	
	環境生物学		2	
	環境衛生工学		2	
H群	地域福祉論		2	
	老人福祉論		2	
	障害者福祉論		4	
	児童福祉論		2	
	社会福祉援助技術総論		4	
	保健管理学		2	
	地域保健学		2	
	高齢保健学		2	
	学校保健学		2	
	カウンセリング論		2	
I群	サイバーポリティクス論		2	
	デジタルエコノミー論		2	
	情報産業論		2	
	コンピュータシステム論		2	
	プログラミング論		2	
	システム設計		2	

		法情報学		2		
		情報社会論		2		
		データ分析論		2		
	研究会	演習		8		
		卒業研究		4		

２　専門関連科目

授業科目の名称			単位数 必修	選択	自由	備考
1類	人文科学分野	宗教学A		2		8単位以上
		宗教学B		2		
		哲学A		2		
		哲学B		2		
		倫理学A		2		
		倫理学B		2		
		歴史学A		2		
		歴史学B		2		
		文学A		2		
		文学B		2		
		音楽A		2		
		音楽B		2		
	社会科学分野	社会学A		2		8単位以上
		社会学B		2		
		法学A		2		
		法学B（日本国憲法）		2		
		政治学A		2		
		政治学B		2		
		地理学A		2		
		地理学B		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
	自然科学分野	数学A		2		8単位以上
		数学B		2		
		統計学A		2		
		統計学B		2		
		物理学A		2		
		物理学B		2		
		化学A		2		
		化学B		2		
		生物学A		2		
		生物学B		2		
		心理学A		2		
		心理学B		2		

第３類（杏林大学学則）

2類	第１外国語	英語A		2		6単位以上
		英語B		2		
		英語C		2		
		発展英語A		2		
		発展英語B		2		
		発展英語C		2		
	第２外国語	ドイツ語A		2		ドイツ語・フランス語・中国語のいずれかを選択し、4単位以上
		ドイツ語B		2		
		発展ドイツ語		2		
		フランス語A		2		
		フランス語B		2		
		発展フランス語		2		
		中国語A		2		
		中国語B		2		
		発展中国語		2		
3類		特別プレゼミナールA		2		1学期間に他科目を履修しない者は必修
		特別プレゼミナールB		2		
4類		体育実技A		1		
		体育実技B		1		
		体育理論		2		
自由科目						

３　教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史Ⅰ			2	
日本史Ⅱ			2	
外国史Ⅰ			2	
外国史Ⅱ			2	
地誌学Ⅰ			2	
地誌学Ⅱ			2	
職業指導			2	

別表３－３（平成１８年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

１　基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	4			
文章力演習	2			
読解力演習	2			
計算力演習	2			
近現代史論	2			
データ分析演習	2			
表現力演習	2			

２　専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論Ⅰ		2		１６単位以上
	国際関係論Ⅱ		2		
	日本政治論Ⅰ		2		
	日本政治論Ⅱ		2		
	憲法Ⅰ		2		
	憲法Ⅱ		2		
	民法総論Ⅰ		2		
	民法総論Ⅱ		2		
	社会福祉学Ⅰ		2		
	社会福祉学Ⅱ		2		
	経済原論Ⅰ		2		
	経済原論Ⅱ		2		
	財政学概論Ⅰ		2		
	財政学概論Ⅱ		2		
	総合政策論Ⅰ		2		
	総合政策論Ⅱ		2		
	国際政治学Ⅰ		2		
	国際政治学Ⅱ		2		

国際政経コース基本科目	比較政治学Ⅰ		2		２４単位以上
	比較政治学Ⅱ		2		
	外交政策論Ⅰ		2		
	外交政策論Ⅱ		2		
	経済政策論Ⅰ		2		
	経済政策論Ⅱ		2		
	国際政治史Ⅰ		2		
	国際政治史Ⅱ		2		
	国際貿易論Ⅰ		2		
	国際貿易論Ⅱ		2		
	国際金融論Ⅰ		2		
	国際金融論Ⅱ		2		
	国際投資論Ⅰ		2		
	国際投資論Ⅱ		2		
	経済開発論Ⅰ		2		
	経済開発論Ⅱ		2		
	国際法Ⅰ		2		
	国際法Ⅱ		2		
	アメリカ政治外交論		2		
	ヨーロッパ政治外交論		2		
	ロシア政治外交論		2		
	中国政治外交論		2		
	中東政治外交論		2		
	エネルギー戦略論		2		
	朝鮮半島政治外交論		2		
	国際資源論		2		
	途上国協力論		2		
	国際機構論		2		
	日本経済論		2		
	世界経済論		2		
	アメリカ経済論		2		
	ヨーロッパ経済論		2		
	アジア経済論		2		
	環境経済学		2		
	環境政策論		2		
	国際企業論Ⅰ		2		

第３類（杏林大学学則）

	国際企業論Ⅱ		2		
国際政経	国際私法		2		
コース	環境法		2		― ４２単位以上
発展科目	国際経営論Ⅰ		2		
	国際経営論Ⅱ		2		
	キャリア開発論		2		
	憲法概論		2		
	民法概論		2		
	政治学概論		2		
	国際関係論演習		2		
	経済原論演習		2		
	憲法演習		2		
	民法演習		2		
	行政法演習		2		
	行政学演習		2		
	政治学演習		2		
	インターンシップⅠ		2		
	インターンシップⅡ		2		
	学際演習Ⅰ		2		
	学際演習Ⅱ		2		
	演習Ⅰ		１２		
	演習Ⅱ		8		
	卒業研究		4		
	公共選択論Ⅰ		2		
	公共選択論Ⅱ		2		
	比較政治学Ⅰ		2		
	比較政治学Ⅱ		2		
	行政学Ⅰ		2		
	行政学Ⅱ		2		
	行政法Ⅰ		2		
	行政法Ⅱ		2		
法律行政	物権法Ⅰ		2		
コース	物権法Ⅱ		2		― ２４単位以上
基本科目	債権法Ⅰ		2		
	債権法Ⅱ		2		
	家族法Ⅰ		2		

	家族法Ⅱ		2		
	刑事法Ⅰ		2		
	刑事法Ⅱ		2		
	労働法Ⅰ		2		
	労働法Ⅱ		2		
	経済政策論Ⅰ		2		
	経済政策論Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	刑法総論		2		
	刑法各論		2		
	民事訴訟法		2		
	刑事訴訟法		2		
	医事法Ⅰ		2		
	医事法Ⅱ		2		
	税法Ⅰ		2		
	税法Ⅱ		2		
	有価証券法		2		
	企業取引法		2		
	現代家族法論		2		
	情報法制		2		
	経済刑法		2		
	国際私法		2		
	国際法Ⅰ		2		
	国際法Ⅱ		2		
	環境法		2		
	年金・労働保険法		2		
	労働衛生法規		2		
	社会保障論Ⅰ		2		
法律行政	社会保障論Ⅱ		2		
コース	日本法制史		2		４２単位以上
発展科目	日本政治史		2		
	政策過程論		2		
	立法過程論		2		
	地方政府論		2		
	キャリア開発論		2		

	憲法概論		2		
	民法概論		2		
	政治学概論		2		
	国際関係論演習		2		
	経済原論演習		2		
	憲法演習		2		
	民法演習		2		
	行政法演習		2		
	行政学演習		2		
	政治学演習		2		
	インターンシップⅠ		2		
	インターンシップⅡ		2		
	学際演習Ⅰ		2		
	学際演習Ⅱ		2		
	演習Ⅰ		12		
	演習Ⅱ		8		
	卒業研究		4		
	社会保障論Ⅰ		2		
	社会保障論Ⅱ		2		
	環境科学概論Ⅰ		2		
	環境科学概論Ⅱ		2		
	人類生態学Ⅰ		2		
	人類生態学Ⅱ		2		
	人体構造機能論Ⅰ		2		
	人体構造機能論Ⅱ		2		
環境福祉	健康福祉システム論Ⅰ		2		
コース	健康福祉システム論Ⅱ		2		― ２４単位以上
基本科目	障害者福祉論Ⅰ		2		
	障害者福祉論Ⅱ		2		
	医療経済学Ⅰ		2		
	医療経済学Ⅱ		2		
	医事法Ⅰ		2		
	医事法Ⅱ		2		
	家族法Ⅰ		2		
	家族法Ⅱ		2		
	労働法Ⅰ		2		

	労働法Ⅱ				
	国際保健学		2		
	環境保健学		2		
	疫学		2		
	カウンセリング論		2		
	社会福祉政策論		2		
	児童福祉論		2		
	老人福祉論		2		
	経済政策論Ⅰ		2		
	経済政策論Ⅱ		2		
	環境経済学		2		
	環境政策論		2		
	環境アセスメント論		2		
	環境保全論		2		
	医療福祉財政論		2		
	社会福祉援助技術総論Ⅰ		2		
	社会福祉援助技術総論Ⅱ		2		
	産業社会学		2		
	地域社会学		2		
環境福祉	環境法		2		
コース	現代家族法論		2		― ４２単位以上
発展科目	年金・労働保険法		2		
	労働衛生法規		2		
	キャリア開発論		2		
	憲法概論		2		
	民法概論		2		
	政治学概論		2		
	国際関係論演習		2		
	経済原論演習		2		
	憲法演習		2		
	民法演習		2		
	行政法演習		2		
	行政学演習		2		
	政治学演習		2		
	インターンシップⅠ		2		
	インターンシップⅡ		2		

		学際演習Ⅰ		2		
		学際演習Ⅱ		2		
		演習Ⅰ		12		
		演習Ⅱ		8		
		卒業研究		4		

3　専門関連科目

授業科目の名称			単位数			備考
			必修	選択	自由	
1類	人文科学分野	宗教学A		2		
		宗教学B		2		
		哲学A		2		
		哲学B		2		
		倫理学A		2		
		倫理学B		2		
		歴史学A		2		
		歴史学B		2		
		文学A		2		
		文学B		2		
		音楽A		2		
		音楽B		2		
	社会科学分野	社会学A		2		
		社会学B		2		
		法学A		2		
		法学B（日本国憲法）		2		
		政治学A		2		
		政治学B		2		
		地理学A		2		
		地理学B		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
	自然科学分野	数学A		2		
		数学B		2		
		統計学A		2		
		統計学B		2		
		物理学A		2		

16単位以上

第３類（杏林大学学則）

		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
2類	第１外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		英語 III	2			
		日本語 A	2			
		日本語 B	2			留学生のみ
		日本語 C	2			
	第２外国語	発展英語 A		2		
		発展英語 B		2		
		発展英語 C		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		最大６単位まで発展科目に繰り入れる
		フランス語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		韓国語 A		2		
		韓国語 B		2		
3類		特別プレゼミナールA		2		
		特別プレゼミナールB		2		
4類		体育実技 A		1		
		体育実技 B		1		
		体育理論		2		
自由科目						

4　教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史Ⅰ			2	
日本史Ⅱ			2	
外国史Ⅰ			2	
外国史Ⅱ			2	
地誌学Ⅰ			2	
地誌学Ⅱ			2	

企業経営学科

1　基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	4			
文章力演習	2			
読解力演習	2			
計算力演習	2			
近現代史論	2			
データ分析演習	2			
表現力演習	2			

2　専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	経営学総論Ⅰ		2		１６単位以上
	経営学総論Ⅱ		2		
	会計学総論Ⅰ		2		
	会計学総論Ⅱ		2		
	情報処理概論Ⅰ		2		
	情報処理概論Ⅱ		2		
	マーケティング総論Ⅰ		2		
	マーケティング総論Ⅱ		2		
	経営情報論Ⅰ		2		

	経営情報論Ⅱ		2		
	総合政策論Ⅰ		2		
	総合政策論Ⅱ		2		
経営戦略コース基本科目	経営管理総論Ⅰ		2		２４単位以上
	経営管理総論Ⅱ		2		
	経営戦略論Ⅰ		2		
	経営戦略論Ⅱ		2		
	人材マネジメント論Ⅰ		2		
	人材マネジメント論Ⅱ		2		
	経営史Ⅰ		2		
	経営史Ⅱ		2		
	経営組織論Ⅰ		2		
	経営組織論Ⅱ		2		
	国際経営論Ⅰ		2		
	国際経営論Ⅱ		2		
	財務管理Ⅰ		2		
	財務管理Ⅱ		2		
	流通システム論Ⅰ		2		
	流通システム論Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	労働法Ⅰ		2		
	労働法Ⅱ		2		
	キャリア開発論		2		
	地域社会学		2		
	産業社会学		2		
	情報処理論Ⅰ		2		
	情報処理論Ⅱ		2		
	システム設計Ⅰ		2		
	システム設計Ⅱ		2		
	簿記論Ⅰ		2		
	簿記論Ⅱ		2		
	株式会社簿記論Ⅰ		2		
	株式会社簿記論Ⅱ		2		
	財務会計論Ⅰ		2		
	財務会計論Ⅱ		2		

	財務会計各論Ⅰ		2		
	財務会計各論Ⅱ		2		
	税法Ⅰ		2		
	税法Ⅱ		2		
	税法各論Ⅰ		2		
	税法各論Ⅱ		2		
	財政学概論Ⅰ		2		
	財政学概論Ⅱ		2		
	国際関係論Ⅰ		2		
	国際関係論Ⅱ		2		
	世界経済論		2		
	国際貿易論Ⅰ		2		
	国際貿易論Ⅱ		2		
経営戦略	国際金融論Ⅰ		2		
コース	国際金融論Ⅱ		2		― ４２単位以上
発展科目	国際投資論Ⅰ		2		
	国際投資論Ⅱ		2		
	国際企業論Ⅰ		2		
	国際企業論Ⅱ		2		
	環境経済学		2		
	環境政策論		2		
	憲法Ⅰ		2		
	憲法Ⅱ		2		
	民法総論Ⅰ		2		
	民法総論Ⅱ		2		
	物権法Ⅰ		2		
	物権法Ⅱ		2		
	債権法Ⅰ		2		
	債権法Ⅱ		2		
	有価証券法		2		
	企業取引法		2		
	国際法Ⅰ		2		
	国際法Ⅱ		2		
	経済刑法		2		
	社会保障論Ⅰ		2		
	社会保障論Ⅱ		2		

	経済政策論Ⅰ		2		
	経済政策論Ⅱ		2		
	経済原論Ⅰ		2		
	経済原論Ⅱ		2		
	憲法概論		2		
	民法概論		2		
	政治学概論		2		
	国際関係論演習		2		
	経済原論演習		2		
	憲法演習		2		
	民法演習		2		
	行政法演習		2		
	行政学演習		2		
	政治学演習		2		
	インターンシップⅠ		2		
	インターンシップⅡ		2		
	学際演習Ⅰ		2		
	学際演習Ⅱ		2		
	演習Ⅰ		12		
	演習Ⅱ		8		
	卒業研究		4		
	簿記論Ⅰ		2		
	簿記論Ⅱ		2		
	株式会社簿記論Ⅰ		2		
	株式会社簿記論Ⅱ		2		
	財務会計論Ⅰ		2		
	財務会計論Ⅱ		2		
	財務会計各論Ⅰ		2		
	財務会計各論Ⅱ		2		
経営会計	税法Ⅰ		2		
コース	税法Ⅱ		2		― 24単位以上
基本科目	税法各論Ⅰ		2		
	税法各論Ⅱ		2		
	情報処理論Ⅰ		2		
	情報処理論Ⅱ		2		
	システム設計Ⅰ		2		

	システム設計Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	労働法Ⅰ		2		
	労働法Ⅱ		2		
	管理会計論		2		
	会計監査論		2		
	経営管理総論Ⅰ		2		
	経営管理総論Ⅱ		2		
	経営戦略論Ⅰ		2		
	経営戦略論Ⅱ		2		
	人材マネジメント論Ⅰ		2		
	人材マネジメント論Ⅱ		2		
	経営史Ⅰ		2		
	経営史Ⅱ		2		
	財務管理Ⅰ		2		
	財務管理Ⅱ		2		
	経営組織論Ⅰ		2		
	経営組織論Ⅱ		2		
	国際経営論Ⅰ		2		
	国際経営論Ⅱ		2		
	流通システム論Ⅰ		2		
	流通システム論Ⅱ		2		
	地域社会学		2		
	産業社会学		2		
	キャリア開発論		2		
	財政学概論Ⅰ		2		
	財政学概論Ⅱ		2		
	国際関係論Ⅰ		2		
	国際関係論Ⅱ		2		
	世界経済論		2		
	国際貿易論Ⅰ		2		
	国際貿易論Ⅱ		2		
	国際金融論Ⅰ		2		
	国際金融論Ⅱ		2		
	国際投資論Ⅰ		2		

	国際投資論Ⅱ		2			
	国際企業論Ⅰ		2			
	国際企業論Ⅱ		2			
	環境経済学		2			
経営会計	環境政策論		2			
コース	憲法Ⅰ		2			― ４２単位以上
発展科目	憲法Ⅱ		2			
	民法総論Ⅰ		2			
	民法総論Ⅱ		2			
	物権法Ⅰ		2			
	物権法Ⅱ		2			
	債権法Ⅰ		2			
	債権法Ⅱ		2			
	有価証券法		2			
	企業取引法		2			
	国際法Ⅰ		2			
	国際法Ⅱ		2			
	経済刑法		2			
	社会保障論Ⅰ		2			
	社会保障論Ⅱ		2			
	経済政策論Ⅰ		2			
	経済政策論Ⅱ		2			
	経済原論Ⅰ		2			
	経済原論Ⅱ		2			
	憲法概論		2			
	民法概論		2			
	政治学概論		2			
	国際関係論演習		2			
	経済原論演習		2			
	憲法演習		2			
	民法演習		2			
	行政法演習		2			
	行政学演習		2			
	政治学演習		2			
	インターンシップⅠ		2			
	インターンシップⅡ		2			

	学際演習Ⅰ		2		
	学際演習Ⅱ		2		
	演習Ⅰ		12		
	演習Ⅱ		8		
	卒業研究		4		

3　専門関連科目

授業科目の名称			単位数			備考
			必修	選択	自由	
1類	人文科学分野	宗教学A		2		16単位以上
		宗教学B		2		
		哲学A		2		
		哲学B		2		
		倫理学A		2		
		倫理学B		2		
		歴史学A		2		
		歴史学B		2		
		文学A		2		
		文学B		2		
		音楽A		2		
		音楽B		2		
	社会科学分野	社会学A		2		
		社会学B		2		
		法学A		2		
		法学B（日本国憲法）		2		
		政治学A		2		
		政治学B		2		
		地理学A		2		
		地理学B		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
	自然科学分野	数学A		2		
		数学B		2		
		統計学A		2		
		統計学B		2		
		物理学A		2		

第３類（杏林大学学則）

		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
2類	第１外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		英語 III	2			
		日本語 A	2			留学生のみ
		日本語 B	2			
		日本語 C	2			
	第２外国語	発展英語 A		2		最大６単位まで発展科目に繰り入れる
		発展英語 B		2		
		発展英語 C		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		韓国語 A		2		
		韓国語 B		2		
3類		特別プレゼミナールA		2		
		特別プレゼミナールB		2		
4類		体育実技 A		1		
		体育実技 B		1		
		体育理論		2		
自由科目						

４　教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史Ⅰ			2	
日本史Ⅱ			2	
外国史Ⅰ			2	
外国史Ⅱ			2	
地誌学Ⅰ			2	
地誌学Ⅱ			2	
職業指導			2	

別表４－１

外国語学部学科目構成

授業科目の名称			単位数 必修	単位数 選択	備考
専門外国語科目	英語	Ⅰ－1		1	英語又は中国語（留学生は日本語）選択必修１４単位
	英語	Ⅰ－2		1	
	英語	Ⅱ－1		1	
	英語	Ⅱ－2		1	
	英語	Ⅲ－1		1	
	英語	Ⅲ－2		1	
	英語	Ⅳ－1		1	
	英語	Ⅳ－2		1	
	英語会話	Ⅰ－1		1	
	英語会話	Ⅰ－2		1	
	英語会話	Ⅱ－1		1	
	英語会話	Ⅱ－2		1	
	英語会話	Ⅲ－1		1	
	英語会話	Ⅲ－2		1	
	中国語基礎	—1		1	
	中国語基礎	—2		1	
	中国語基礎	—3		1	
	中国語基礎	—4		1	
	中国語基礎	—5		1	
	中国語基礎	—6		1	
	中国語基礎	—7		1	
	中国語基礎	—8		1	
	中国語基礎	—9		1	
	中国語基礎	—10		1	
	中国語基礎	—11		1	
	中国語基礎	—12		1	
	中国語基礎	—13		1	
	中国語基礎	—14		1	
	日本語	Ⅰ－1		1	
	日本語	Ⅰ－2		1	
	日本語	Ⅱ－1		1	
	日本語	Ⅱ－2		1	
	日本語	Ⅲ－1		1	
	日本語	Ⅲ－2		1	
	日本語	Ⅳ－1		1	
	日本語	Ⅳ－2		1	
	日本語	Ⅴ－1		1	
	日本語	Ⅴ－2		1	
	日本語	Ⅵ－1		1	

	日本語Ⅵ－2		1	
	日本語Ⅶ－1		1	
	日本語Ⅶ－2		1	
	日本語表現法一1	2		
	日本語表現法一2	2		
専	現代日本社会特論一1	2		必修１６単位
門	現代日本社会特論一2	2		
科	言語学一1		2	
目	言語学一2		2	
A	対照言語学一1		2	
	対照言語学一2		2	
	社会言語学一1		2	
	社会言語学一2		2	
	言語と文化一1		2	
	言語と文化一2		2	
	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
	比較文化論Ⅱ－1		2	
	比較文化論Ⅱ－2		2	
	情報処理基礎Ⅰ－1	1		
	情報処理基礎Ⅰ－2	1		
	情報処理基礎Ⅱ－1		1	
	情報処理基礎Ⅱ－2		1	
	情報処理基礎Ⅲ－1		1	
	情報処理基礎Ⅲ－2		1	
	情報処理Ⅰ－1		1	
	情報処理Ⅰ－2		1	
	情報処理Ⅱ－1		1	
	情報処理Ⅱ－2		1	
	情報処理概論－1		2	
	情報処理概論－2		2	
	情報産業論一1		2	
	情報産業論一2		2	
	ゼミナールー1	2		
	ゼミナールー2	2		
	ゼミナールー3	2		
	卒業論文		4	
	英語発音聴取一1		1	
	英語発音聴取一2		1	
専	実用英語演習Ⅰ－1		1	
門	実用英語演習Ⅰ－2		1	
科	実用英語演習Ⅱ－1		1	
目	実用英語演習Ⅱ－2		1	
B	実用英語演習Ⅲ－1		1	

	実用英語演習Ⅲ－２		1	
	現代英語講読Ⅰ－１		1	
	現代英語講読Ⅰ－２		1	
	現代英語講読Ⅱ－１		1	
	現代英語講読Ⅱ－２		1	
	現代英語講読Ⅲ－１		1	
	現代英語講読Ⅲ－２		1	
	英語作文Ⅰ－１		1	
	英語作文Ⅰ－２		1	
	英語作文Ⅱ－１		1	
	英語作文Ⅱ－２		1	
	英語聴解・討論Ⅰ－１		1	
	英語聴解・討論Ⅰ－２		1	
	英語聴解・討論Ⅱ－１		1	
	英語聴解・討論Ⅱ－２		1	
	英語特論Ⅰ－１		1	
	英語特論Ⅰ－２		1	
	英語特論Ⅱ－１		1	
	英語特論Ⅱ－２		1	
	口語英語Ⅰ		2	
	口語英語Ⅱ		2	
	英語総合講座―１		2	
	英語総合講座―２		2	
	英語文法―１		2	
	英語文法―２		2	
	英語文章表現法―１		2	
	英語文章表現法―２		2	
	英語学―１		2	
	英語学―２		2	
	英語学特論―１		2	
	英語学特論―２		2	
	英語史―１		2	
	英語史―２		2	
	英語音声学―１		2	
	英語音声学―２		2	
	英語音声学特論－１		2	
	英語音声学特論－２		2	
	英米文学概論―１		2	
	英米文学概論―２		2	
	英米文学特論Ⅰ―１		2	
	英米文学特論Ⅰ―２		2	
	英米文学特論Ⅱ―１		2	
	英米文学特論Ⅱ―２		2	
	英米文学史―１		2	

	英米文学史―2		2	
	イギリス史―1		2	
	イギリス史―2		2	
	アメリカ史―1		2	
	アメリカ史―2		2	
	時事英語―1		2	
	時事英語―2		2	
	実務英語―1		2	
	実務英語―2		2	
	商業英語―1		2	
	商業英語―2		2	
	英米大衆文化論―1		2	
	英米大衆文化論―2		2	
	英語教育論―1		2	
	英語教育論―2		2	
専門科目C	中国語中級―1		1	
	中国語中級―2		1	
	中国語中級―3		1	
	中国語中級―4		1	
	中国語上級―1		1	
	中国語上級―2		1	
	中国語上級―3		1	
	中国語上級―4		1	
	中国語演習Ⅰ―1		1	
	中国語演習Ⅰ―2		1	
	中国語演習Ⅱ―1		1	
	中国語演習Ⅱ―2		1	
	中国語演習Ⅲ―1		1	
	中国語演習Ⅲ―2		1	
	中国語演習Ⅳ―1		1	
	中国語演習Ⅳ―2		1	
	中国語演習Ⅴ―1		1	
	中国語演習Ⅴ―2		1	
	中国語演習Ⅵ―1		1	
	中国語演習Ⅵ―2		1	
	中国語文章表現法―1		2	
	中国語文章表現法―2		2	
	中国語学概論―1		2	
	中国語学概論―2		2	
	中国語学特論―1		2	
	中国語学特論―2		2	
	中国語音声学―1		2	
	中国語音声学―2		2	
	中国語文学概論―1		2	

	中国語文学概論―2		2	
	中国語文学特論―1		2	
	中国語文学特論―2		2	
	中国語現代文学―1		2	
	中国語現代文学―2		2	
	中国語文学史―1		2	
	中国語文学史―2		2	
	中国古典概説―1		2	
	中国古典概説―2		2	
	中国史―1		2	
	中国史―2		2	
	中国思想史―1		2	
	中国思想史―2		2	
	時事中国語―1		2	
	時事中国語―2		2	
	商業中国語―1		2	
	商業中国語―2		2	
	中国語翻訳法―1		2	
	中国語翻訳法―2		2	
	中国語通訳法―1		2	
	中国語通訳法―2		2	
	日本語学概論―1		2	
	日本語学概論―2		2	
専	日本語文字・表記概説		2	
門	日本語音声学―1		2	
科	日本語音声学―2		2	
目	日本語語彙論		2	
D	日本語文法論―1		2	
	日本語文法論―2		2	
	日本語意味論		2	
	日本語史―1		2	
	日本語史―2		2	
	日本人の言語行動―1		2	
	日本人の言語行動―2		2	
	ビジネス日本語Ⅰ―1		2	
	ビジネス日本語Ⅰ―2		2	
	ビジネス日本語Ⅱ―1		2	
	ビジネス日本語Ⅱ―2		2	
	日本史―1		2	
	日本史―2		2	
	日本文化論―1		2	
	日本文化論―2		2	
	日本語教育教材・教具論		2	
	日本語教授法概論―1		2	

	日本語教授法概論－２		2	
	日本語教授法演習－１		2	
	日本語教授法演習－２		2	
	日本語教育実習Ⅰ		2	
	日本語教育実習Ⅱ		2	
	日本語教育概説－１		2	
	日本語教育概説－２		2	
	日本文学概論－１		2	
	日本文学概論－２		2	
	日本文学特論－１		2	
	日本文学特論－２		2	
	日本文学史－１		2	
	日本文学史－２		2	
	漢文学－１		2	
	漢文学－２		2	
	書道－１		2	
	書道－２		2	
専門科目E	地域圏研究Ⅰ－１		2	
	地域圏研究Ⅰ－２		2	
	地域圏研究Ⅱ－１		2	
	地域圏研究Ⅱ－２		2	
	地域圏研究Ⅲ－１		2	
	地域圏研究Ⅲ－２		2	
	地域圏研究Ⅳ－１		2	
	地域圏研究Ⅳ－２		2	
	地域圏研究Ⅴ－１		2	
	地域圏研究Ⅴ－２		2	
	地域圏研究Ⅵ－１		2	
	地域圏研究Ⅵ－２		2	
	中国政治経済－１		2	
	中国政治経済－２		2	
	西洋史－１		2	
	西洋史－２		2	
	アメリカ社会論－１		2	
	アメリカ社会論－２		2	
	国際関係論－１		2	
	国際関係論－２		2	
	外交政策論－１		2	
	外交政策論－２		2	
	国際観光概論－１		2	
	国際観光概論－２		2	
	サービス産業論－１		2	
	サービス産業論－２		2	
	ホスピタリティ論		2	

	インターンシップⅠ		2	
	インターンシップⅡ		2	
	観光業務論Ⅰ		2	
	観光業務論Ⅱ－1		2	
	観光業務論Ⅱ－2		2	
	観光業務論Ⅲ		2	
	観光業務論Ⅳ－Ⅰ		2	
	観光業務論Ⅳ－2		2	
	観光地理		2	
専門関連科目A	フランス語Ⅰ－1		1	１言語以上選択で必修６単位。ただし、専門外国語科目で代替することができる。
	フランス語Ⅰ－2		1	
	フランス語Ⅱ－1		1	
	フランス語Ⅱ－2		1	
	フランス語Ⅲ－1		1	
	フランス語Ⅲ－2		1	
	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	スペイン語Ⅰ－1		1	
	スペイン語Ⅰ－2		1	
	スペイン語Ⅱ－1		1	
	スペイン語Ⅱ－2		1	
	スペイン語Ⅲ－1		1	
	スペイン語Ⅲ－2		1	
	インドネシア語Ⅰ－1		1	
	インドネシア語Ⅰ－2		1	
	インドネシア語Ⅱ－1		1	
	インドネシア語Ⅱ－2		1	
	インドネシア語Ⅲ－1		1	
	インドネシア語Ⅲ－2		1	
	韓国語Ⅰ－1		1	
	韓国語Ⅰ－2		1	
	韓国語Ⅱ－1		1	
	韓国語Ⅱ－2		1	
	韓国語Ⅲ－1		1	
	韓国語Ⅲ－2		1	
	実用英語Ⅰ－1		1	
	実用英語Ⅰ－2		1	実用英語は留学生のみ履修可
	実用英語Ⅱ－1		1	
	実用英語Ⅱ－2		1	
	実用英語Ⅲ－1		1	

	実用英語Ⅲ－２		1	
専門関連科目B	哲学－１		2	
	哲学－２		2	
	宗教学－１		2	
	宗教学－２		2	
	歴史学－１		2	
	歴史学－２		2	
	文学－１		2	
	文学－２		2	
	音学－１		2	
	音学－２		2	
	民俗学－１		2	
	民俗学－２		2	
	社会学－１		2	
	社会学－２		2	
	日本国憲法		2	
	法学		2	
	政治学－１		2	
	政治学－２		2	
	地理学－１		2	
	地理学－２		2	
	経済学－１		2	
	経済学－２		2	
	数学－１		2	
	数学－２		2	
	物理学－１		2	
	物理学－２		2	
	化学－１		2	
	化学－２		2	
	生物学－１		2	
	生物学－２		2	
	心理学－１		2	
	心理学－２		2	
	統計学－１		2	
	統計学－２		2	
	ボランティア活動		2	
	体育理論		2	
	体育実技－１		1	
	体育実技－２		1	
	教育原理		2	
	教育社会学		2	
	教育測定評価法		2	
	教育工学		2	
	教育心理学		2	

	英語科教育法 中国語科教育法 国語科教育法		2 2 2	
専科目 関C連	他学部の設置科目			
自科目				

別表４－２（平成１８年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	備考
	英語 I － 1	1		英語及び中国語(留学生は日本語から８単位選択)必修１６単位
	英語 I － 2	1		
専	英語 II － 1	1		
門	英語 II － 2	1		
外	英語 III － 1	1		
国	英語 III － 2	1		
語	英語 IV － 1	1		
科	英語 IV － 2	1		
目	中国語 I － 1	1		
	中国語 I － 2	1		
	中国語 II － 1	1		
	中国語 II － 2	1		
	中国語 III － 1	1		
	中国語 III － 2	1		
	中国語 IV － 1	1		
	中国語 IV － 2	1		
	日本語 I － 1		1	
	日本語 I － 2		1	
	日本語 II － 1		1	
	日本語 II － 2		1	
	日本語 III － 1		1	
	日本語 III － 2		1	
	日本語 IV － 1		1	
	日本語 IV － 2		1	
	日本語 V － 1		1	
	日本語 V － 2		1	
	日本語 VI － 1		1	
	日本語 VI － 2		1	
	日本語 VII － 1		1	

	日本語Ⅶ－２		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－１		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－２		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－１		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－２		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－１		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－２		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－１		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－２		1	
	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
専	日米関係史概論		2	
門	ヨーロッパの社会と文化		2	
科	現代英語講読Ⅰ－１	1		
目	現代英語講読Ⅰ－２	1		
A	現代英語講読Ⅱ－１		1	
	現代英語講読Ⅱ－２		1	
	英語文章表現法－１		1	
	英語文章表現法－２		1	
	英語聴解・討論－１		1	
	英語聴解・討論－２		1	
	実用英語演習Ⅰ	1		
	実用英語演習Ⅱ	1		
	実用英語演習Ⅲ	1		
	実用英語演習Ⅳ	1		
	マルチメディア・イングリッシュ	1		
	ゼミナール－１	2		
	ゼミナール－２	2		
	ゼミナール－３	2		
	卒業論文・課題指導		4	
	国際コミュニケーション論－１	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論－２	2		
専	英米文化論－１		2	
門	英米文化論－２		2	
科	アメリカ近現代史概説－１		2	

目	アメリカ近現代史概説－２		2	
B	ヨーロッパ近現代史概説－１		2	
	ヨーロッパ近現代史概説－２		2	
	グローバルビジネス論－１	2		
	グローバルビジネス論－２	2		
	現代北米ビジネス事情－１	2		
	現代北米ビジネス事情－２	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情－１	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情－２	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論Ⅰ		2	
	経営管理総論Ⅱ		2	
	人材マネジメント論Ⅰ		2	
	人材マネジメント論Ⅱ		2	
	マーケティング総論Ⅰ		2	
	マーケティング総論Ⅱ		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1		
	ビジネスイングリッシュⅡ	1		
	ビジネスイングリッシュⅢ	1		
	ビジネスイングリッシュⅣ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		1	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅲ		1	
	ビジネス情報処理演習Ⅰ	1		
	ビジネス情報処理演習Ⅱ		1	
	ビジネス情報処理演習Ⅲ		1	
	英語学－１	2		英語教育コース
	英語学－２	2		
専	英語音声学－１	2		
門	英語音声学－２	2		
科	英語史－１		2	
目	英語史－２		2	

C	英語学特論－1		2	
	英語学特論－2		2	
	英語音声学特論－1	2		
	英語音声学特論－2	2		
	英語教育論－1	2		
	英語教育論－2	2		
	児童英語教育論		2	
	英米文学		2	
	児童文学論		2	
	社会言語学－1		2	
	社会言語学－2		2	
	対照言語学－1		2	
	対照言語学－2		2	
	認知言語学－1		2	
	認知言語学－2		2	
	言語獲得のメカニズム－1		2	
	言語獲得のメカニズム－2		2	
	バイリンガル教育論－1		2	
	バイリンガル教育論－2		2	
	英語発音聴取	1		
	英語会話	1		
	英語作文	1		
	英語文法	1		
	児童英語教育教材研究		1	
	児童英語教育実習		1	
	社会人英語教育法－1		1	
	社会人英語教育法－2		1	
	英語科教育法－1		2	
	英語科教育法－2		2	
	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
専	比較文化論Ⅱ－1		2	
門	比較文化論Ⅱ－2		2	
関	アメリカ社会論－1		2	
連	アメリカ社会論－2		2	

科	中国事情		2	
目	韓国事情		2	
A	地域圏研究Ⅰ－1		2	
	地域圏研究Ⅰ－2		2	
	地域圏研究Ⅱ－1		2	
	地域圏研究Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅲ－1		2	
	地域圏研究Ⅲ－2		2	
	地域圏研究Ⅳ－1		2	
	地域圏研究Ⅳ－2		2	
	地域圏研究Ⅴ－1		2	
	地域圏研究Ⅴ－2		2	
	地域圏研究Ⅵ－1		2	
	地域圏研究Ⅵ－2		2	
	国際関係論Ⅰ		2	
	国際関係論Ⅱ		2	
	経済原論Ⅰ		2	
	経済原論Ⅱ		2	
	西洋史－1		2	
	西洋史－2		2	
	中国史－1		2	
	中国史－2		2	
	日本史－1		2	
	日本史－2		2	
	言語学－1		2	
	言語学－2		2	
	言語と文化－1		2	
	言語と文化－2		2	
	日中文化交流史－1		2	
	日中文化交流史－2		2	
	日韓文化交流史－1		2	
	日韓文化交流史－2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－1		2	

	クリエイティブ・コミュニケーション論－２		2	
	英語総合講座－１		2	
	英語総合講座－２		2	
	英語特論－１		2	
	英語特論－２		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導Ⅰ－１	1		
	キャリア指導Ⅰ－２	1		
	キャリア指導Ⅱ－１	1		
	キャリア指導Ⅱ－２	1		
	ホスピタリティ実習－１	1		
	ホスピタリティ実習－２	1		
	インターンシップⅠ		1	インターンシップⅠ～Ⅳのうち１科目選択必修
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
	ドイツ語Ⅰ－１		1	
	ドイツ語Ⅰ－２		1	
専	ドイツ語Ⅱ－１		1	
門	ドイツ語Ⅱ－２		1	
関	ドイツ語Ⅲ－１		1	
連	ドイツ語Ⅲ－２		1	
科	フランス語Ⅰ－１		1	
目	フランス語Ⅰ－２		1	
B	フランス語Ⅱ－１		1	
	フランス語Ⅱ－２		1	
	フランス語Ⅲ－１		1	
	フランス語Ⅲ－２		1	
	スペイン語Ⅰ－１		1	
	スペイン語Ⅰ－２		1	
	スペイン語Ⅱ－１		1	
	スペイン語Ⅱ－２		1	
	スペイン語Ⅲ－１		1	
	スペイン語Ⅲ－２		1	
	インドネシア語Ⅰ－１		1	

	インドネシア語Ⅰ－２		1	
	インドネシア語Ⅱ－１		1	
	インドネシア語Ⅱ－２		1	
	インドネシア語Ⅲ－１		1	
	インドネシア語Ⅲ－２		1	
	韓国語Ⅰ－１		1	
	韓国語Ⅰ－２		1	
	韓国語Ⅱ－１		1	
	韓国語Ⅱ－２		1	
	韓国語Ⅲ－１		1	
	韓国語Ⅲ－２		1	
	情報英語Ⅰ		1	
	情報英語Ⅱ		1	
	情報中国語Ⅰ		1	
	情報中国語Ⅱ		1	
	情報日本語		1	
	口語英語		2	
	中国語演習Ⅰ－１		2	
	中国語演習Ⅰ－２		2	
	中国語演習Ⅱ－１		2	
	中国語演習Ⅱ－２		2	
	哲学－１		2	
	哲学－２		2	
専	宗教学－１		2	
門	宗教学－２		2	
関	歴史学－１		2	
連	歴史学－２		2	
科	文学－１		2	
目	文学－２		2	
C	音楽－１		2	
	音楽－２		2	
	日本国憲法		2	
	法学		2	
	政治学－１		2	
	政治学－２		2	

	地理学－1		2	
	地理学－2		2	
	経済学－1		2	
	経済学－2		2	
	数学－1		2	
	数学－2		2	
	物理学－1		2	
	物理学－2		2	
	化学－1		2	
	化学－2		2	
	生物学－1		2	
	生物学－2		2	
	心理学－1		2	
	心理学－2		2	
	統計学－1		2	
	統計学－2		2	
	情報処理		2	
	体育理論		1	
	体育実技－1		1	
	体育実技－2		1	
専門関連科目 D	他学部の設置科目			
自由科目				

東アジア言語学科

授業科目の名称		単位数		備考
		必修	選択	
専門外	英語Ⅰ－1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から８単位選択）必修１６単位
	英語Ⅰ－2	1		
	英語Ⅱ－1	1		
	英語Ⅱ－2	1		
	英語Ⅲ－1	1		

国	英語Ⅲ－2	1		
語	英語Ⅳ－1	1		
科	英語Ⅳ－2	1		
目	中国語Ⅰ－1	1		
	中国語Ⅰ－2	1		
	中国語Ⅱ－1	1		
	中国語Ⅱ－2	1		
	中国語Ⅲ－1	1		
	中国語Ⅲ－2	1		
	中国語Ⅳ－1	1		
	中国語Ⅳ－2	1		
	日本語Ⅰ－1		1	
	日本語Ⅰ－2		1	
	日本語Ⅱ－1		1	
	日本語Ⅱ－2		1	
	日本語Ⅲ－1		1	
	日本語Ⅲ－2		1	
	日本語Ⅳ－1		1	
	日本語Ⅳ－2		1	
	日本語Ⅴ－1		1	
	日本語Ⅴ－2		1	
	日本語Ⅵ－1		1	
	日本語Ⅵ－2		1	
	日本語Ⅶ－1		1	
	日本語Ⅶ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－2		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修
	インテンシブ中国語Ⅲ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－2		1	
	日本文化論	2		
	異文化交流の実際	2		

専	民俗学		2	
門	東アジア対照言語学－１		2	
科	東アジア対照言語学－２		2	
目	朝鮮半島政治外交論		2	
A	実務英語－１	1		
	実務英語－２	1		
	交渉英語－１	1		
	交渉英語－２	1		
	ゼミナール－１	2		
	ゼミナール－２	2		
	ゼミナール－３	2		
	卒業論文・課題指導		4	
	日本語教育概説－１	2		日本語教育学コース
	日本語教育概説－２	2		
専	日本語教授法概論－１	2		
門	日本語教授法概論－２	2		
科	日本語学概論－１	2		
目	日本語学概論－２	2		
B	日本語音声学－１		2	
	日本語音声学－２		2	
	日本語文法論－１		2	
	日本語文法論－２		2	
	日本語意味論－１		2	
	日本語意味論－２		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学－１		2	
	社会言語学－２		2	
	対照言語学－１		2	
	対照言語学－２		2	

	認知言語学－１		2	
	認知言語学－２		2	
	言語獲得のメカニズム－１		2	
	言語獲得のメカニズム－２		2	
	バイリンガル教育論－１		2	
	バイリンガル教育論－２		2	
	日本語教授法演習－１		1	
	日本語教授法演習－２		1	
	日本語教育実習Ⅰ－１		1	
	日本語教育実習Ⅰ－２		1	
	日本語教育実習Ⅱ－１		1	
	日本語教育実習Ⅱ－２		1	
	日本語学演習－１	1		
	日本語学演習－２	1		
	日本語教育演習－１	1		
	日本語教育演習－２	1		
	中国語学概論－１	2		中国語ビジネスコミュニケーションコース
	中国語学概論－２	2		
専	中国人のコミュニケーションスタイル－１		2	
門	中国人のコミュニケーションスタイル－２		2	
科	中国語音声学－１		2	
目	中国語音声学－２		2	
C	中国語翻訳法－１		2	
	中国語翻訳法－２		2	
	中国語通訳法－１		2	
	中国語通訳法－２		2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史		2	
	中国文学史		2	
	中国古典概説		2	
	日中比較文化概論		2	
	中国経済概論－１	2		
	中国経済概論－２	2		
	現代中国ビジネス事情		2	
	日中貿易論		2	

	アジア経済論		2	
	中国近現代史－1		2	
	中国近現代史－2		2	
	中国政治外交論		2	
	実用中国語演習Ⅰ		1	
	実用中国語演習Ⅱ		1	
	中国語文章表現法－1		1	
	中国語文章表現法－2		1	
	中国語聴解・討論－1		1	
	中国語聴解・討論－2		1	
	時事中国語Ⅰ－1		1	
	時事中国語Ⅰ－2		1	
	貿易中国語－1		1	
	貿易中国語－2		1	
	中国語ビジネス会話－1	1		
	中国語ビジネス会話－2	1		
	中国語情報処理－1	1		
	中国語情報処理－2	1		
	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
専	比較文化論Ⅱ－1		2	
門	比較文化論Ⅱ－2		2	
関	アメリカ社会論－1		2	
連	アメリカ社会論－2		2	
科	中国事情		2	
目	韓国事情		2	
A	地域圏研究Ⅰ－1		2	
	地域圏研究Ⅰ－2		2	
	地域圏研究Ⅱ－1		2	
	地域圏研究Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅲ－1		2	
	地域圏研究Ⅲ－2		2	
	地域圏研究Ⅳ－1		2	
	地域圏研究Ⅳ－2		2	
	地域圏研究Ⅴ－1		2	

	地域圏研究Ⅴ－２		2	
	地域圏研究Ⅵ－１		2	
	地域圏研究Ⅵ－２		2	
	国際関係論Ⅰ		2	
	国際関係論Ⅱ		2	
	経済原論Ⅰ		2	
	経済原論Ⅱ		2	
	西洋史－１		2	
	西洋史－２		2	
	中国史－１		2	
	中国史－２		2	
	日本史－１		2	
	日本史－２		2	
	言語学－１		2	
	言語学－２		2	
	言語と文化－１		2	
	言語と文化－２		2	
	日中文化交流史－１		2	
	日中文化交流史－２		2	
	日韓文化交流史－１		2	
	日韓文化交流史－２		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－１		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－２		2	
	英語総合講座－１		2	
	英語総合講座－２		2	
	英語特論－１		2	
	英語特論－２		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導Ⅰ－１	1		
	キャリア指導Ⅰ－２	1		
	キャリア指導Ⅱ－１	1		
	キャリア指導Ⅱ－２	1		
	ホスピタリティ実習－１	1		

	ホスピタリティ実習－２	1		
	インターンシップⅠ		1	インターンシップⅠ～Ⅳのうち１科目選択必修
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
	ドイツ語Ⅰ－１		1	
	ドイツ語Ⅰ－２		1	
専	ドイツ語Ⅱ－１		1	
門	ドイツ語Ⅱ－２		1	
関	ドイツ語Ⅲ－１		1	
連	ドイツ語Ⅲ－２		1	
科	フランス語Ⅰ－１		1	
目	フランス語Ⅰ－２		1	
B	フランス語Ⅱ－１		1	
	フランス語Ⅱ－２		1	
	フランス語Ⅲ－１		1	
	フランス語Ⅲ－２		1	
	スペイン語Ⅰ－１		1	
	スペイン語Ⅰ－２		1	
	スペイン語Ⅱ－１		1	
	スペイン語Ⅱ－２		1	
	スペイン語Ⅲ－１		1	
	スペイン語Ⅲ－２		1	
	インドネシア語Ⅰ－１		1	
	インドネシア語Ⅰ－２		1	
	インドネシア語Ⅱ－１		1	
	インドネシア語Ⅱ－２		1	
	インドネシア語Ⅲ－１		1	
	インドネシア語Ⅲ－２		1	
	韓国語Ⅰ－１		1	
	韓国語Ⅰ－２		1	
	韓国語Ⅱ－１		1	
	韓国語Ⅱ－２		1	
	韓国語Ⅲ－１		1	
	韓国語Ⅲ－２		1	

	情報英語Ⅰ		1	
	情報英語Ⅱ		1	
	情報中国語Ⅰ		1	
	情報中国語Ⅱ		1	
	情報日本語		1	
	口語英語		2	
	中国語演習Ⅰ－1		2	
	中国語演習Ⅰ－2		2	
	中国語演習Ⅱ－1		2	
	中国語演習Ⅱ－2		2	
	哲学－1		2	
	哲学－2		2	
専	宗教学－1		2	
門	宗教学－2		2	
関	歴史学－1		2	
連	歴史学－2		2	
科	文学－1		2	
目	文学－2		2	
C	音楽－1		2	
	音楽－2		2	
	日本国憲法		2	
	法学		2	
	政治学－1		2	
	政治学－2		2	
	地理学－1		2	
	地理学－2		2	
	経済学－1		2	
	経済学－2		2	
	数学－1		2	
	数学－2		2	
	物理学－1		2	
	物理学－2		2	
	化学－1		2	
	化学－2		2	
	生物学－1		2	

	生物学－2		2	
	心理学－1		2	
	心理学－2		2	
	統計学－1		2	
	統計学－2		2	
	情報処理		2	
	体育理論		1	
	体育実技－1		1	
	体育実技－2		1	
専門関連科目D	他学部の設置科目			
自由科目				

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称		単位数		備考
		必修	選択	
専門外国語科目	英語Ⅰ－1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から８単位選択）必修１６単位
	英語Ⅰ－2	1		
	英語Ⅱ－1	1		
	英語Ⅱ－2	1		
	英語Ⅲ－1	1		
	英語Ⅲ－2	1		
	英語Ⅳ－1	1		
	英語Ⅳ－2	1		
	中国語Ⅰ－1	1		
	中国語Ⅰ－2	1		
	中国語Ⅱ－1	1		
	中国語Ⅱ－2	1		
	中国語Ⅲ－1	1		
	中国語Ⅲ－2	1		
	中国語Ⅳ－1	1		

	中国語Ⅳ－2	1		
	日本語Ⅰ－1		1	
	日本語Ⅰ－2		1	
	日本語Ⅱ－1		1	
	日本語Ⅱ－2		1	
	日本語Ⅲ－1		1	
	日本語Ⅲ－2		1	
	日本語Ⅳ－1		1	
	日本語Ⅳ－2		1	
	日本語Ⅴ－1		1	
	日本語Ⅴ－2		1	
	日本語Ⅵ－1		1	
	日本語Ⅵ－2		1	
	日本語Ⅶ－1		1	
	日本語Ⅶ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－2		1	
	応用コミュニケーション論	2		
	生活文化論Ⅰ		2	
専	生活文化論Ⅱ		2	
門	地域の伝統文化		2	
科	日本語表現法－1	2		
目	日本語表現法－2	2		
A	ＩＴイングリッシュ	1		
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1	
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	

第３類（杏林大学学則）

	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
専	表象文化論	2		
門	大衆文化論Ⅰ－１		2	
科	大衆文化論Ⅰ－２		2	
目	大衆文化論Ⅱ－１		2	
Ｂ	大衆文化論Ⅱ－２		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論－１		2	
	印刷出版文化論－２		2	
	翻訳・翻案文化論		2	
	映像文化論		2	
	演劇文化論		2	
	身体表現論		2	
	空間表現論		2	
	意匠・デザイン論		2	
	情報発信特論Ⅰ		2	
	情報発信特論Ⅱ		2	
	言語芸術表現論Ⅰ		2	
	言語芸術表現論Ⅱ		2	
	言語芸術表現論Ⅲ		2	
	比較文学論		2	
	レトリック論		2	
	ファンタジー論		2	
	こころと身体のメカニズムⅠ		2	
	こころと身体のメカニズムⅡ		2	
	こころと身体のメカニズムⅢ		2	
	言語芸術表現演習Ⅰ		1	
	言語芸術表現演習Ⅱ		1	
	言語芸術表現演習Ⅲ		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅰ		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅱ		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅲ		1	
	コンテンツ・デザイン実習		1	

	カルチャー・マネジメント実習		1	
	アドバタイズメント・デザイン実習		1	
	ライフスタイル・コーディネイト実習		1	
	アーツ・セラピー実習		1	
	観光文化論入門	2		観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2		
専	ホスピタリティ論Ⅰ－1	2		
門	ホスピタリティ論Ⅰ－2	2		
科	ホスピタリティ論Ⅱ－1	2		
目	ホスピタリティ論Ⅱ－2	2		
C	宿泊産業概論		2	
	宿泊産業経営論		2	
	旅行産業概論		2	
	旅行産業経営論		2	
	フードビジネス概論		2	
	フードビジネス経営論		2	
	観光文化特論Ⅰ－1		2	
	観光文化特論Ⅰ－2		2	
	観光文化特論Ⅱ－1		2	
	観光文化特論Ⅱ－2		2	
	観光文化特論Ⅲ－1		2	
	観光文化特論Ⅲ－2		2	
	観光文化特論Ⅳ－1		2	
	観光文化特論Ⅳ－2		2	
	観光保健論－1		2	
	観光保健論－2		2	
	観光地理Ⅰ		2	
	観光地理Ⅱ		2	
	観光業務論Ⅰ		2	
	観光業務論Ⅱ		2	
	観光業務論Ⅲ		2	
	観光業務論Ⅳ		2	
	観光業務論Ⅴ－1		2	
	観光業務論Ⅴ－2		2	
	観光業務特論Ⅰ		2	

	観光業務特論Ⅱ		2	
	ホスピタリティ演習－1		1	
	ホスピタリティ演習－2		1	
	ホスピタリティ演習－3		1	
	観光手話－1		1	
	観光手話－2		1	
	観光英語－1	1		
	観光英語－2	1		
	観光日本語	1		
	観光中国語	1		
	観光実習	1		
	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
専	比較文化論Ⅱ－1		2	
門	比較文化論Ⅱ－2		2	
関	アメリカ社会論－1		2	
連	アメリカ社会論－2		2	
科	中国事情		2	
目	韓国事情		2	
A	地域圏研究Ⅰ－1		2	
	地域圏研究Ⅰ－2		2	
	地域圏研究Ⅱ－1		2	
	地域圏研究Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅲ－1		2	
	地域圏研究Ⅲ－2		2	
	地域圏研究Ⅳ－1		2	
	地域圏研究Ⅳ－2		2	
	地域圏研究Ⅴ－1		2	
	地域圏研究Ⅴ－2		2	
	地域圏研究Ⅵ－1		2	
	地域圏研究Ⅵ－2		2	
	国際関係論Ⅰ		2	
	国際関係論Ⅱ		2	
	経済原論Ⅰ		2	
	経済原論Ⅱ		2	

	西洋史－1		2	
	西洋史－2		2	
	中国史－1		2	
	中国史－2		2	
	日本史－1		2	
	日本史－2		2	
	言語学－1		2	
	言語学－2		2	
	言語と文化－1		2	
	言語と文化－2		2	
	日中文化交流史－1		2	
	日中文化交流史－2		2	
	日韓文化交流史－1		2	
	日韓文化交流史－2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－2		2	
	英語総合講座－1		2	
	英語総合講座－2		2	
	英語特論－1		2	
	英語特論－2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導Ⅰ－1	1		
	キャリア指導Ⅰ－2	1		
	キャリア指導Ⅱ－1	1		
	キャリア指導Ⅱ－2	1		
	ホスピタリティ実習－1	1		
	ホスピタリティ実習－2	1		
	インターンシップⅠ		1	インターンシップⅠ～Ⅳのうち1科目選択必修
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	

専	ドイツ語Ⅱ－1		1
門	ドイツ語Ⅱ－2		1
関	ドイツ語Ⅲ－1		1
連	ドイツ語Ⅲ－2		1
科	フランス語Ⅰ－1		1
目	フランス語Ⅰ－2		1
B	フランス語Ⅱ－1		1
	フランス語Ⅱ－2		1
	フランス語Ⅲ－1		1
	フランス語Ⅲ－2		1
	スペイン語Ⅰ－1		1
	スペイン語Ⅰ－2		1
	スペイン語Ⅱ－1		1
	スペイン語Ⅱ－2		1
	スペイン語Ⅲ－1		1
	スペイン語Ⅲ－2		1
	インドネシア語Ⅰ－1		1
	インドネシア語Ⅰ－2		1
	インドネシア語Ⅱ－1		1
	インドネシア語Ⅱ－2		1
	インドネシア語Ⅲ－1		1
	インドネシア語Ⅲ－2		1
	韓国語Ⅰ－1		1
	韓国語Ⅰ－2		1
	韓国語Ⅱ－1		1
	韓国語Ⅱ－2		1
	韓国語Ⅲ－1		1
	韓国語Ⅲ－2		1
	情報英語Ⅰ		1
	情報英語Ⅱ		1
	情報中国語Ⅰ		1
	情報中国語Ⅱ		1
	情報日本語		1
	口語英語		2
	中国語演習Ⅰ－1		2

	中国語演習Ⅰ－２		2	
	中国語演習Ⅱ－１		2	
	中国語演習Ⅱ－２		2	
	哲学－１		2	
	哲学－２		2	
専	宗教学－１		2	
門	宗教学－２		2	
関	歴史学－１		2	
連	歴史学－２		2	
科	文学－１		2	
目	文学－２		2	
C	音楽－１		2	
	音楽－２		2	
	日本国憲法		2	
	法学		2	
	政治学－１		2	
	政治学－２		2	
	地理学－１		2	
	地理学－２		2	
	経済学－１		2	
	経済学－２		2	
	数学－１		2	
	数学－２		2	
	物理学－１		2	
	物理学－２		2	
	化学－１		2	
	化学－２		2	
	生物学－１		2	
	生物学－２		2	
	心理学－１		2	
	心理学－２		2	
	統計学－１		2	
	統計学－２		2	
	情報処理		2	
	体育理論		1	

	体育実技－１ 体育実技－２		1 1	
専門科目関連D	他学部の設置科目			
自由科目				

別表５－１－１

教職に関する科目構成

（平成１１年度以前の入学者に適用）

授業科目		備考
教育原理	２単位	
教育心理学	２単位	
教育社会学	２単位	
教育工学	２単位	
教育測定評価法	２単位	
保健科教育法	２単位	
社会科教育法	２単位	
公民科教育法	２単位	
商業科教育法	２単位	
英語科教育法	２単位	
中国語科教育法	２単位	
国語科教育法	２単位	
道徳教育の研究	２単位	
特別活動の研究	２単位	
生徒指導の研究	２単位	
教育実習	３単位	
養護実習	４単位	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。ただし、別表４により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

第３類（杏林大学学則）

別表５－１－２

教職に関する科目構成

（平成１２年度入学者から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教育原理	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育法	2	
社会科教育法	2	
公民科教育法	2	
商業科教育法	2	
英語科教育法	2	
中国語科教育法	2	
国語科教育法	2	
健康教育学Ⅰ（保健科指導研究Ⅰ）	2	
健康教育学Ⅱ（保健科指導研究Ⅱ）	2	
社会科・公民科指導研究Ⅰ	2	
社会科・公民科指導研究Ⅱ	2	
商業科指導研究Ⅰ	2	
商業科指導研究Ⅱ	2	
英語科指導研究Ⅰ	2	
英語科指導研究Ⅱ	2	
中国語科指導研究Ⅰ	2	
中国語科指導研究Ⅱ	2	
国語科指導研究Ⅰ	2	
国語科指導研究Ⅱ	2	
道徳教育の研究	2	
特別活動の研究	2	
教育工学	2	
教育測定評価法	2	
生徒指導の研究（進路指導を含む。）	2	
生徒指導の研究	2	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総合演習		
総合演習	2	（保健学部・外国語学部）
基礎演習	2	（総合政策学部）
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	2	
教育実習Ⅲ	2	
養護実習Ⅰ	1	
養護実習Ⅱ	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表２から別表４により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表５－１－３

教職に関する科目構成

（平成１８年度入学生から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教育原理	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育法－1	2	
保健科教育法－2	2	
社会科教育法	2	
社会科・公民科教育法	2	
商業科教育法－1	2	
商業科教育法－2	2	
英語科教育法－1	2	
英語科教育法－2	2	
健康教育学Ⅰ（保健科指導研究Ⅰ）	2	
健康教育学Ⅱ（保健科指導研究Ⅱ）	2	
社会科指導研究	2	
社会科・公民科指導研究	2	
英語科指導研究Ⅰ	2	
英語科指導研究Ⅱ	2	
道徳教育の研究	2	
特別活動の研究	2	
教育工学	2	
生徒指導の研究	2	
進路指導の研究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総合演習	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	2	
教育実習Ⅲ	2	
養護実習Ⅰ	1	
養護実習Ⅱ	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表２から別表４により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表５－２

学校図書館司書教諭講習科目構成

授業科目		備考
学校経営と学校図書館	２単位	
学校図書館メディアの構成	２単位	
学習指導と学校図書館	２単位	
読書と豊かな人間性	２単位	
情報メディアの活用	２単位	

平成１７年１０月　１日以前の入学生に適用する。

別表６－１

入　学　料　・　授　業　料　等　の　額

	医学部	保健学部	社会科学部	外国語学部
入　学　料	1,000,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授　業　料	2,000,000円 （年額）	1,000,000円 （年額）	500,000円 （年額）	500,000円 （年額）
実験実習費	500,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施設拡充整備費	2,000,000円 （年額）	200,000円 （年額）	250,000円 （年額）	250,000円 （年額）
教育充実費	2,500,000円			

社会科学部及び外国語学部においては、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

別表６－２

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入学料	1,500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授業料	2,300,000円 （年額）	1,100,000円 （年額）	600,000円 （年額）	600,000円 （年額）
実験実習費	500,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施設拡充整備費	2,000,000円 （年額）	150,000円 （年額）	250,000円 （年額）	250,000円 （年額）
教育充実費	2,500,000円			

１　平成８年度入学生から適用する。
２　各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

別表６－３

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入学料	500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授業料	3,000,000円 （年額）	1,100,000円 （年額）	600,000円 （年額）	600,000円 （年額）
実験実習費	1,000,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施設拡充整備費	4,000,000円 （初年度） 1,500,000円 （２年次以降）	150,000円 （年額）	250,000円 （年額）	250,000円 （年額）

１　平成１６年度入学生から適用する。
２　各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

別表６－４

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入学料	500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授業料	3,000,000円 （年額）	1,150,000円 （年額）	720,000円 （年額）	720,000円 （年額）
実験実習費	1,000,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施設設備費	4,000,000円 （初年度） 1,500,000円 （２年次以降）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）

１　平成１７年度入学生から適用する。
２　各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

（2）変更事項を記載した書類

杏林大学学則変更事項

Ⅰ （学部、学科）第２条

１．保健学部の保健学科を健康福祉学科に名称変更する。

２．保健学部に救急救命学科を追加する。

Ⅱ （学生定員）第３条

１．保健学部臨床検査技術学科の入学定員 65 名を 80 名、2 年次編入学定員 10 名を 6 名、3 年次編入学定員 5 名を 4 名及び収容定員 300 名を 346 名に変更する。

２．保健学部の保健学科を健康福祉学科に名称変更し、入学定員 55 名を 40 名、2 年次編入学定員 10 名を 6 名、3 年次編入学定員 5 名を 4 名及び収容定員 260 名を 186 名に変更する。

３．保健学部に救急救命学科を設け入学定員 40 名、3 年次編入学定員 5 名及び収容定員 170 名を追加する。

４．総合政策学部総合政策学科の 3 年次編入学定員 30 名を 10 名及び収容定員 780 名を 740 名に変更する。

５．総合政策学部に企業経営学科の 3 年次編入学定員 20 名を 5 名及び収容定員 520 名を 490 名に変更する。

６．外国語学部英語学科の 3 年次編入学定員 10 名を 5 名及び収容定員 460 名を 450 名に変更する。

７．外国語学部東アジア言語学科の 3 年次編入学定員 25 名を 13 名及び収容定員 330 名を 306 名に変更する。

８．外国語学部応用コミュニケーション学科の 3 年次編入学定員 10 名を 5 名及び収容定員 460 名を 450 名に変更する。

Ⅲ （教育課程）第２４条

１．別表２－２を追加する。

Ⅳ （卒業の要件）第３９条

１．保健学部の保健学科を健康福祉学科に名称変更する。

２．保健学部に救急救命学科を追加する。

３．保健学部看護学科の卒業単位を１３７から１３４に変更する。

Ⅴ （学位）第４１条関係

１．保健学部の保健学科を健康福祉学科に名称変更する。

２．保健学部救急救命学科　学士（救急救命学）を追加する。

Ⅵ （免許状の種類及び履修学部・学科）第４１条の４

１．保健学部の保健学科を健康福祉学科に名称変更する。

（３）新旧の比較対照表

杏林大学学則　新旧対照表

新

制定　昭和４５年　３月１７日
改正　昭和４９年　４月２３日　昭和５０年　８月１１日
昭和５２年１１月１７日　昭和５３年１２月２５日
昭和５４年１０月２５日　昭和５７年　４月　１日
昭和５９年　４月　１日　昭和６０年　１月　９日
昭和６１年　４月　１日　昭和６３年　４月　１日
平成　２年１２月２１日　平成　３年　９月２５日
平成　４年　９月２１日　平成　６年　１月２４日
平成　７年　７月　３日　平成　８年１０月２３日
平成　９年　３月２８日　平成　９年　５月３０日
平成１０年　３月２７日　平成１０年１２月１１日
平成１１年　２月１５日　平成１１年　６月２１日
平成１１年　９月２０日　平成１１年１２月１０日
平成１２年　６月１９日　平成１２年　９月１８日
平成１３年　５月３０日　平成１４年　２月２６日
平成１４年　７月１５日　平成１４年　９月１３日
平成１４年１２月　６日　平成１５年　２月１７日
平成１５年　９月　８日　平成１５年１２月　５日
平成１６年　５月２８日　平成１７年　５月２７日
平成１７年　７月２５日　平成１７年１０月２６日
平成１８年　３月２９日

第１条～第１条の２　　－ 省　略 －

第２章　学部、大学院等

（学部、学科）

第２条　本学に次の学部及び学科を置く。

医　学　部	医学科
保 健 学 部	臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科、臨床工学科及び救急救命学科
総合政策学部	総合政策学科及び企業経営学科
外 国 語 学 部	英語学科、東アジア言語学科及び応用コミュニケーション学科

旧

制定　昭和４５年　３月１７日
改正　昭和４９年　４月２３日　昭和５０年　８月１１日
昭和５２年１１月１７日　昭和５３年１２月２５日
昭和５４年１０月２５日　昭和５７年　４月　１日
昭和５９年　４月　１日　昭和６０年　１月　９日
昭和６１年　４月　１日　昭和６３年　４月　１日
平成　２年１２月２１日　平成　３年　９月２５日
平成　４年　９月２１日　平成　６年　１月２４日
平成　７年　７月　３日　平成　８年１０月２３日
平成　９年　３月２８日　平成　９年　５月３０日
平成１０年　３月２７日　平成１０年１２月１１日
平成１１年　２月１５日　平成１１年　６月２１日
平成１１年　９月２０日　平成１１年１２月１０日
平成１２年　６月１９日　平成１２年　９月１８日
平成１３年　５月３０日　平成１４年　２月２６日
平成１４年　７月１５日　平成１４年　９月１３日
平成１４年１２月　６日　平成１５年　２月１７日
平成１５年　９月　８日　平成１５年１２月　５日
平成１６年　５月２８日　平成１７年　５月２７日
平成１７年　７月２５日　平成１７年１０月２６日

第１条～第１条の２　　－ 省　略 －

第２章　学部、大学院等

（学部、学科）

第２条　本学に次の学部及び学科を置く。

医　学　部	医学科
保 健 学 部	臨床検査技術学科、保健学科、看護学科及び臨床工学科
総合政策学部	総合政策学科及び企業経営学科
外 国 語 学 部	英語学科、東アジア言語学科及び応用コミュニケーション学科

杏林大学学則　新旧対照表

新

（学生定員）

第３条　学生定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	２年次編入学定員	３年次編入学定員	収容定員
医学部	医学科	90名	－	－	540名
保健学部	臨床検査技術学科	80名	6名	4名	346名
	健康福祉学科	40名	6名	4名	186名
	看護学科	80名	2名	8名	342名
	臨床工学科	40名	－	－	160名
	救急救命学科	40名	－	5名	170名
総合政策学部	総合政策学科	180名	－	10名	740名
	企業経営学科	120名	－	5名	490名
外国語学部	英語学科	110名	－	5名	450名
	東アジア言語学科	70名	－	13名	306名
	応用コミュニケーション学科	110名	－	5名	450名

第４条～第３８条　－省　略－

第１０章　卒業

（卒業の要件）

第３９条　－省　略－

２　保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては４年以上在学し１２４単位以上を、保健学部看護学科においては４年以上在学し１３４単位以上を修得しなければならない。

３～７　－省　略－

（卒業の認定）

第４０条　－省　略－

旧

（学生定員）

第３条　学生定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	２年次編入学定員	３年次編入学定員	収容定員
医学部	医学科	90名	－	－	540名
保健学部	臨床検査技術学科	65名	10名	5名	300名
	保健学科	55名	10名	5名	260名
	看護学科	80名	10名	10名	370名
	臨床工学科	40名	－	－	160名
総合政策学部	総合政策学科	180名	－	30名	780名
	企業経営学科	120名	－	20名	520名
外国語学部	英語学科	110名	－	10名	460名
	東アジア言語学科	70名	－	25名	330名
	応用コミュニケーション学科	110名	－	10名	460名

第４条～第３８条　－省　略－

第１０章　卒業

（卒業の要件）

第３９条　－省　略－

２　保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び臨床工学科においては４年以上在学し１２４単位以上を、保健学部看護学科においては４年以上在学し１３７単位以上を修得しなければならない。

３～７　－省　略－

（卒業の認定）

第４０条　－省　略－

杏林大学学則　新旧対照表

新

（学位）

第４１条　卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
東アジア言語学科	学士（文学）
応用コミュニケーション学科	学士（文学）

第４１条の２～第４１条の３　－ 省　略 －

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第４１条の４　前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

履修する学部・学科	免許状の種類	
保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状	養護
	中学校教諭一種免許状	保健
	高等学校教諭一種免許状	保健
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状	養護
	中学校教諭一種免許状	保健
	高等学校教諭一種免許状	保健
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民
総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民
		商業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状	英語
	高等学校教諭一種免許状	英語

第４２条～第５１条　－ 省　略 －

附　則　－ 省　略 －

附　則

（施行期日）

1　本学則は、平成１９年　４月　１日から施行する。

旧

（学位）

第４１条　卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
保健学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
東アジア言語学科	学士（文学）
応用コミュニケーション学科	学士（文学）

第４１条の２～第４１条の３　－ 省　略 －

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第４１条の４　前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

履修する学部・学科	免許状の種類	
保健学部保健学科	養護教諭一種免許状	養護
	中学校教諭一種免許状	保健
	高等学校教諭一種免許状	保健
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状	養護
	中学校教諭一種免許状	保健
	高等学校教諭一種免許状	保健
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民
総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民
		商業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状	英語
	高等学校教諭一種免許状	英語

第４２条～第５１条　－ 省　略 －

附　則　－ 省　略 －

杏林大学学則　新旧対照表

新	旧
（経過措置） 2　この学則による改正後の第２条、第３条、第３９条第２項、第４１条、第４１条の４及び別表２－２の規定は、平成１９年４月１日以降の入学生に適用し、平成１８年１０月１日以前の入学生並びに平成１９年１０月１日以前の２年次編入学生及び平成２０年１０月１日以前の３年次編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第３条に定める編入学定員は、平成２０年４月１日以降の２年次編入学生並びに平成２１年４月１日以降の３年次編入学生から適用する。 3　前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については、別表２－１を適用する。	

新

別表１－１～別表２－１　　－ 省　略 －

別表２—２

保 健 学 部 学 科 目 構 成

（平成１９年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
人文・社会学系				
哲学		2		
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		１０単位以上
社会学		2		
生命倫理学		2		
芸術		2		
数学・物理学系				
数学		2		
医療情報科学		2		
医療情報処理		2		
医療情報処理演習		2		
基礎物理学		1		6単位以上
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
基礎化学		1		
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		4単位以上
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		

旧

別表１－１～別表２－１　　－ 省　略 －

杏林大学学則　新旧対照表

新				旧
生物学系				
基礎生物学		1	┐	
生命科学概論		2		
細胞生物学		2	├ 4単位以上	
人類遺伝学		2		
生物学実験		1	┘	
言語系				
日本語表現法		2	┐	
英語Ⅰ		2		
英語Ⅱ		2		
英語Ⅲ		2	├ 10単位以上	
英語Ⅳ		2		
英会話		2		
医学英語		2	┘	
体育学系				
健康スポーツ科学		2		
体育実技Ⅰ	2			
基礎医学系				
医学概論	2			
医学検査概論	2			
保健学概論Ⅰ	2			
保健学概論Ⅱ		2		
公衆衛生学Ⅰ	2			
公衆衛生学Ⅱ		2		
解剖学Ⅰ	2			
解剖学Ⅱ		2		
解剖・組織学実験	1			
病理学	2			
病理学実験	1			
生理学Ⅰ	2			
生理学Ⅱ		2		
生理学実験	1			

杏林大学学則　新旧対照表

新					旧
生化学Ⅰ	2				
生化学Ⅱ		2			
生化学実験	1				
血液学	2				
血液学実験	1				
免疫学	2				
免疫学実験	1				
微生物学	2				
微生物学実験	1				
医動物学	2				
遺伝子工学		2			
遺伝子工学実験		1			
分子生物学		2			
分子細胞生物学		2			
薬理学		2			
実験動物学		1			
動物実験実習		1			
救命救助法		1			
医学検査系					
生理機能検査学Ⅰ	2				
生理機能検査学Ⅱ		2			
生理機能検査学実習		2			
画像診断技術		2			
臨床化学検査学Ⅰ	2				
臨床化学検査学Ⅱ		2			
臨床化学検査学実習		2		放射性同位元素検査技術を含む	
放射線概論		2			
染色体学		2			
臨床遺伝学		2			
遺伝子・染色体検査学	2				
遺伝子・染色体検査学実習		1			
病理診断学	2				

新						旧
病理検査学		2				
病理検査学実習		2				
細胞診断学		2				
細胞診断学実習		1				
血液検査学	2					
血液検査学実習		2				
医動物検査学実習		1				
微生物検査学Ⅰ	2					
微生物検査学Ⅱ		2				
微生物検査学実習		2				
免疫検査学Ⅰ	2					
免疫検査学Ⅱ		2				
免疫検査学実習		2				
一般検査学	2					
一般検査学実習		1				
臨床病態学Ⅰ		2				
臨床病態学Ⅱ		2				
検査管理学		2				
分析化学Ⅰ		2				
分析化学Ⅱ		2				
分析化学実験		1				
専門実験・実習手法	1					
臨地実習		6				
保健学系						
医療福祉概論		2				
国際保健学		2				
生活習慣病論		2				
衛生学系						
産業保健学		2				
環境衛生工学		2				
環境化学		2				
食品栄養学		2				

杏林大学学則　新旧対照表

新						旧
食品衛生学		2				
食品製造学		2				
職業適性論		2				
労働衛生法規Ⅰ		2				
労働衛生法規Ⅱ		2				
自由専攻						
細胞診断学演習Ⅰ		1				
細胞診断学演習Ⅱ		1				
細胞診断学演習Ⅲ		1				
細胞診断学演習Ⅳ		1				
細胞診断学演習Ⅴ		1				
遺伝・バイオ技術系特別演習Ⅰ		1				
遺伝・バイオ技術系特別演習Ⅱ		1				
細胞・組織・形態系特別演習Ⅰ		1				
細胞・組織・形態系特別演習Ⅱ		1				
感染症制御系特別演習Ⅰ		1				
感染症制御系特別演習Ⅱ		1				
生殖・移植医療系特別演習Ⅰ		1				
生殖・移植医療系特別演習Ⅱ		1				
化学系特別演習Ⅰ		1				
化学系特別演習Ⅱ		1				
生理機能系特別演習Ⅰ		1				
生理機能系特別演習Ⅱ		1				
治験コーディネート特別演習		1				
薬事申請特別演習		1				
総合						
総合医療演習Ⅰ		1				
総合医療演習Ⅱ	2					
移植コーディネータ論		2				

新

生命倫理学特論		2		
インターンシップ		4		┐
卒業研究		4		┘ 4単位以上
計	52	192		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
人文・社会学系				
哲学		2		┐
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		┤10単位以上
芸術		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
社会心理学		2		┘
自然科学系				
数学		2		┐
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		┤10単位以上
医用工学実験		1		┘

旧

新				旧
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生命科学概論		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法		2		
英語Ⅰ		2	英語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）又はフランス語Ⅰ・Ⅱ（各２単位）のどちらかを選択他に４単位以上	
英語Ⅱ		2		
英語Ⅲ		2		
医学英語		2		
英会話		2		
フランス語Ⅰ		2		
フランス語Ⅱ		2		
フランス語Ⅲ		2		
フランス語会話		2		
体育学系				
体育実技Ⅰ		2		
体育実技Ⅱ		1		
健康スポーツ科学		2		
基礎医学系				
医学概論		2		
公衆衛生学Ⅰ	2			
公衆衛生学Ⅱ		2		
解剖学Ⅰ	2			
解剖学Ⅱ		2		
解剖学実験		1		
病理学	2			
病理学実験		1		
生理学Ⅰ	2			
生理学Ⅱ		2		

新				旧
生理学実験		1		
生化学Ⅰ	2			
生化学Ⅱ		2		
生化学実験		1		
血液学		2		
血液学実験		1		
免疫学		2		
免疫学実験		1		
微生物学		2		
微生物学実験		1		
薬理学		2		
救命救助法		1		
専門基礎				
保健学概論Ⅰ	2			
保健学概論Ⅱ	2			
保健学基礎実習	1			
保健学発展実習Ⅰ（社会調査系）	1			
保健学発展実習Ⅱ（健康教育系）	1			
保健学発展実習Ⅲ（環境系）	1			
保健学発展実習Ⅳ（遺伝系）	1			
保健学発展実習Ⅴ（心理検査系）	1			
保健学応用実習A		1		
保健学応用実習B		1		
基礎保健学系				
人類生態学		2		
環境保健学		2		
疫学		2		
保健管理学		2		
健康社会学		2		
母子保健学		2	小児保健を含む	
成人保健学		2		

新					旧
精神保健学		2			
保健栄養学		2		食品学を含む	
人類遺伝学		2			
健康教育学Ⅰ		2			
社会福祉学		2			
ライフステージと心理		2			
生活と看護		2			
発展保健学系					
健康教育学Ⅱ		2			
栄養生態学		2			
人口学		2			
地域保健学		2			
国際保健学		2			
臨床心理学		2			
細胞遺伝学		2			
現代社会と心の病理		2			
認知心理学		2			
社会福祉学系					
社会福祉政策論		2			
老人福祉論		2			
高齢保健学		2			
障害者福祉論		4			
児童福祉論		2			
社会保障論		4			
公的扶助論		2			
地域福祉論		2			
社会福祉援助技術総論		4			
社会福祉援助技術論Ⅰ		2			
社会福祉援助技術論Ⅱ		2			
社会福祉援助技術演習Ⅰ		1			
社会福祉援助技術演習Ⅱ		1			
社会福祉援助技術演習Ⅲ		2			

新				旧
社会福祉援助技術演習Ⅳ	2			
社会福祉援助技術演習Ⅴ	2			
社会福祉援助技術実習	6			
社会福祉援助技術現場実習指導	6			
医療福祉論	2			
家族福祉論	2			
セルフヘルプグループ論	2			
保健福祉論	2			
初めての社会福祉	2			
学校保健学系				
学校保健学Ⅰ	2		学校安全を含む	
学校保健学Ⅱ	2			
学校看護学	1			
健康相談Ⅰ	2			
健康相談Ⅱ	1			
養護学概論	2			
カウンセリング	2			
精神医学	1			
保健科指導研究Ⅰ	2			
保健科指導研究Ⅱ	2			
看護学Ⅰ	2			
看護学Ⅱ	2			
看護学Ⅲ	2			
看護学実習	2			
救急看護学	2			
環境・食品学系				
産業保健学	2			
環境衛生工学	2			
環境科学	2			
放射線概論	2			
分析化学Ⅰ	2			
分析化学Ⅱ	2			

新

分析化学実験		1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
総合				
コーディネータ論		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
教職総合演習		2		
ボランティア活動		2		
インターンシップ		2		
卒業研究	4			
計	24	273		124単位以上

看護学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
一般教養領域				
人間科学系				
哲学		2		┐
生命倫理学		2		│
法学		2		│
日本国憲法		2		│
心理学		2		│
発達心理学		2		├10単位以上
社会心理学		2		│

旧

新					旧
社会福祉学		2			
芸術		2			
ホスピタリティ論		2			
文化人類学		2			
国際関係論		2			
健康スポーツ科学		2		1単位以上	
体育実技		1			
自然科学系					
統計学		2			
人類遺伝学		2			
物理学概論		2		4単位以上	
化学概論		2			
生命科学概論		2			
情報処理論	2				
言語系					
英語Ⅰ	2				
英語Ⅱ	2				
英語Ⅲ		2			
英会話		2			
医学英語		2			
フランス語Ⅰ		2		6単位以上	
フランス語Ⅱ		2			
フランス語Ⅲ		2			
フランス語会話		2			
日本語表現法		2			
専門基礎領域					
基礎医学系					
解剖学	2				
生理学	2				
生化学	2				
栄養学	2				
病態学Ⅰ	2				

新					旧
病態学 II	2				
微生物学	2				
薬理学	2				
公衆衛生学	2				
関係法規	1				
カウンセリング		1			
臨床心理学		1			
血液学		2			
免疫学		2			
医学概論		2			
専門領域					
基礎看護学系					
看護学概論	2				
看護方法演習 I	2				
看護方法演習 II	2				
看護方法演習 III	2				
看護方法演習 IV	2				
基礎看護学実習 I	1				
基礎看護学実習 II	2				
在宅看護学系					
在宅ケア論	2				
在宅ケア演習	2				
在宅看護学実習	2				
成人・高齢者看護学系					
成人看護学概論	1				
成人看護学 I	2				
成人看護学 II	2				
成人看護学演習	2				
成人看護学実習 I	4				
成人看護学実習 II	4				
高齢者看護学概論	1				
高齢者看護学	2				

新					旧
高齢者看護学実習Ⅰ	2				
高齢者看護学実習Ⅱ	2				
精神看護学系					
精神看護学概論	1				
精神看護学	2				
精神看護学実習	2				
精神看護学演習	1				
母子看護学系					
母性看護学概論	1				
母性看護学	2				
母性看護学演習	1				
母性看護学実習	2				
小児看護学概論	1				
小児看護学	2				
小児看護学演習	1				
小児看護学実習	2				
地域看護学系					
地域看護学概論	2				
地域看護学	2				
地域看護学演習Ⅰ	2				
地域看護学演習Ⅱ	2				
地域看護学実習Ⅰ	2				
地域看護学実習Ⅱ	1				
保健学系					
健康教育学Ⅰ		2			
産業保健学		2			
保健福祉行政論	2				
疫学・保健統計学	2				
保健統計	2				
保健学概論		1			
保健学Ⅰ		1			
保健学Ⅱ	1				

新					旧
保健学Ⅲ		1			
保健学Ⅳ	1				
養護学概論		2			
学校保健学Ⅰ		2			
学校保健学Ⅱ		2			
健康相談		2			
健康教育学Ⅱ		2			
地域福祉論	2				
児童福祉論		2			
老人福祉論	2				
臨床検査学系					
医用工学概論		2			
助産学系					
助産学概論		1			
助産診断・技術学Ⅰ		2			
助産診断・技術学Ⅱ		2			
助産診断・技術学Ⅲ		2			
助産診断・技術学Ⅳ		2			
助産診断・技術学Ⅴ		2			
助産管理学		1			
助産学特論		1			
助産学実習Ⅰ		6			
助産学実習Ⅱ		2			
総合領域					
看護管理学		1			
看護教育論		1			
移植コーディネータ論		1			
特別講義		1			
看護理論		1			
看護倫理		1			
疾病論		2			
教職総合演習		2			

新

死生学		1		
遺伝看護		1		
地域活動論	2			
総合看護		2		
救急看護学		2		
医療安全		1		
国際看護活動論		1		
災害看護活動論		1		
ボランティア活動		2		
インターンシップ		4		┐
卒業研究		4		├ 4単位以上
計	109	132		134単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数 必修	選択	自由	備考
人文・社会学系				
哲学		2		┐
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
倫理学		2		
生命倫理学		2		├ 10単位以上
心理学		2		
発達心理学		2		
教育心理学		2		
芸術		2		
民俗学		2		┘
数学・物理学系				
基礎物理学		1		┐
物理学		2		┘

旧

杏林大学学則　新旧対照表

新					旧
医用工学概論		2		4単位以上	
数学		2			
統計学		2			
医療情報科学		2			
情報処理演習		2			
化学系					
基礎化学		1		3単位以上	
無機化学		2			
生物有機化学Ⅰ		2			
生物有機化学Ⅱ		2			
化学実験		1			
生物学系					
基礎生物学		1		3単位以上	
生命科学概論		2			
細胞生物学		2			
人類遺伝学		2			
生物学実験		1			
言語系					
日本語表現法		2			
英語Ⅰ	2				
英語Ⅱ	2				
英語Ⅲ		2		4単位以上	
英語Ⅳ		2			
英会話		2			
医学英語		2			
フランス語Ⅰ		2			
フランス語Ⅱ		2			
フランス語Ⅲ		2			
フランス語会話		2			
体育学系					
健康スポーツ科学		2			
体育実技Ⅰ	2				

新						旧
体育実技 II	1					
基礎医学系						
医学概論		2				
公衆衛生学 I	2					
公衆衛生学 II		2				
解剖学 I	2					
解剖学 II		2				
生理学 I	2					
生理学 II		2				
生化学	2					
病理学	2					
微生物学	2					
血液学		2				
免疫学		2				
薬理学	2					
救命救助法	1					
救急医学系						
内科学 I	2					
内科学 II	2					
内科学 III	2					
内科学 IV		2				
内科学 V		2				
内科学 VI		2				
医療コミュニケーション学		2				
医療安全論		2				
救急医学概論	2					
救急処置総論	2					
救急処置各論	2					
災害医学		2				
外科学 I		2				
外科学 II		2				
外傷学		2				

杏林大学学則　新旧対照表

新					旧
環境障害・急性中毒学		2			
救急搬送論		2			
小児科学		2			
産婦人科学		2			
整形外科学		2			
脳外科学		2			
精神医学		2			
放射線概論		2			
シミュレーションⅠ	2				
シミュレーションⅡ	2				
シミュレーションⅢ		3			
シミュレーションⅣ		3			
シミュレーションⅤ		2			
シミュレーションⅥ		2			
病院内実習		10			
救急車同乗実習		3			
衛生学系					
産業保健学		2			
環境衛生工学		2			
職業適性論		2			
労働衛生法規Ⅰ		2			
労働衛生法規Ⅱ		2			
総合					
移植コーディネータ論		2			
特別講義Ⅰ		2			
特別講義Ⅱ		2			
特別演習Ⅰ		1			
特別演習Ⅱ		1			
ボランティア活動		2			
インターンシップ		4		┐	
卒業研究		4		┘4単位以上	
計	38	168		124単位以上	

杏林大学学則　新旧対照表

新	旧
別表３－１～別表６－４　　－ 省　略 －	別表３－１～別表６－４　　－ 省　略 －

４．　意思の決定を証する書類

杏林学園理事会議事録

日　　時　　平成１８年３月２９日（水）午後４時４０分～午後５時３０分
場　　所　　帝国ホテル　東京都千代田区内幸町１－１－１
出 席 者　　理事長　　理事
　　理事　　理事
　　理事　　理事
　　理事　　理事
　　理事　　理事
　　理事　　理事
　　理事　　理事　　（委任状）

定刻に至り、　　理事長は議長席に着き挨拶の後、出席理事１４人（内、　　理事委任状出席）の出席を確認し、寄附行為第１１条第９項及び第１０項に基づき理事会の成立を宣し開会した。会議には監事２人、参与３人、公認会計士１人及び議案説明要員として、　　総務部長、　　総務部長、　　経理部長が同席した。

第１号議案　平成１８年度事業計画案について
　― 省　略 ―
第２号議案　平成１８年度予算案について
　― 省　略 ―
第３号議案　借入限度額について
　― 省　略 ―
第４号議案　杏林学園寄附行為の一部改正について
　― 省　略 ―
第５号議案　杏林学園寄附行為第５条第２項に基づく理事長の選任について
　― 省　略 ―
第６号議案　杏林学園寄附行為第１８条第２項に基づく学園長の選任について
　― 省　略 ―
第７号議案　代表権者の登記について
　― 省　略 ―
第８号議案　杏林大学学則の一部改正について（保健学部学科設置）
　議長は、　　（学長）理事に説明を求め、同理事は保健学部の学科改組に伴う杏林大学学則の一部改正であると説明。具体的には救急救命学科の新設、並びに保健学科を健康福祉学科に名称変更することに伴い、関連条文及び別表を改正し、平成１９年４月１日から施行したいと資料③に基づき説明。なお、今回の改正は文部科学省に学科の設置申請及び名称変更に係わる変更のため、申請中に修正を加えることも考えられるので、大幅な変更のない限り、学長及び保健学部長に一任することとしたいと説明。議長はこれを諮り、全員異議なく承認。
第９号議案　杏林大学学則の一部改正について
　― 省　略 ―
第１０号議案　杏林大学大学院学則の一部改正について
　― 省　略 ―

第１１号議案　杏林大学学位規程の一部改正について
　― 省　略 ―
第１２号議案　杏林学園職員就業規則の一部改正について
　― 省　略 ―
第１３号議案　平成１８年度職員の賃金について
　― 省　略 ―
第１４号議案　杏林大学名誉教授の称号授与について
　― 省　略 ―
報　告
（１）杏林学園寄附行為第２３条第１項第１号評議員の選任について
　― 省　略 ―
（２）杏林学園寄附行為第６条第１項第６号理事の選任について
　― 省　略 ―
（３）就職内定率の報告について
　― 省　略 ―
（４）学事報告（卒業・入学）について
　― 省　略 ―
（５）一般報告（教授人事・教職員数・その他）について
　― 省　略 ―
（６）国家試験結果について
　― 省　略 ―
（７）議長は、役員等の交替について報告、各出席役員等から挨拶があった。
　― 省　略 ―

以上の議事経過は、事実に相違ないことを確認し署名押印する。

平成１８年３月２９日

議長　理事長		理　事
理　事		理　事
理　事		理　事
理　事		理　事
理　事		理　事
理　事		理　事
理　事		

本書は原本と相違ないことを証明する

平成１８年　４月１７日

学校法人　杏林学園

理　事　長

杏林大学評議会議事録(平成１７年度第４回)

日　　時　　平成１８年２月２０日（月）午後３時４０分～午後３時５５分
場　　所　　医学資料情報センター１１階　会議室
出 席 者

学園長
学長
（医）学部長
（保）学部長
（社・総）学部長
（外）学部長
（医）教務部長
（保）教務部長
（社・総）教務部長
（外）教務部長
（医）学生部長
（保）学生部長
（社・総）学生部長
（外）学生部長
図書館長

添付資料　　①杏林大学学則新旧対照表（案）
②杏林大学学則新旧対照表（案）

議事

（１）杏林大学学則の一部改正について（保健学部学科設置関係）

学長は標記の件について、保健学部学科改組に伴う大学学則の一部改正であると説明。具体的には救急救命学科の新設、並びに保健学科を健康福祉学科に名称変更することに伴い、関連条文及び別表を資料①のとおり改正し、平成１９年４月１日より施行いたしたい。なお、本件については、修正を加える可能性も考えられるので、大幅な変更のない限り、学長及び保健学部長に一任することといたしたいと説明。審議の結果、本件を承認。

（２）杏林大学学則の一部改正について

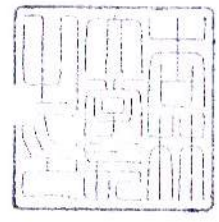
― 省　略 ―

以　上

本書は原本と相違ないことを証明する

平成１８年　４月１７日

杏　林　大　学
学　長



平成１７年度　第１１回　保健学部教授会議事録

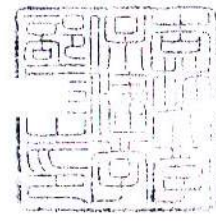
1. 日　　時　　平成 18 年 3 月 15 日（水）13 時 30 分から 14 時 40 分
2. 場　　所　　保健学部大会議室
3. 構成人員　　31 名
4. 出 席 者　　28 名

5. 議　　事
   (1) 退学願･休学願の取り扱いについて
   (2) 名誉教授の推薦について
   (3) 杏林大学学則の一部改正について
   (4) 進級判定について
   (5) 平成 18 年度 特別研究生および一般研究生について
   (6) 救命救助法及び語学単位認定について
   (7) 平成 18 年度 保健学部活動組織について
   (8) 杏林大学教職課程履修規程の一部改正について
   その他
6. 報告事項
   (1) 学部関係　(2) 教務部関係　(3) 学生部関係　(4) 就職委員会　(5) その他
7. 配布資料
   (1) 平成 18 年 3 月 退学願出一覧及び休学願出一覧
   (2) 名誉教授候補者一覧
   (3) 平成 18 年度 特別研究生および一般研究生一覧表（前期 18.4.1～18.9.30）
   (4) 救命救助法単位認定者・語学単位認定者（認定科目変更）一覧
   (5) 平成 18 年度 保健学部活動組織（案）
   (6) 杏林大学教職課程履修規程 新旧対照表（案）
   (7) 平成 18 年度 前期 大学院研究科委員会・学部教授会日程表（案）
   (8) 研究室及び研究室名の変更
   (9) 「平成 18 年度イベント企画募集」にあたってのご理解とご協力のお願い
   (10) 第一種衛生管理者免許申請資格者
   (11) 食品衛生管理者及び食品衛生監視員課程修了者
   ・ 別冊　杏林大学学則 新旧対照表（案）
   ・ 別冊　<進級判定資料>
8. 議事の経過・議決した事項
   (1) 前回の議事録確認
   省略
   (2) 退学願･休学願の取り扱いについて
   省略
   (3) 名誉教授の推薦について
   省略
   (4) 杏林大学学則の一部改正について
   教務部長より、別冊資料に基づき、杏林大学学則の一部改正（保健学部学科設置等に係る改正・・対象学部は八王子３学部）について説明があり、構成員の３分の２以上の出席を確認し、審議の結果、承認された。
   (5) 進級判定について
   省略
   (6) 平成 18 年度 特別研究生および一般研究生について
   省略

(7) 救命救助法の単位認定及び語学単位認定（認定科目の変更）について
省略
(8) 平成18年度 保健学部活動組織について
省略
(9) 杏林大学教職課程履修規程の一部改正について
省略

9. 報告事項
学部関係
省略
教務部関係（教務部長より）
省略
学生部関係（学生部長より）
省略
就職委員会（石山教授より）
省略
その他
省略

本書は、保健学部教授会議事録原本の抜粋であることを証明する。
平成１８年　４月２５日
杏林大学　保健学部長



平成１７年度

第１２回社会科学部・総合政策学部　教授会議事録

日　　時：平成１８年3月８日（水）１３：４５～１４：２５
場　　所：G棟中会議室
構成人員：２２名
出 席 者：２１名

（議長）	学部長	教授	教授	教授
	教授	教授	教授	教授
	教授	教授	教授	教授
	教授	教授	教授	教授
	教授	教授	教授	教授
	教授			

欠 席 者：　教授

（議事録確認）
・ 平成１７年度第１１回議事録確認、承認。

（配布資料）

・大学役職規程に基づく大学役職者の選定について	資料１
・杏林大学奨学生規程の一部改正及び杏林大学成績優秀学生の奨励規程の制定について	資料２
・平成１８年度春学期教授会・専任者会議日程について	資料３
・平成１７年度秋学期追試験結果について	資料４
・平成１７年度秋学期定期試験不正行為者について	資料５
・学納金未納による学生の除籍について	資料６
・学生の在籍数について	資料７
・杏林大学学則の一部改正について	資料８－１，８－２
・杏林大学総合政策学部転学科規程の制定について	資料９
・杏林大学教職課程履修規程の一部改正について	資料１０
・平成１８年度常置委員会等委員の委嘱について	資料１１
・平成１７年度秋学期進級・卒業判定について	資料１２－１，１２－２
・平成１８年度読解力演習及び文章力演習担当者について	資料１３
・平成１８年度演習・卒業研究担当者について	資料１４
・インターンシップ研修(英国)の参加者について	資料１５
・学生の異動について	資料１６

（報告事項）
１．学部長報告
・ ― 省　略 ―
２．教務部関係（　　教授）
・ ― 省　略 ―
３．学生部関係（　　教授）
・― 省　略 ―
４．入学センター関係
・― 省　略 ―

5．その他
・― 省　略 ―

（協議事項）
1．杏林大学学則の一部改正について（　　教授）
・学校教育法施行規則の一部を改正する省令（文部科学省令第４２号）及び文部科学省告示第１３７号により、大学入学資格の項目を新たに追加することに伴い、本学学則第１９条第１項第４号を追加する旨資料８－1に基づき説明があった。
　また、本学保健学部保健学科を健康福祉学科に名称変更並びに救急救命学科設置に伴い、入学定員、２年次・３年次編入学定員及び収容定員、看護学科の卒業要件、学位授与等を変更し、さらに総合政策学部、外国語学部の学生定員を変更するため、本学学則第２条(学部、学科)、第３条(学生定員)、第３９条(卒業の要件)、第４１条（学位）及び第４１条の４（免許状の種類及び履修学部・学科）第３条（学生定員）を資料８－２のとおり一部改正する旨説明があった。以上の件ついて、構成員２２名中２１名の出席を確認し、賛否を諮ったところ、出席者全員異議なく賛成した。

承　認

2．杏林大学総合政策学部転学科規程の制定について（　　教授）
・― 省　略 ―
3．杏林大学教職課程履修規程の一部改正について（　　教授）
・― 省　略 ―
4．平成１８年度常置委員会等委員の委嘱について（　　教授）
・― 省　略 ―
5．平成１７年度秋学期進級・卒業判定について（　　教授）
・― 省　略 ―
6．平成１８年度読解力演習及び文章力演習担当者について（　　教授）
・― 省　略 ―
7．平成１８年度演習･卒業研究担当者について（　　教授）
・― 省　略 ―
8．インターンシップ研修(英国)の参加者について（　　教授）
・― 省　略 ―
9．学生の異動について（　　教授）
・― 省　略 ―
10．　その他
・― 省　略 ―

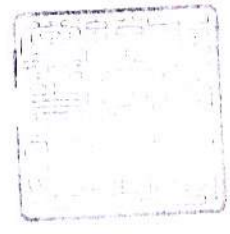
以　上

本書は、社会科学部・総合政策学部教授会議事録の抜粋であることを証明する。

平成１８年４月２５日

杏林大学総合政策学部

学部長



平成十七年度　外国語学部　第十一回教授会　議事録

日　　時　　：　平成１８年3月１日（水）午後1時３０分～午後3時１５分
場　　所　　：　第一会議室
構成人員数　　：　２６名
構成員出席者数：　２４名

出席者（議長）	学部長	教授	教授
	教授	教授	教授
	教授	教授	教授
	教授	教授	教授
	教授	教授	教授
	教授	教授	教授
	教授	教授	教授
	教授	教授	教授
構成員欠席者：	教授	教授	

【配布資料】

１．杏林大学常置委員会一覧	資料１
２．平成１８年度外国語学部教員組織	資料２
３．平成１８年度入試結果中間報告	資料３
４．後期学納金遅滞納入申請学生	資料４
５．学生数	資料５
６．入学資格に係わる学則の一部改正	資料６
７．保健学部学科設置等に係わる学則の一部改正	資料７
８．平成１８年度常置委員会委員および責任者の委嘱	資料８
９．２００６年インターンシップ研修参加者	資料９
10．退学願出学生	資料１０
11．平成１８年度開講科目担当者	資料１１
12．非常勤講師連絡会	資料１２
13．携帯電話による学生の授業出欠システム	別添資料
14．キャリア指導	別添資料

【議事録確認】

省略

【報告事項】

１．理事会・評議員会・運営審議会・学部長会議結果報告

省略

２．第１委員会報告

省略

３．第２委員会報告

省略

４．第３委員会報告

省略

5．第４委員会報告

省略

6．第５委員会報告

省略

7．第６委員会報告

省略

8．第７委員会報告

省略

9．その他

省略

【協議事項】

1．入学資格に係わる学則の一部改正について

学校教育法施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第４２号)および文部科学省告示第１３７号により、大学入学資格の項目を新たに追加することに伴い、資料６のとおり学則の一部改正を行いたいと　　学部長より説明がなされ、全員異議なく承認された。

2．保健学部学科設置等に係わる学則の一部改正について

保健学部に救急救命学科の設置並びに保健学科を健康福祉学科に名称変更するのに伴い、入学定員、２年次・３年次編入学定員および収容定員、看護学科の卒業要件、学位授与等を変更し、さらに外国語学部、総合政策学部の学生定員を変更するため、資料７のとおり学則の一部改正を行いたいと　　学部長より説明がなされ、全員異議なく承認された。

3．平成１８年度常置委員会委員および責任者の委嘱について

省略

4．２００６年インターンシップ研修参加者について

省略

5．退学願出学生について

省略

6．平成１８年度開講科目担当者について

省略

7．非常勤講師連絡会について

省略

8．その他

省略

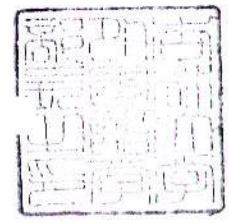
以　上

本書は、外国語学部教授会議事録原本の抜粋であることを証明する。

平成１８年４月２５日

杏林大学外国語学部

学部長



５．　学部等の設置の趣旨等を記載した書類

Ⅰ　設置の趣旨及び必要性

1　救急救命士制度は、平成 3 年に我が国のプレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の充実を図るために導入され、消防庁では、救急振興財団等における救急救命士の着実な養成が行われるよう、諸施策を推進してきました。

2　本学保健学部では、平成 12 年 4 月に日本で初めての 4 年制大学における救急救命士養成課程を設置し、臨床検査技術学科と保健学科の両学科から同課程専攻希望の学生を受け入れ、現在までに 37 名の卒業生を輩出し、この内 22 名が東京消防庁を始めとする各地の消防署で、救急救命士として活動しています。

3　全国の救急自動車による搬送人員は、平成 15 年の統計でも 1 日平均 1 万 3,235 件、6.5 秒に 1 回の割合で救急隊が出動しており、益々その需要が見込まれます。さらに、高齢化社会を反映して今後益々高齢者の疾患・急病の搬送に伴い救急救命士による心肺機能停止状態の傷病者の蘇生等のために行う高度な応急処置の件数も増加すると予想されます。こうした救急需要の増加や救急業務の高度化は、救急救命士や救急隊員の業務負担を増加させ、さらなる人員増の必要性を示唆すると思われます。

4　平成 19 年度以降、いわゆる団塊の世代と言われる全国消防職員の大量退職時代を迎えるに当たり、養成に多額の費用と時間を要する救急救命士を消防内部だけで養成することは困難となることが予測され、救急救命士の確保を外部へ依存することが強まると考えられます（別紙参照）。

5　今回、従来の養成課程から新たに救急救命学科とすることにより、その存在を明確化し、入学時より一定の目的を持った学生の確保を図ると共に、早期から高度専門職業人としての自覚を持たせる一貫教育を合理的に進められることになります。また、本学独自の救急救命学科カリキュラムの編成も可能とし、このことから建学の精神を身につけた救急救命士の育成に貢献するものであります。

Ⅱ　学部、学科等の特色

救急救命士の養成機関としては、唯一医学部を持つ大学であり、豊富な講師陣並びに高度救命救急センターでの病院内実習などを背景に、高度な専門職業人の養成を特色とします。

また、入学初期より消防署の応急手当普及員の免許取得を推奨し、地域の小中・高等学校並びに一般市民向け心肺蘇生法の講習会などにインストラクターとして積極的に参加させ、地域社会に貢献する学生教育を行うことや看護専門学校並びに看護短期大学からの当学科 3 年次編入学を受け入れることで、病院前救護や救急医療にも精通した看護師養成への貢献も特色としています。

Ⅲ　教育課程編成の考え方及び特色

1　傷病者に最初に接する救急救命士には、迅速かつ的確な患者や現場の状況判断が求められますが、そのためには、基礎となる医学的知識の習得はもちろん、必要な救急処置が冷静に実施できるような不断の訓練が必要です。救急救命学科として再編成することにより、早期から高度専門職業人としての自覚を持たせた救急救命士を育成することができます。さらに単なる専門教育のみならず、一般教養や語学教育も適切に

配置することによって、国家資格取得のみが目的ではない、医療従事者としての倫理観や教養を高めるための教育も可能になります。

2　本学に既設する医学部、特に従来からの救急医学教室を中心とする各教室との連携をさらに密にし、各専門の講義や医学部付属病院および高度救命救急センターにおける実習には、きめの細かな少人数教育を行います。

3　習得した知識や技術を基盤に、日進月歩の医療技術に的確に対応でき、指導的な役割が果たせる質の高い人材の育成を行います。

4　卒後教育として本学の国際協力研究科を介して、ＪＩＣＡや欧米のパラメデイック、また発展途上国で災害医療援助の一翼の担えるような救急救命士の育成を視野に入れた教育も可能です。

全消発第８号
平成１８年１月１６日

学校法人　杏林学園
理事長　松田　博青　殿

全国消防長会
会長　関口和重



救急救命学科設置構想に係る実状把握に関してのお願い（回答）

謹啓　時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から本会の事業につきまして、格別のご理解とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、救急救命士につきましては救急業務を実施するうえで不可欠な資格であり、全国の消防本部による資格者の養成を着実に進めているところでありますが、増加する救急需要や救急業務高度化に向けた救急救命士の技能向上等への対応が急務となっている状況にあります。

また、各消防本部においては団塊世代の大量退職を間近に控え、消防業務に係る各種資格者の減少が予想されることから、救急救命士についてもその絶対数を確保することが重要な課題となっております。

このような状況下、貴学園における救急救命学科設置構想をはじめとする外部機関による救急救命士の養成は今後の救急業務の実状を捉えたものであり、消防機関における有資格者の確保に資するものとして、大いに期待するものであります。

今後とも消防行政の更なる発展のため、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

学長，学部長及び教員の氏名等を記載した書類

学 長 及 び 学 部 長 の 氏 名 等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
	学　　長	ﾅｶﾞｻﾜ ﾄｼﾋｺ 長澤　俊彦 〈平成19年4月〉		医学博士		杏林大学長 （平10.4）
	学　部　長	ｵｵﾀｷ ｼﾞｭﾝｲﾁ 大瀧　純一 〈平成19年4月〉		博士(医学)		杏林大学保健学部長 （平18.4） 杏林大学保健学部 看護学科教授 （平12.4）

教　員　の　氏　名　等

（保健学部救急救命学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	「専」	教　授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		公衆衛生学Ⅱ	2	2コマ	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平10.10）
							内科学Ⅲ	2	15コマ	
							医療安全論	2	15コマ	
							特別講義Ⅰ	2	1コマ	
							特別講義Ⅱ	2	3コマ	
							ボランティア活動	2	60時間	
							インターンシップ	4	120時間	
							卒業研究	4	120時間	
	「専」	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅱ	2	15コマ	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平12.4）
							病院内実習	10	450時間	
							特別講義Ⅱ	2	3コマ	
							ボランティア活動	2	60時間	
							インターンシップ	4	120時間	
							卒業研究	4	120時間	
	「専」	教　授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		救急処置総論	2	5コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平16.4）
							救急処置各論	2	3コマ	
							脳外科学	2	15コマ	
							病院内実習	10	450時間	
							救急車同乗実習	3	135時間	
							特別講義Ⅱ	2	3コマ	
							ボランティア活動	2	60時間	
							インターンシップ	4	120時間	
							卒業研究	4	120時間	
	「専」	教　授	＜平成19年4月＞		博士 (保健学)		健康スポーツ科学	2	5コマ	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平1.11）
							体育実技Ⅰ	2	60時間	
							体育実技Ⅱ	1	30時間	
							特別演習Ⅰ	1	15時間	
							特別演習Ⅱ	1	15時間	
							ボランティア活動	2	60時間	

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
							インターンシップ	4	120時間	
							卒業研究	4	120時間	
	「専」	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		医学概論	2	2コマ	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平11.4）
							内科学Ⅰ	2	11コマ	
							医療コミュニケーション学	2	11コマ	
							病院内実習	10	450時間	
							特別講義Ⅱ	2	3コマ	
							ボランティア活動	2	60時間	
							インターンシップ	4	120時間	
							卒業研究	4	120時間	
	「専」	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		救命救助法	1	45時間	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平14.4）
							医療コミュニケーション学	2	1コマ	
							救急医学概論	2	8コマ	
							救急処置総論	2	8コマ	
							救急処置各論	2	6コマ	
							災害医学	2	2コマ	
							外傷学	2	10コマ	
							環境障害・急性中毒学	2	15コマ	
							シミュレーションⅠ	2	90時間	
							シミュレーションⅡ	2	90時間	
							シミュレーションⅢ	3	135時間	
							シミュレーションⅣ	3	135時間	
							シミュレーションⅤ	2	90時間	
							シミュレーションⅥ	2	90時間	
							病院内実習	10	450時間	
							救急車同乗実習	3	135時間	
							特別講義Ⅰ	2	7コマ	
							特別講義Ⅱ	2	3コマ	
							ボランティア活動	2	60時間	
							インターンシップ	4	120時間	
							卒業研究	4	120時間	

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	「専」	准教授	＜平成19年4月＞		体育学士		健康スポーツ科学	2	5コマ	杏林大学保健学部
							体育実技Ⅰ	2	60時間	保健学科助教授
							体育実技Ⅱ	1	30時間	（平8.4）
							特別演習Ⅰ	1	15時間	
							特別演習Ⅱ	1	15時間	
	「専」	講　師	＜平成19年4月＞		法学士		救命救助法	1	45時間	杏林大学保健学部
							救急医学概論	2	3コマ	保健学科講師
							救急搬送論	2	15コマ	(平14.5)
							シミュレーションⅠ	2	90時間	
							シミュレーションⅡ	2	90時間	
							シミュレーションⅢ	3	135時間	
							シミュレーションⅣ	3	135時間	
							シミュレーションⅤ	2	90時間	
							シミュレーションⅥ	2	90時間	
							救急車同乗実習	3	135時間	
	「専」	助　教	＜平成19年4月＞		法学士		シミュレーションⅠ	2	90時間	杏林大学保健学部
							シミュレーションⅡ	2	90時間	保健学科助手
							シミュレーションⅢ	3	135時間	（平18.4）
							シミュレーションⅣ	3	135時間	
							シミュレーションⅤ	2	90時間	
							シミュレーションⅥ	2	90時間	
							救急車同乗実習	3	135時間	
	「専」	助　教	＜平成19年4月＞		学士 (保健衛生学)		救命救助法	1	45時間	杏林大学保健学部
							シミュレーションⅠ	2	90時間	保健学科助手
							シミュレーションⅡ	2	90時間	（平17.4）
							シミュレーションⅢ	3	135時間	
							シミュレーションⅣ	3	135時間	
							シミュレーションⅤ	2	90時間	
							シミュレーションⅥ	2	90時間	
							病院内実習	10	450時間	
							救急車同乗実習	3	135時間	

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		法学修士 ※		労働衛生法規Ⅱ	2	15コマ	杏林大学総合政策学部 総合政策学科教授 （平6.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		修士 (体育学)		医学概論	2	1コマ	杏林大学保健学部 看護学科教授 （平10.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		薬学博士		生物有機化学Ⅰ 生物有機化学Ⅱ 化学実験 放射線概論	2 2 1 2	15コマ 15コマ 30時間 15コマ	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平14.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		工学博士		生理学Ⅱ 職業適性論 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 2 1 1	12コマ 3コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 臨床工学科教授 （平18.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		産婦人科学	2	15コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平11.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		免疫学 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 1 1	15コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 看護学科教授 （平6.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		生化学	2	6コマ	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平4.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		医学概論 特別講義Ⅰ	2 2	3コマ 1コマ	杏林大学保健学部 看護学科教授 （平12.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		公衆衛生学Ⅰ	2	1コマ	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平18.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		薬学博士		無機化学 化学実験	2 1	7コマ 30時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平2.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		博士 (保健学)		公衆衛生学Ⅰ 医学概論 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 2 1 1	2コマ 1コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平12.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		薬学修士 医学博士		微生物学	2	15コマ	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （昭63.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		保健学 博士		公衆衛生学Ⅱ 産業保健学 環境衛生工学 労働衛生法規Ⅰ 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 2 2 2 1 1	4コマ 9コマ 1コマ 7コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平2.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		薬理学	2	15コマ	杏林大学保健学部 看護学科教授 （平16.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		理学修士 医学博士		生命科学概論 細胞生物学 生物学実験 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 2 1 1 1	15コマ 8コマ 30時間 15時間 15時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平10.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		工学博士		基礎物理学 物理学 医用工学概論	1 2 2	7コマ 15コマ 15コマ	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平3.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		理学修士 医学博士		人類遺伝学 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 2 2 1 1	14コマ 1コマ 1コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平2.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		外科学Ⅱ	2	4コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平5.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		特別講義Ⅰ	2	1コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平15.10）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		生理学Ⅰ	2	8コマ	杏林大学保健学部 臨床工学科教授 （平18.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅴ	2	6コマ	杏林大学保健学部 臨床工学科教授 （平18.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅳ	2	7コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平11.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		理学修士 医学博士		細胞生物学 医学英語 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 2 2 2 1 1	4コマ 15コマ 15コマ 15コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平18.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		文学士		職業適性論	2	4コマ	杏林大学総合政策学部 企業経営学科教授 （平18.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		公衆衛生学Ⅰ 精神医学	2 2	2コマ 15コマ	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平12.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 労働衛生法規Ⅰ 職業適性論	2 2 2 2	5コマ 3コマ 2コマ 1コマ	杏林大学保健学部 保健学科教授 （平16.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅵ	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平12.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		-		血液学 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 1 1	15コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平16.10）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		外科学Ⅰ	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平16.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		特別講義Ⅰ	2	1コマ	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平6.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		病理学 医学概論 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 2 1 1	15コマ 2コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平5.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		小児科学	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平12.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		医学概論	2	2コマ	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科教授 （平16.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		災害医学 特別講義Ⅰ	2 2	5コマ 2コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平18.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅰ 医学概論	2 2	3コマ 1コマ	杏林大学保健学部 臨床工学科教授 （平18.4）
	兼担	教　授	＜平成19年4月＞		医学博士		特別講義Ⅰ	2	2コマ	杏林大学医学部 医学科教授 （平13.4）
	兼担	准教授	＜平成19年4月＞		博士 (理学)		基礎生物学	1	7コマ	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科助教授 （平17.4）
	兼担	准教授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅴ	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平11.4）
	兼担	准教授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅵ	2	6コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平13.4）
	兼担	准教授	＜平成19年4月＞		法学修士 ※		法学（法の原理と理念）	2	15コマ	杏林大学総合政策学部 企業経営学科助教授 （平18.4）
	兼担	准教授	＜平成19年4月＞		修士(法学）※		法学（法の原理と理念）	2	15コマ	杏林大学総合政策学部 総合政策学科助教授 （平17.4）
	兼担	准教授	＜平成19年4月＞		博士 (保健学)		基礎化学 無機化学 化学実験	1 2 1	7コマ 5コマ 30時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科助教授 （平17.4）
	兼担	准教授	＜平成19年4月＞		理学修士		数学 統計学 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 2 1 1	15コマ 15コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 保健学科助教授 （平8.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		外科学Ⅰ	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平18.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅴ	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平11.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		外科学Ⅰ	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平15.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		教育学士		公衆衛生学Ⅱ	2	1コマ	杏林大学保健学部 保健学科助教授 （平18.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		公衆衛生学Ⅱ	2	1コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平17.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		生理学Ⅰ	2	7コマ	杏林大学保健学部 臨床工学科助教授 （平18.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 (法学)		日本国憲法	2	15コマ	杏林大学総合政策学部 総合政策学科助教授 （平16.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 (理学)		生化学 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 1 1	6コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科助教授 （平18.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 (保健学)		医学英語 公衆衛生学Ⅰ	2 2	15コマ 4コマ	杏林大学保健学部 保健学科助教授 （平14.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		情報処理演習	2	15コマ	杏林大学保健学部 臨床工学科助教授 （平18.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		医学博士		外科学Ⅰ	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平18.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		医学博士		内科学Ⅳ	2	7コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平15.4）
	兼担	准 教 授	＜平成19年4月＞		博士 （医学）		小児科学	2	2コマ	杏林大学医学部 医学科助教授 （平14.4）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		体育学修士		公衆衛生学Ⅱ	2	2コマ	杏林大学保健学部 保健学科講師 （平1.4）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		文学修士		心理学 （自己と外界の心理学）	2	15コマ	杏林大学医学部 医学科講師 （平17.4）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		修士 （法学） ※		日本国憲法 特別講義Ⅰ	2 2	15コマ 1コマ	杏林大学総合政策学部 総合政策学科講師 （平16.4）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		博士 （医学）		整形外科学	2	15コマ	杏林大学医学部 医学科講師 （平17.4）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		博士 （心理学）		心理学 （自己と外界の心理学） 発達心理学 教育心理学	2 2 2	15コマ 15コマ 15コマ	杏林大学保健学部 保健学科講師 （平10.4）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		博士 （保健学）		医療情報科学 情報処理演習	2 2	15コマ 15コマ	杏林大学保健学部 臨床工学科講師 （平18.4）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		博士 （医学）		内科学Ⅵ	2	4コマ	杏林大学医学部 医学科講師 （平17.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		病院内実習	10	450時間	杏林大学医学部 医学科講師 （平17.4）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		理学士		細胞生物学 生物学実験 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 1 1 1	3コマ 30時間 15時間 15時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科講師 （平2.11）
	兼担	講　師	＜平成19年4月＞		博士 (保健学)		生理学Ⅱ	2	3コマ	杏林大学保健学部 臨床工学科講師 （平18.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		小児科学	2	1コマ	杏林大学医学部 医学科助手 （平18.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		病院内実習	10	450時間	杏林大学医学部 医学科助手 （平16.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		修士 (保健学)		産業保健学 環境衛生工学 労働衛生法規Ⅰ	2 2 2	6コマ 11コマ 6コマ	杏林大学保健学部 保健学科助手 （平15.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		保健衛生学士		人類遺伝学 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	2 1 1	1コマ 15時間 15時間	杏林大学保健学部 保健学科助手 （平9.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		災害医学	2	7コマ	杏林大学医学部 医学科助手 （平11.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		修士 (教育学)		健康スポーツ科学 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	2 2 1	4コマ 60時間 30時間	杏林大学保健学部 保健学科助手 （平13.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		学士 (医学)※		小児科学	2	1コマ	杏林大学医学部 医学科助手 （平18.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		医学博士		小児科学	2	1コマ	杏林大学医学部 医学科助手 （平16.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		修士 （社会福祉学）		公衆衛生学Ⅱ	2	1コマ	杏林大学保健学部 保健学科助手 （平12.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		修士 （薬学）		化学実験	1	30時間	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科助手 （平18.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		博士 （医学）		外科学Ⅱ	2	2コマ	杏林大学医学部 医学科助手 （平15.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		学士 （医学）		外科学Ⅱ	2	3コマ	杏林大学医学部 医学科助手 （平17.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		博士 （医学）		小児科学	2	2コマ	杏林大学医学部 医学科助手 （平15.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		修士 （保健学）		情報処理演習	2	15コマ	杏林大学保健学部 臨床工学科助手 （平18.4）
	兼担	助　教	＜平成19年4月＞		博士 （医学）		小児科学	2	1コマ	杏林大学医学部 医学科助手 （平18.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		文学修士 ※		民俗学（各国の民間伝承と歴史認識）	2	15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平12.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		修士 （文学）		英語Ⅲ	2	15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平15.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		医学博士		職業適性論	2	7コマ	カイロンコーポレーション 在日代表 （平14.1）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		教育学修士		日本語表現法	2	15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平17.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		文学修士※		哲学（生と死--その論理と倫理） 倫理学（人間とは何か---時代と人間認識） 生命倫理学（生と死--その論理と倫理）	2 2 2	15コマ 15コマ 15コマ	杏林大学総合政策学部 兼任講師 （平11.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		救急医学概論	2	2コマ	救急振興財団 救急救命東京研修所教授 （平12.4） 成蹊学園 保健管理センター所長 （平13.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		科学学士		移植コーディネータ論	2	3コマ	東京歯科大学市川総合病院 角膜センター長 （平12.4） 株式会社バイオリンクインク 代表取締役 （平14.3）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		経営学修士		英会話	2	15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平12.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		文学修士		英語Ⅰ 英語Ⅱ	2 2	15コマ 15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平9.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		小児科学	2	1コマ	杏林大学医学部 兼任講師 （平18.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		医学博士		移植コーディネータ論	2	3コマ	国士舘大学体育学部 教授 （平13.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		博士 (医学)		救急処置各論 外傷学	2 2	4コマ 6コマ	埼玉医科大学付属病院 救急部助教授 （平15.9）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		文学修士 ※		フランス語Ⅲ フランス語会話	2 2	15コマ 15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平4.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		文学修士		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	2 2	15コマ 15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平5.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		医学士		シミュレーションⅢ シミュレーションⅣ	3 3	135時間 135時間	青梅市立総合病院 救急医学科部長 （平18.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		修士 (文学) ※		英語Ⅲ 英語Ⅳ	2 2	15コマ 15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平12.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		医学博士		外科学Ⅱ	2	3コマ	杏林大学 名誉教授 （平18.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		修士 (学術)		英語Ⅰ 英語Ⅱ	2 2	15コマ 15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平16.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		社会学修士※		社会学（人間と社会---社会学の新たな展開）	2	15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平7.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		文学士		英会話	2	15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平9.4）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		経営学士		英会話	2	15コマ	杏林大学外国語学部 兼任講師 （平8.4）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）
	兼任	講　師	＜平成19年4月＞		芸術学士		芸術（いろいろな音楽のルーツを訪ねて）	2	15コマ	杏林大学総合政策学部 兼任講師 （平15.4）